

「障がい者計画」・「障がい福祉計画」・「障がい児福祉計画」
策定のための

アンケート結果報告書【18 歳以上】

令和 5 年 2 月

鳴門市

目 次

第 1 章 調査概要.....	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 数値等の基本的な取扱いについて	1
5. 報告書の語句の定義	2
第 2 章 調査結果.....	3
1. アンケートの回答者	3
2. 年齢	3
3. 性別	3
4. お住まいの地区（町）	4
5. 障がいの状況について	5
6. 暮らしについて	14
7. 日中活動について	28
8. 就労について	33
9. 権利擁護について	45
10. 身近な介助者の亡き後について	54
11. 災害時の避難について	57
12. 障がい福祉サービスなどの利用について	62
13. 相談相手や情報源について	70
14. 本市の施策について	76
15. ご本人の介護（支援）について	82
調査票.....	86

第1章 調査概要

1. 調査の目的

障がい福祉サービスの利用実態や障がいに関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進のための資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

18歳以上の障がい者及びその家族等

(2) 抽出方法

令和4年10月現在、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、精神自立支援医療受給者証をお持ちの方から無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

(4) 調査期間

令和4年12月13日～12月27日

3. 回収結果

(1) 配布数 1,754 票

(2) 回収数 733 票

(3) 回収率 41.8%

4. 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数または該当者数)
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、一部簡略化する場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所の数値は、一部を除いて基本的に省略しています。

5. 報告書の語句の定義

グラフ中に記載している語句の定義は次の通りです。

- ・「身体」は、「問5 身体障がい者手帳をお持ちですか」で「1. ～6.」（1級から6級）に○を付けた方です。
- ・「療育」は、「問7 療育手帳をお持ちですか」で「1. ～4.」（A1からB2）に○を付けた方です。
- ・「精神」は、「問8 精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか」で「1. ～3.」（1級から3級）に○を付けた方です。
- ・「難病」は、「問9 難病（指定難病）の認定を受けていますか」で「1.」（受けている）に○をつけた方です。
- ・「複数」は、次の4パターンのいずれかに該当する方です。

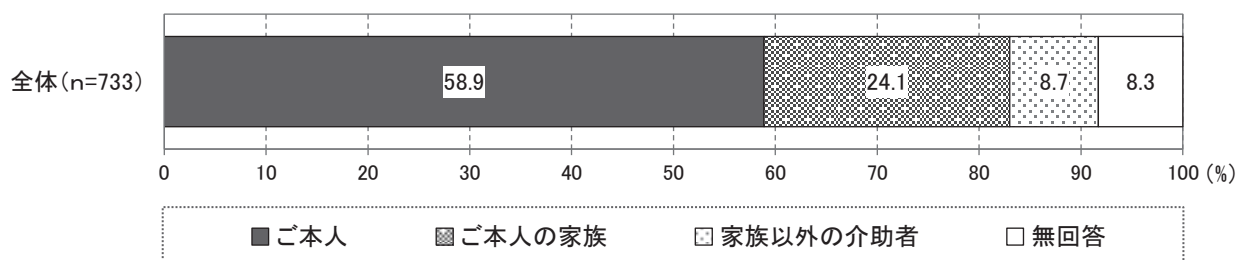
問5 身体障がい者手帳を お持ちですか。	問7 療育手帳を お持ちですか。	問8 精神障がい者保健福祉手帳を お持ちですか。	手帳数
「1. ～6. 」に○	「1. ～4. 」に○	「1. ～3. 」に○	3
「1. ～6. 」に○	「1. ～4. 」に○	「4. 」(持っていない)に○	2
「1. ～6. 」に○	「5. 」(持っていない)に○	「1. ～3. 」に○	2
「7. 」(持っていない)に○	「1. ～4. 」に○	「1. ～3. 」に○	2

第2章 調査結果

1. アンケートの回答者

問1 ご記入いただくのは、どなたですか。

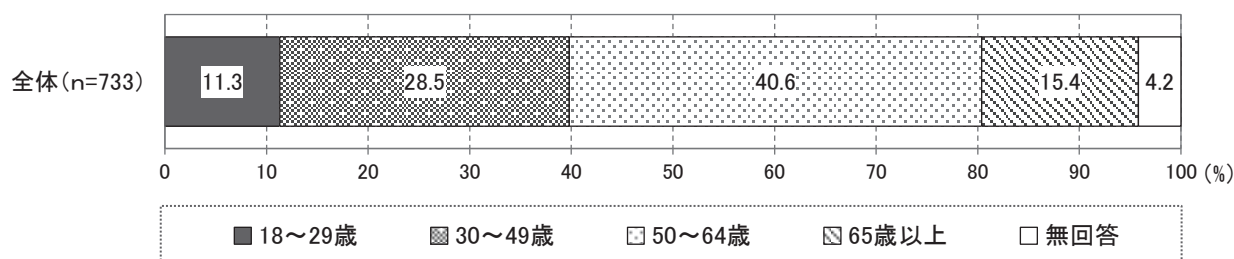
「ご本人」が 58.9%と最も高く、次いで、「ご本人の家族」(24.1%)、「家族以外の介助者」(8.7%)の順となっています。



2. 年齢

問2 年齢をお答えください。(令和4年11月1日時点)

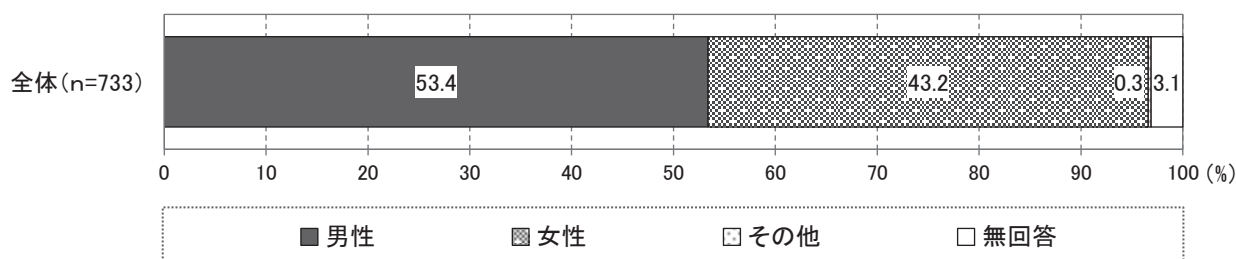
「50～64歳」が 40.6%と最も高く、次いで、「30～49歳」(28.5%)、「65歳以上」(15.4%)の順となっています。



3. 性別

問3 性別をお答えください。

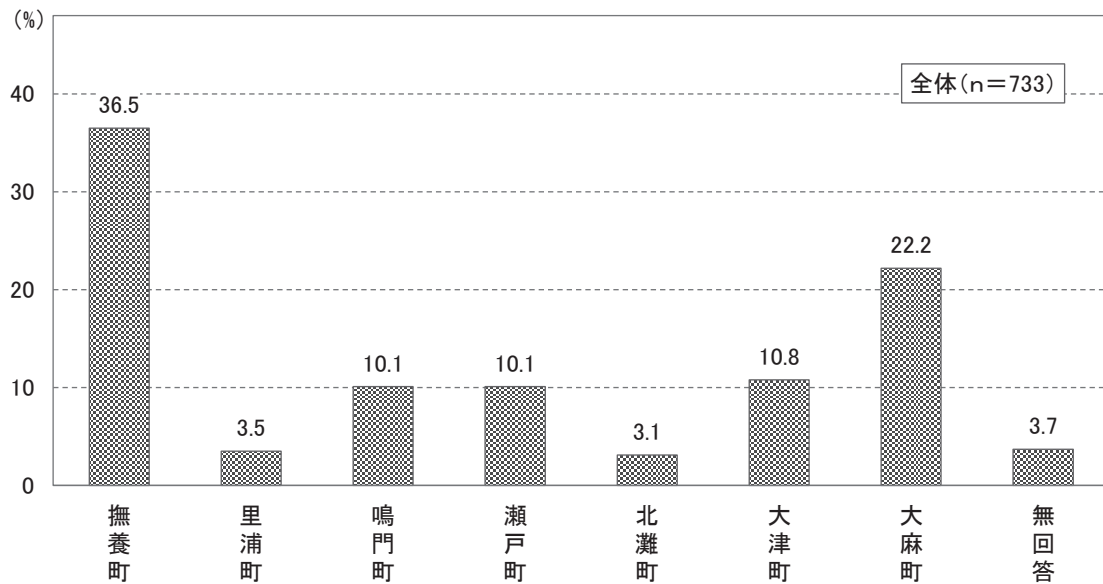
「男性」が 53.4%、「女性」が 43.2%となっています。



4. お住まいの地区（町）

問 4 お住まいの地区（町）をお答えください。

「撫養町」が 36.5%と最も高く、次いで、「大麻町」（22.2%）、「大津町」（10.8%）の順となっています。



5. 障がいの状況について

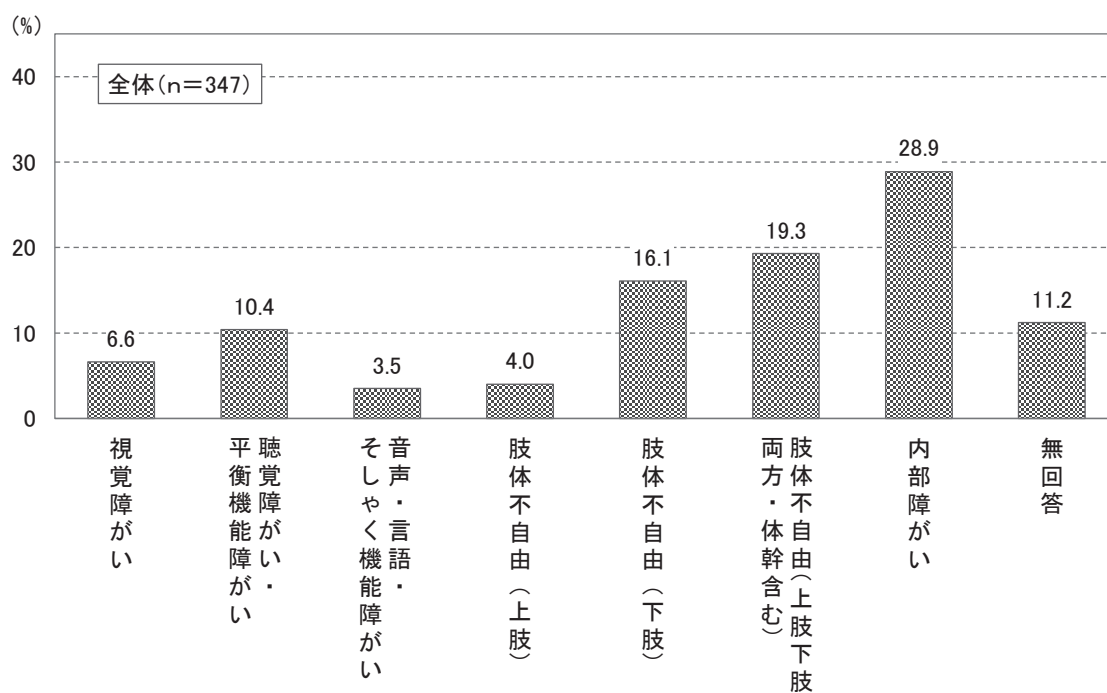
問5 身体障がい者手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が42.7%と最も高く、次いで、「1級」(15.8%)、「2級」(12.3%)の順となっています。

		(n=)	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	い持 なっ てい て	無 回 答
全体		733	116 15.8%	90 12.3%	53 7.2%	64 8.7%	10 1.4%	14 1.9%	313 42.7%	73 10.0%
年 齢	18～29歳	83	6 7.2%	5 6.0%	4 4.8%	4 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	60 72.4%	4 4.8%
	30～49歳	209	20 9.6%	21 10.0%	10 4.8%	6 2.9%	3 1.4%	5 2.4%	125 59.8%	19 9.1%
	50～64歳	297	66 22.2%	44 14.8%	26 8.8%	32 10.8%	7 2.4%	4 1.3%	95 32.0%	23 7.7%
	65歳以上	113	23 20.4%	18 15.9%	13 11.5%	22 19.5%	0 0.0%	5 4.4%	28 24.8%	4 3.5%
地 区	撫養町	267	41 15.4%	35 13.1%	20 7.5%	22 8.2%	5 1.9%	7 2.6%	114 42.7%	23 8.6%
	里浦町	26	2 7.7%	5 19.2%	2 7.7%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	15 57.7%	0 0.0%
	鳴門町	74	10 13.5%	9 12.2%	6 8.1%	8 10.8%	2 2.7%	0 0.0%	35 47.3%	4 5.4%
	瀬戸町	74	10 13.5%	9 12.2%	8 10.8%	7 9.5%	1 1.4%	2 2.7%	34 45.8%	3 4.1%
	北灘町	23	6 26.2%	4 17.4%	3 13.0%	4 17.4%	0 0.0%	1 4.3%	3 13.0%	2 8.7%
	大津町	79	17 21.5%	12 15.2%	5 6.3%	8 10.1%	0 0.0%	0 0.0%	32 40.6%	5 6.3%
	大麻町	163	28 17.2%	16 9.8%	9 5.5%	13 8.0%	2 1.2%	4 2.5%	79 48.4%	12 7.4%

問 6 身体障がい者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。

「内部障がい」が 28.9%と最も高く、次いで、「肢体不自由（上肢下肢両方・体幹含む）」（19.3%）、
「肢体不自由（下肢）」（16.1%）の順となっています。



問7 療育手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が63.1%と最も高く、次いで、「B2」（6.7%）、「A1」（6.1%）の順となっています。

		(n=)	A 1	A 2	B 1	B 2	い持 なっ いて	無 回 答
全体		733	45 6.1%	43 5.9%	38 5.2%	49 6.7%	463 63.1%	95 13.0%
年 齢	18～29歳	83	11 13.3%	11 13.3%	7 8.4%	27 32.5%	26 31.3%	1 1.2%
	30～49歳	209	20 9.6%	16 7.7%	17 8.1%	18 8.6%	121 57.9%	17 8.1%
	50～64歳	297	11 3.7%	11 3.7%	11 3.7%	4 1.3%	221 74.5%	39 13.1%
	65歳以上	113	2 1.8%	5 4.4%	1 0.9%	0 0.0%	91 80.5%	14 12.4%
地 区	撫養町	267	14 5.2%	12 4.5%	15 5.6%	19 7.1%	181 67.9%	26 9.7%
	里浦町	26	1 3.8%	3 11.5%	0 0.0%	1 3.8%	19 73.2%	2 7.7%
	鳴門町	74	3 4.1%	4 5.4%	2 2.7%	12 16.2%	45 60.8%	8 10.8%
	瀬戸町	74	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.4%	56 75.7%	14 18.9%
	北灘町	23	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 69.6%	6 26.1%
	大津町	79	4 5.1%	5 6.3%	7 8.9%	3 3.8%	53 67.0%	7 8.9%
	大麻町	163	22 13.5%	19 11.7%	14 8.6%	9 5.5%	91 55.8%	8 4.9%

問 8 精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が 66.1%と最も高く、次いで、「2 級」(13.2%)、「3 級」(7.5%)の順となっています。

		(n=)	1 級	2 級	3 級	い 持 な っ て い っ て	無 回 答
	全体	733	20 2.7%	97 13.2%	55 7.5%	484 66.1%	77 10.5%
年 齢	18～29歳	83	1 1.2%	5 6.0%	11 13.3%	61 73.5%	5 6.0%
	30～49歳	209	2 1.0%	40 19.1%	19 9.1%	134 64.1%	14 6.7%
	50～64歳	297	13 4.4%	43 14.5%	23 7.7%	195 65.7%	23 7.7%
	65歳以上	113	4 3.5%	9 8.0%	1 0.9%	87 77.0%	12 10.6%
地 区	撫養町	267	10 3.7%	36 13.5%	28 10.5%	172 64.4%	21 7.9%
	里浦町	26	1 3.8%	3 11.5%	1 3.8%	21 80.9%	0 0.0%
	鳴門町	74	1 1.4%	13 17.6%	6 8.1%	47 63.4%	7 9.5%
	瀬戸町	74	2 2.7%	13 17.6%	7 9.5%	45 60.7%	7 9.5%
	北灘町	23	1 4.3%	4 17.4%	1 4.3%	16 69.7%	1 4.3%
	大津町	79	1 1.3%	15 19.0%	3 3.8%	54 68.3%	6 7.6%
	大麻町	163	4 2.5%	11 6.7%	8 4.9%	127 77.9%	13 8.0%

問9 難病（指定難病）の認定を受けていますか。

全体では、「受けている」が6.4%、「受けていない」が83.9%となっています。

		(n=)	受 い け る て	い 受 な け い て	無 回 答
	全体	733	47 6.4%	615 83.9%	71 9.7%
年 齢	18～29歳	83	4 4.8%	76 91.6%	3 3.6%
	30～49歳	209	8 3.8%	185 88.5%	16 7.7%
	50～64歳	297	22 7.4%	257 86.5%	18 6.1%
	65歳以上	113	13 11.5%	89 78.8%	11 9.7%
地 区	撫養町	267	20 7.5%	233 87.3%	14 5.2%
	里浦町	26	2 7.7%	24 92.3%	0 0.0%
	鳴門町	74	2 2.7%	62 83.8%	10 13.5%
	瀬戸町	74	4 5.4%	69 93.2%	1 1.4%
	北灘町	23	5 21.7%	15 65.3%	3 13.0%
	大津町	79	4 5.1%	68 86.0%	7 8.9%
	大麻町	163	10 6.1%	140 85.9%	13 8.0%

問 10 発達障がいとして診断されたことがありますか。

全体では、「ある」が18.4%、「ない」が72.6%となっています。

		(n=)	ある	ない	無回答
	全体	733	135 18.4%	532 72.6%	66 9.0%
年 齢	18～29歳	83	48 57.8%	33 39.8%	2 2.4%
	30～49歳	209	63 30.1%	136 65.1%	10 4.8%
	50～64歳	297	20 6.7%	259 87.2%	18 6.1%
	65歳以上	113	4 3.5%	98 86.8%	11 9.7%
地 区	撫養町	267	49 18.4%	203 76.0%	15 5.6%
	里浦町	26	6 23.1%	20 76.9%	0 0.0%
	鳴門町	74	18 24.3%	47 63.5%	9 12.2%
	瀬戸町	74	9 12.2%	64 86.4%	1 1.4%
	北灘町	23	2 8.7%	17 73.9%	4 17.4%
	大津町	79	15 19.0%	61 77.2%	3 3.8%
	大麻町	163	35 21.5%	117 71.8%	11 6.7%

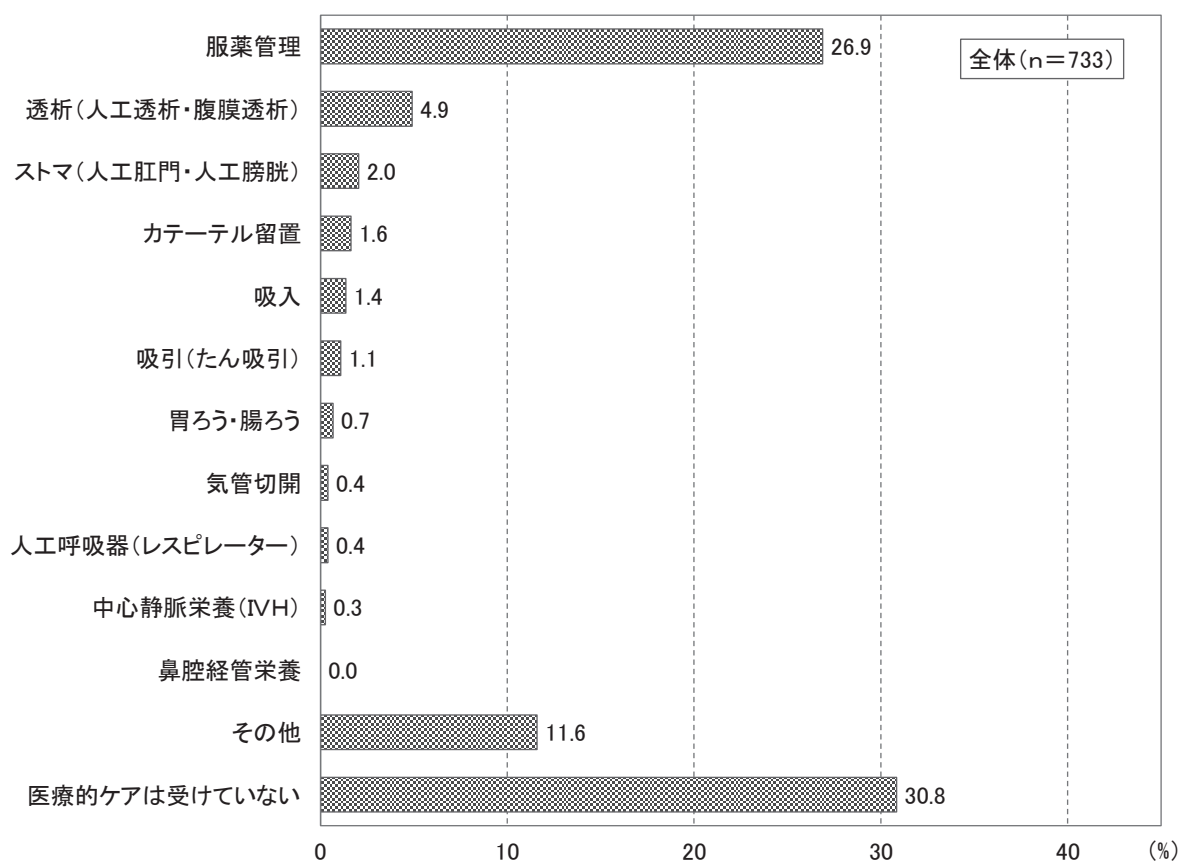
問 11 自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか。

全体では、「持っている」が 36.7%、「持っていない」が 55.3%となっています。
年齢層別で見ると、30～64 歳で「持っている」の割合が高くなっています。

		(n=)	持 い っ て る	い 持 な っ て い て	無 回 答
	全体	733	269 36.7%	405 55.3%	59 8.0%
年 齢	18～29歳	83	29 34.9%	52 62.7%	2 2.4%
	30～49歳	209	106 50.8%	96 45.9%	7 3.3%
	50～64歳	297	112 37.7%	169 56.9%	16 5.4%
	65歳以上	113	20 17.7%	83 73.5%	10 8.8%
地 区	撫養町	267	119 44.6%	134 50.2%	14 5.2%
	里浦町	26	10 38.5%	16 61.5%	0 0.0%
	鳴門町	74	29 39.2%	40 54.0%	5 6.8%
	瀬戸町	74	29 39.2%	42 56.7%	3 4.1%
	北灘町	23	7 30.4%	14 60.9%	2 8.7%
	大津町	79	27 34.2%	48 60.7%	4 5.1%
	大麻町	163	47 28.8%	108 66.3%	8 4.9%

問 12 現在受けている医療的ケアをお答えください。【複数回答可】

受けている医療的ケアで見ると、「服薬管理」が26.9%と最も高く、次いで、「透析（人工透析・腹膜透析）」（4.9%）、「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」（2.0%）の順となっています。



主なその他意見

- ・ G-PAP。
- ・ インスリン自己注射。
- ・ 在宅酸素。
- ・ 腎ろう。
- ・ 糖尿病ポンプ。
- ・ 尿管にバルーンの管を入れている。

※「医療的ケア」とは、一般的に、「病院などの医療機関以外の場所（学校や自宅など）で日常的に継続して行われる、喀痰吸引や経管栄養、気管切開部の衛生管理、導尿、インスリン注射などの「医行為」とされています。その他意見の中には、現在、医療機関で受けている「医行為」についても多くの回答がありました。

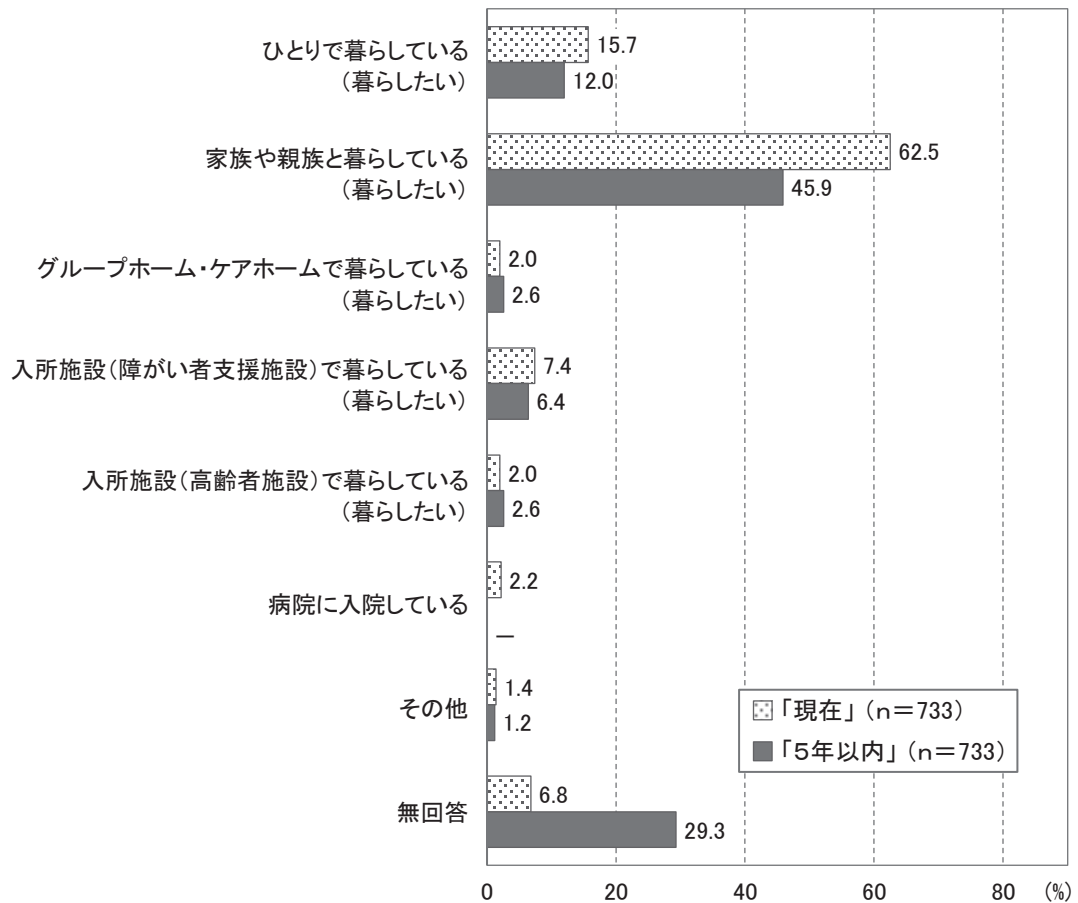
	(n=)	気管切開	人工呼吸器（レスピレーター）	吸入	吸引（たん吸引）	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養（H V）	透析（人工透析・腹膜透析）	カテーテル留置	ストマ（人工肛門・人工膀胱）	服薬管理	その他	医療的ケアは受けていない
全体	733	3 0.4%	3 0.4%	10 1.4%	8 1.1%	5 0.7%	0 0.0%	2 0.3%	36 4.9%	12 1.6%	15 2.0%	197 26.9%	85 11.6%	226 30.8%
身体	347	2 0.6%	3 0.9%	7 2.0%	6 1.7%	5 1.4%	0 0.0%	1 0.3%	36 10.4%	12 3.5%	15 4.3%	72 20.7%	56 16.1%	108 31.1%
療育	175	1 0.6%	1 0.6%	2 1.1%	3 1.7%	3 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.6%	43 24.6%	14 8.0%	70 40.0%
精神	172	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	5 2.9%	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	3 1.7%	2 1.2%	0 0.0%	62 36.0%	21 12.2%	49 28.5%
複数	85	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	5 5.9%	3 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.5%	4 4.7%	1 1.2%	24 28.2%	16 18.8%	23 27.1%
難病	47	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 17.0%	2 4.3%	1 2.1%	10 21.3%	7 14.9%	15 31.9%

6. 暮らしについて

問 13

現在どのように暮らしていますか。また、今後、5年以内で暮らしたいと思う場所はどれですか。

現在、5年以内ともに「家族や親族と暮らしている（暮らしたい）」の割合が4割以上と高くなっています。



主なその他意見（現在）

- ・ 先が見えない。
- ・ 救護施設。
- ・ パートナー。

主なその他意見（5年以内）

- ・ 結婚して岩手へ行き、夫と2人暮らし。
- ・ 状況がどうなっているかわからない。
- ・ 救護施設で暮らしている。

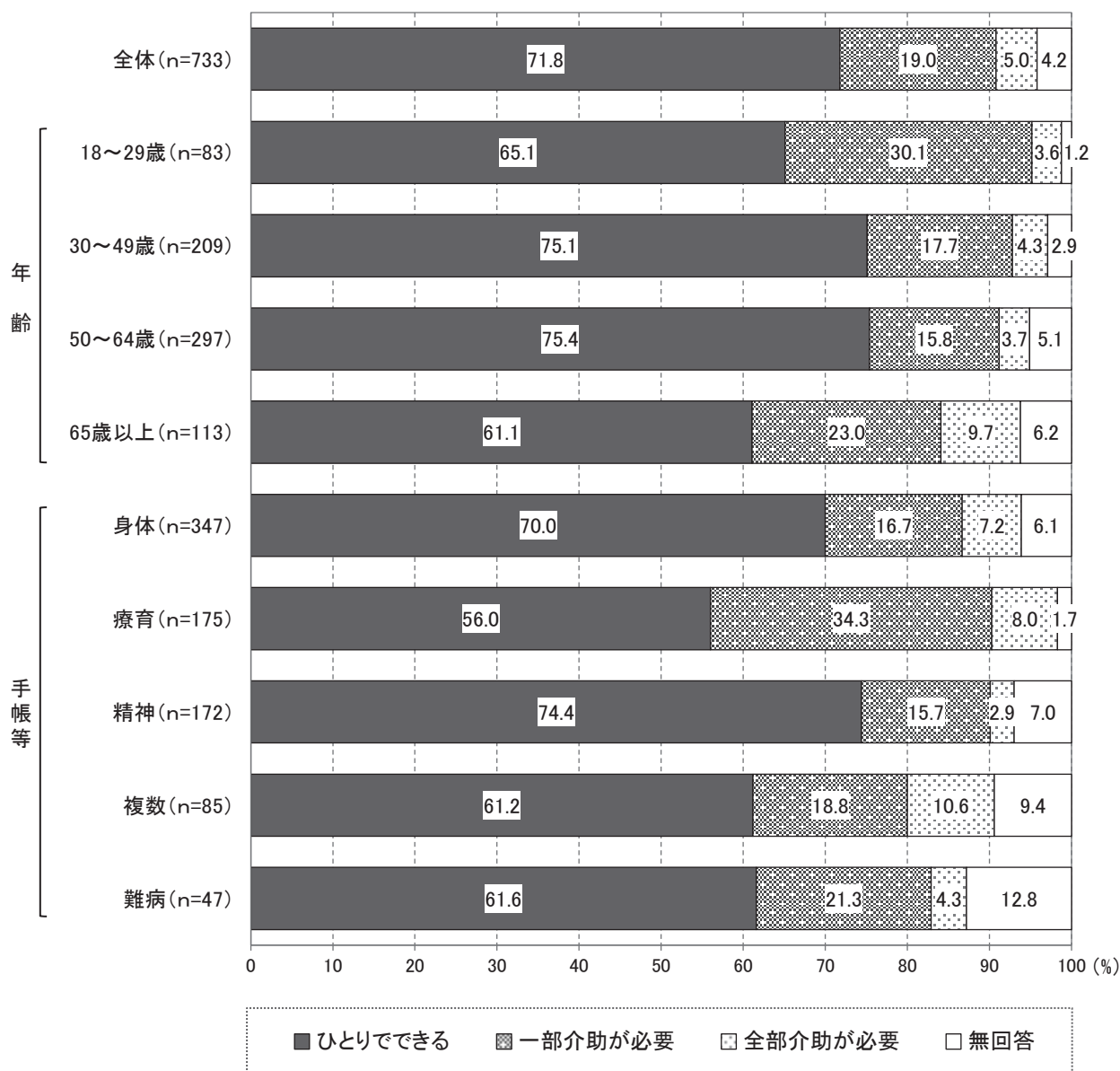
◆ポイント

暮らしの場所について、現在はひとり暮らしや家族等との同居が大半ですが、5年以内という先のことになると無回答の割合が高まっており、これから先のことについて想定しきれない人の割合が高まっています。

問 14 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

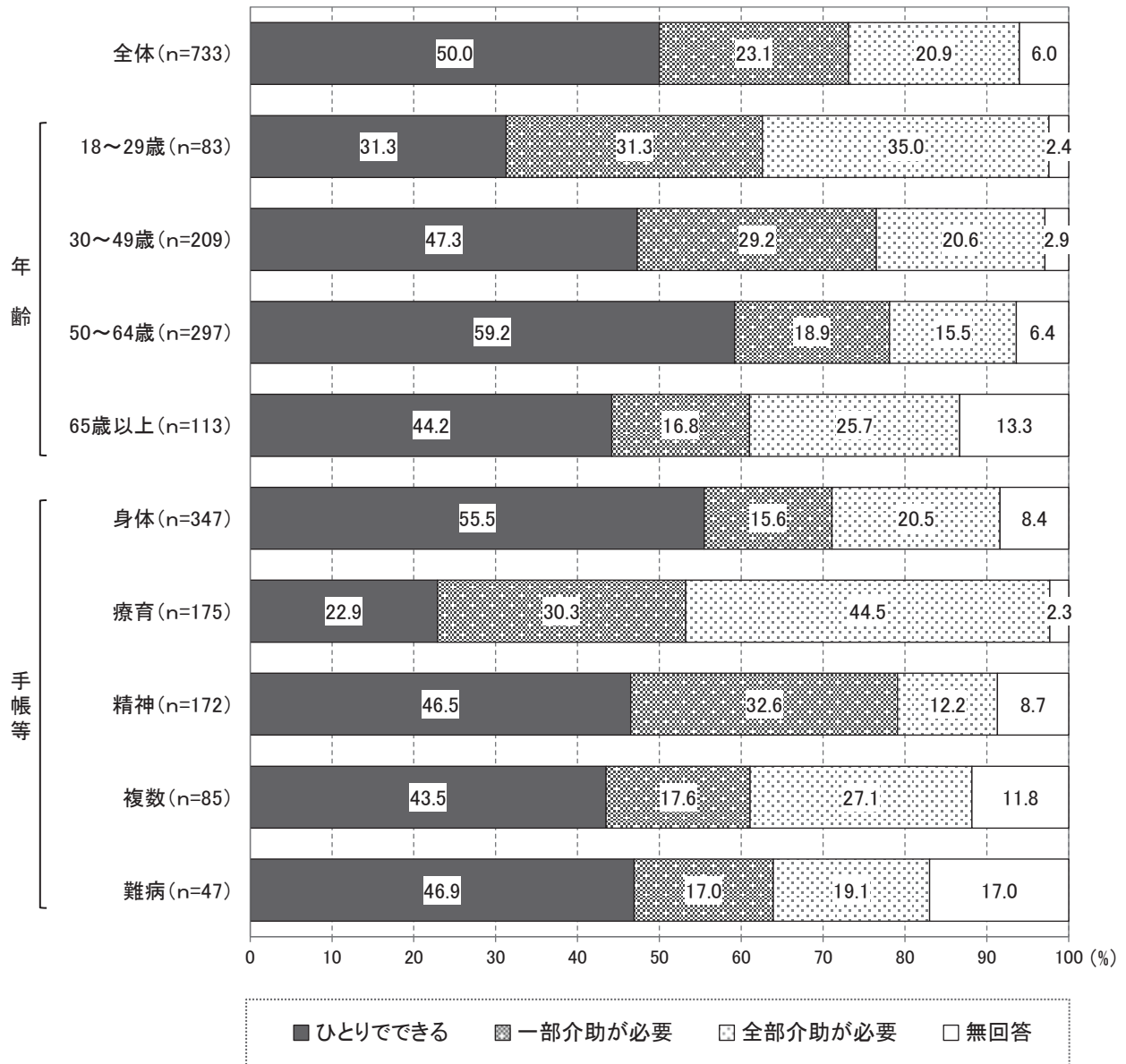
① 食事・入浴・トイレなどの日常動作

全体では、「ひとりでできる」が71.8%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(19.0%)、「全部介助が必要」(5.0%)の順となっています。



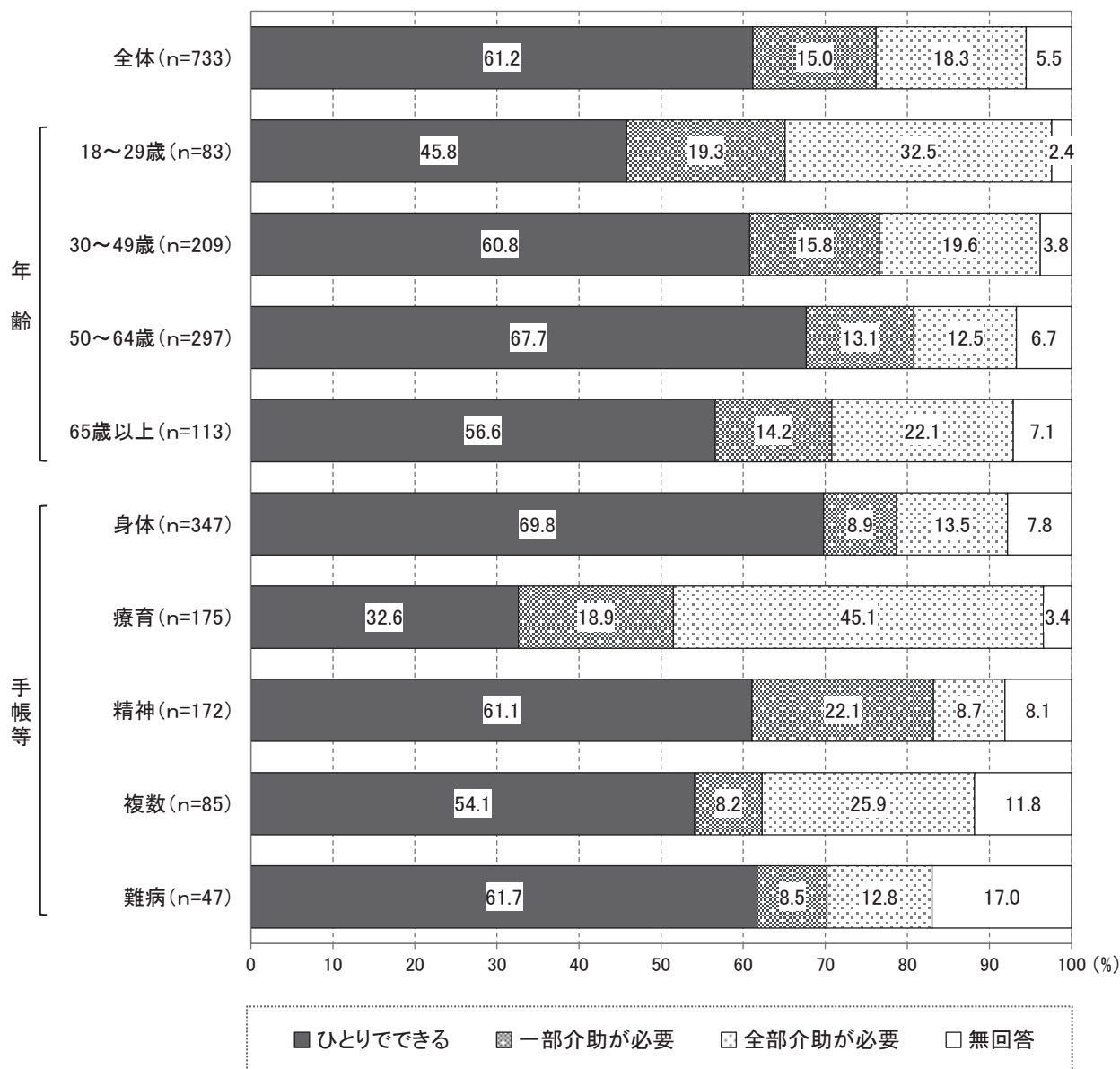
② 料理・掃除・洗濯などの家事

全体では、「ひとりでできる」が50.0%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(23.1%)、「全部介助が必要」(20.9%)の順となっています。



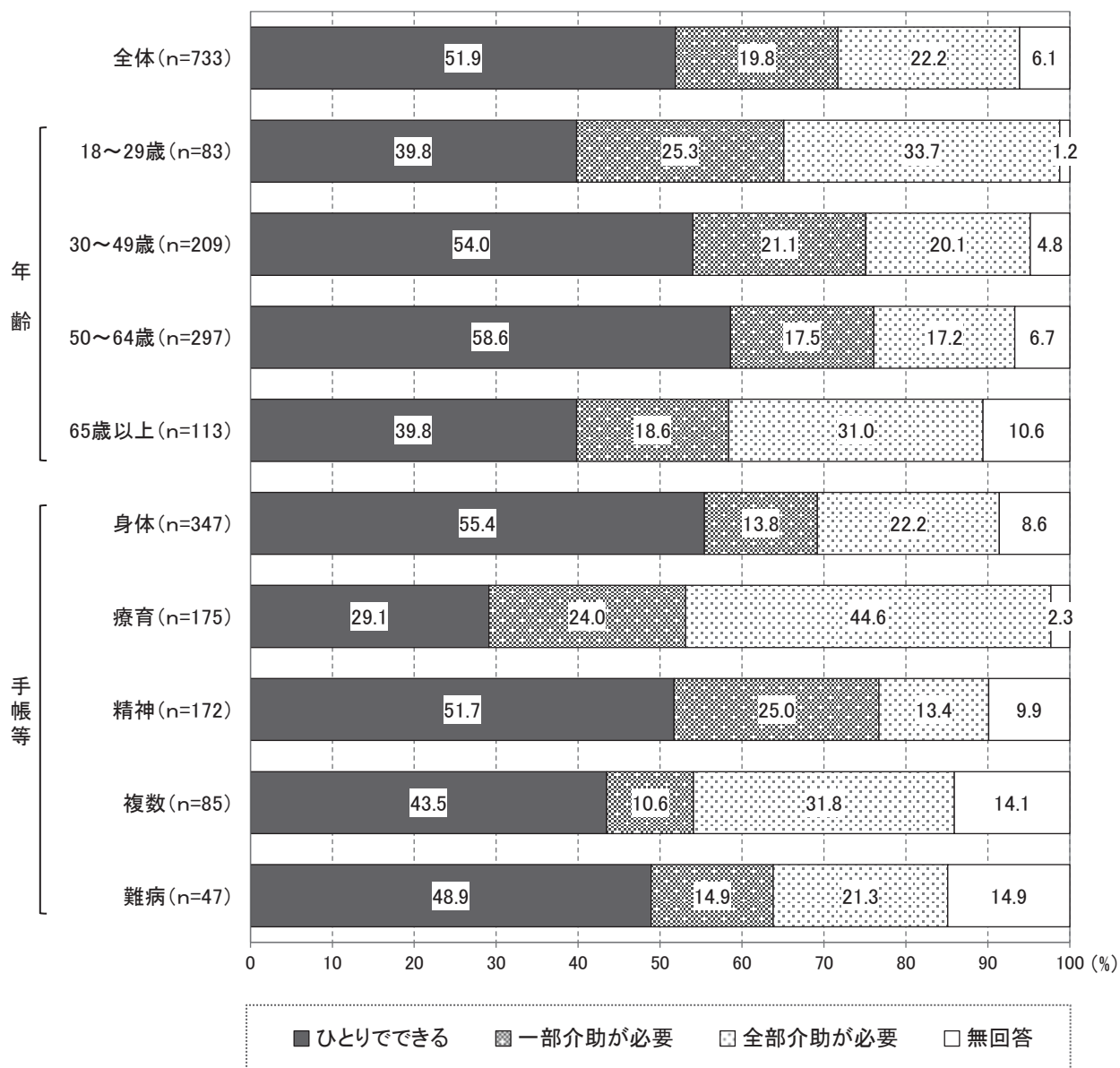
③ 薬の管理

全体では、「ひとりでできる」が61.2%と最も高く、次いで、「全部介助が必要」(18.3%)、「一部介助が必要」(15.0%)の順となっています。



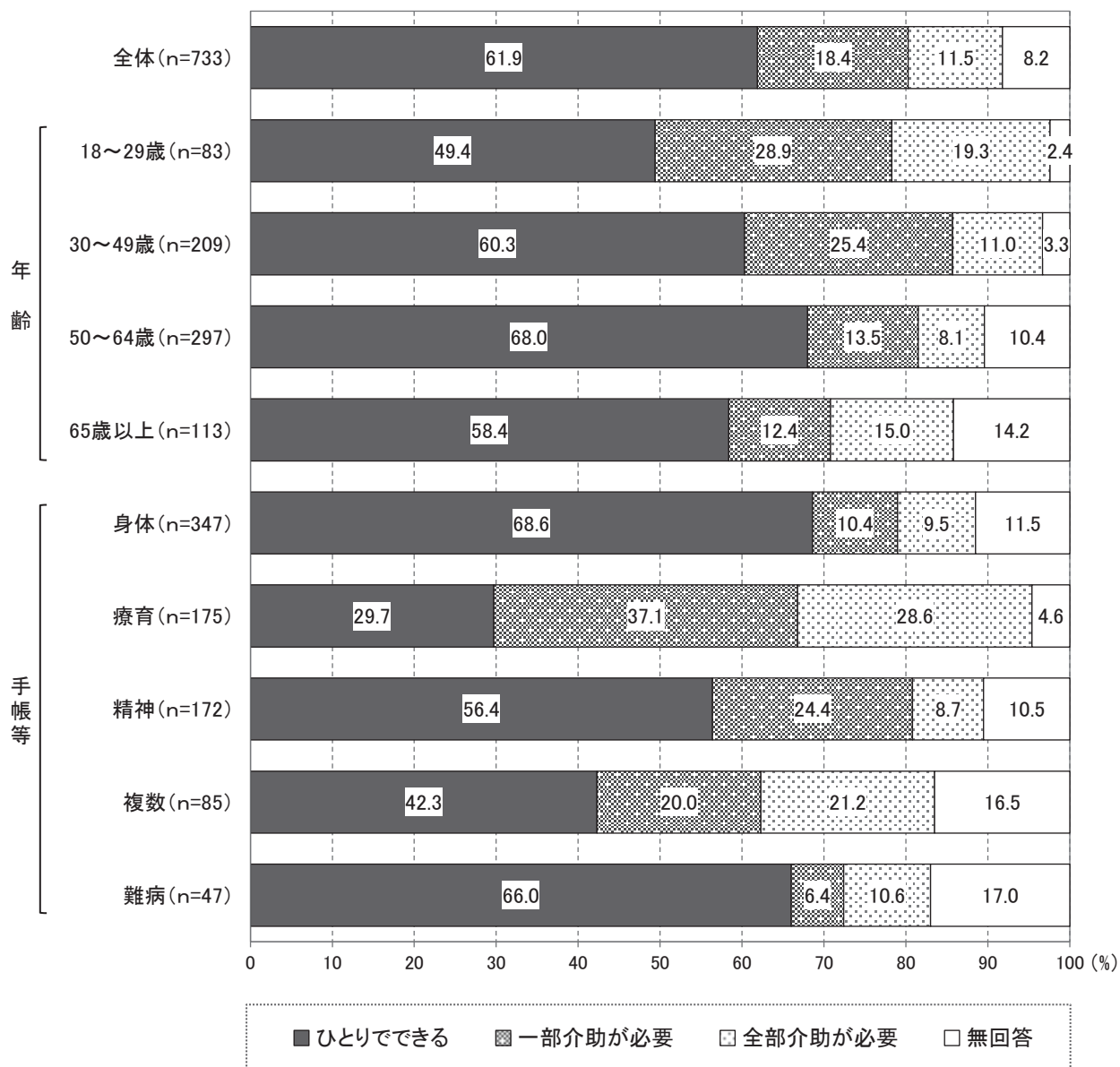
④ 通勤・通学・通院・買い物などの外出

全体では、「ひとりでできる」が51.9%と最も高く、次いで、「全部介助が必要」(22.2%)、「一部介助が必要」(19.8%)の順となっています。



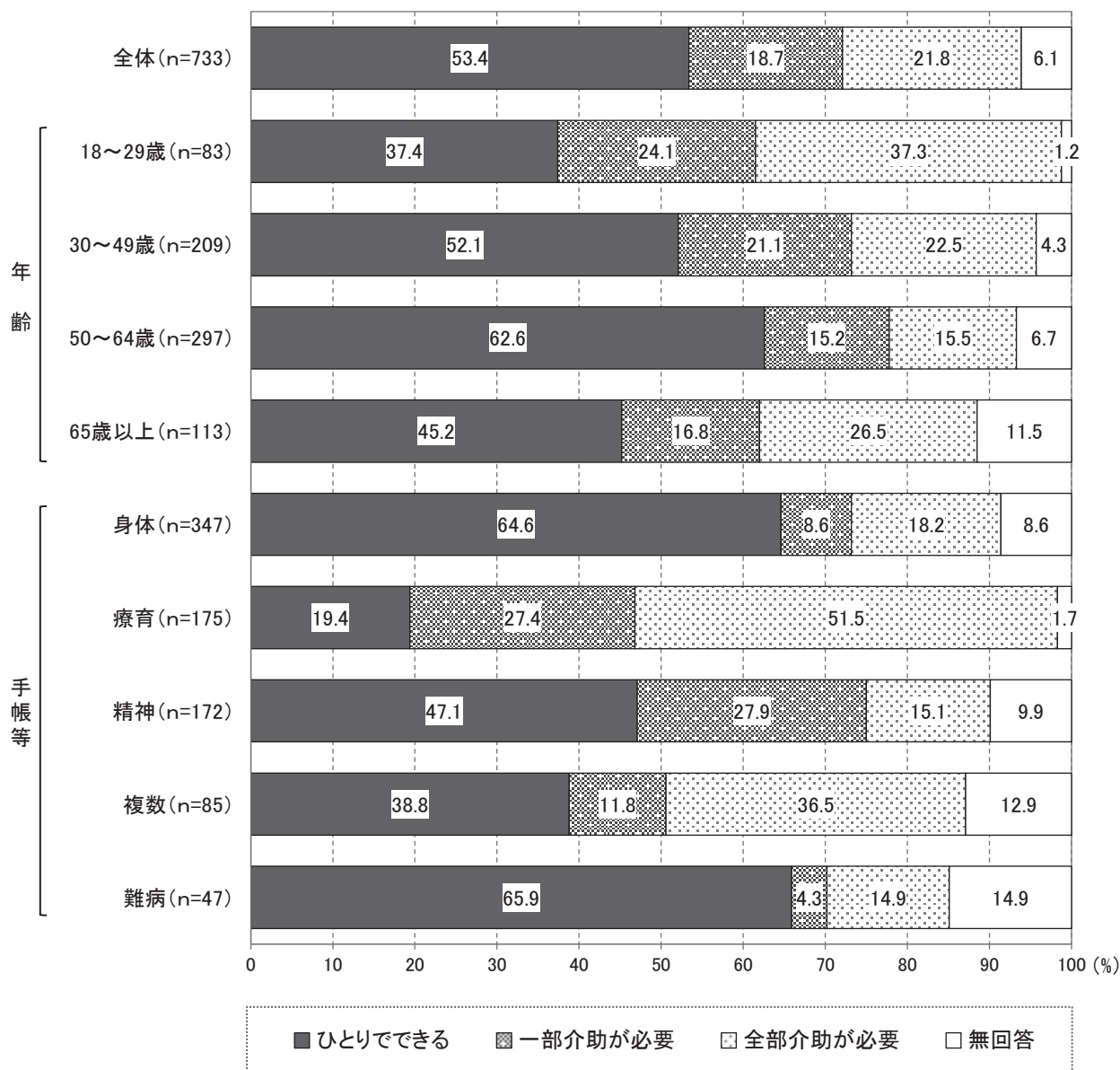
⑤ 家族以外の人との意思疎通

全体では、「ひとりでできる」が61.9%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(18.4%)、「全部介助が必要」(11.5%)の順となっています。



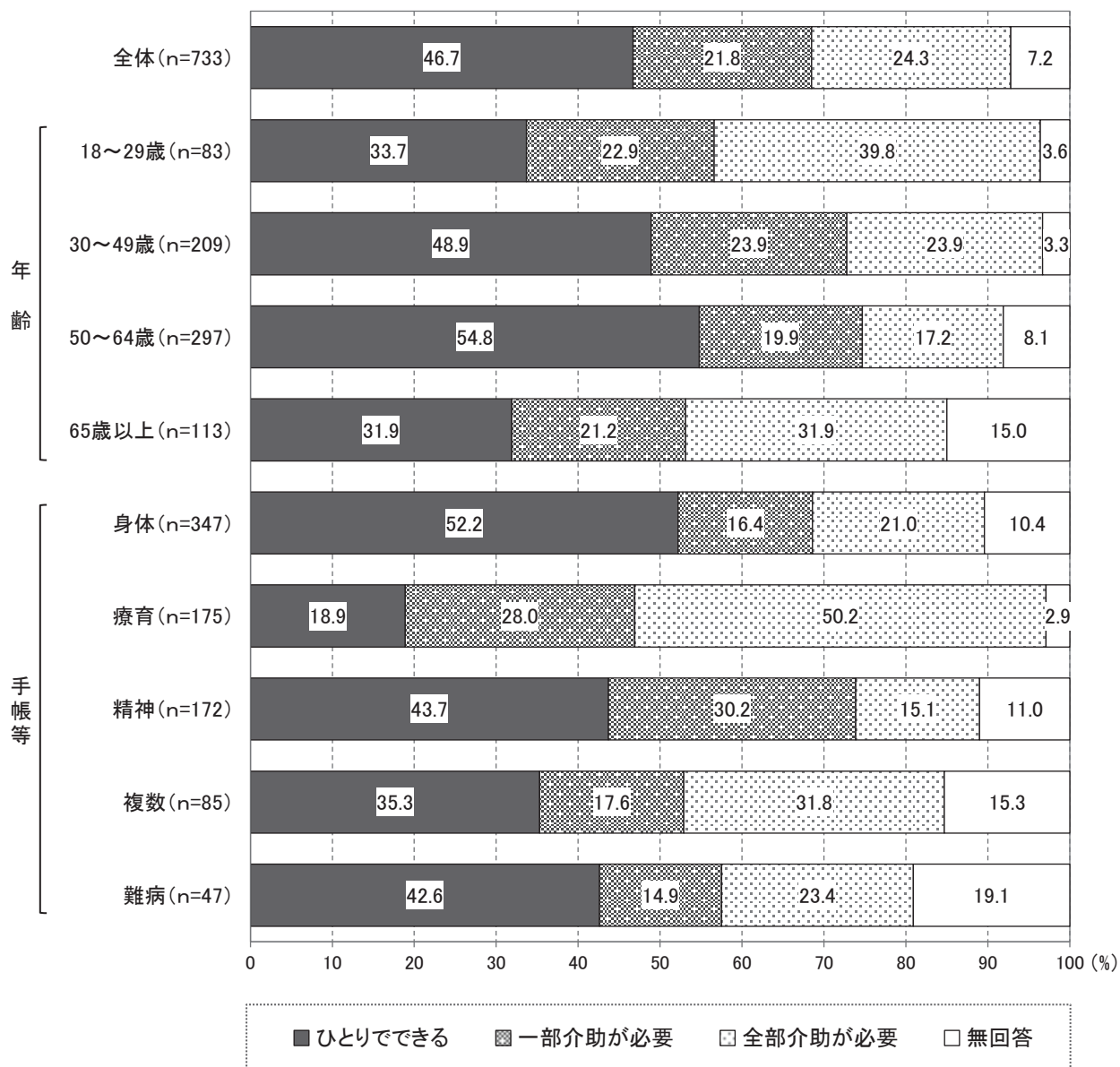
⑥ お金の管理

全体では、「ひとりでできる」が53.4%と最も高く、次いで、「全部介助が必要」(21.8%)、「一部介助が必要」(18.7%)の順となっています。



⑦ 緊急時の避難・連絡

全体では、「ひとりでできる」が46.7%と最も高く、次いで、「全部介助が必要」(24.3%)、「一部介助が必要」(21.8%)の順となっています。

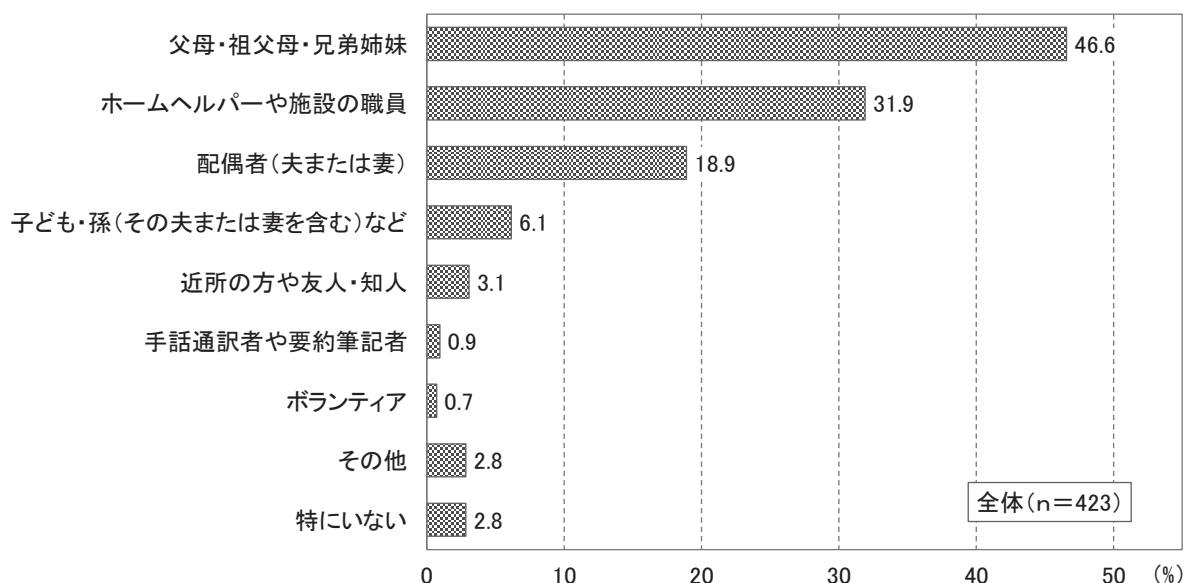


問 15

◆問 14 で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方。

介助してくれる方は主に誰ですか。【複数回答可】

「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 46.6%と最も高く、次いで、「ホームヘルパーや施設の職員」(31.9%)、「配偶者（夫または妻）」(18.9%) の順となっています。



主なその他意見

- ・ 支援者。
- ・ ケアマネジャー。
- ・ 伯母。
- ・ 訪問看護。
- ・ 保佐人。
- ・ パートナー。
- ・ 恋人。
- ・ 前妻。

	(n=)	父 母・ 祖 父 母・ 兄 弟 姉 妹	配 偶 者 (夫 ま た は 妻)	子 ど も・ 孫 (そ の 夫 ま た は 妻 を 含 む) な ど は	近 所 の 方 や 友 人・ 知 人	ホ ー ム ヘ ル パ ー や 施 設 の 職 員 の	ボ ラ ン テ ィ ア	手 話 通 訳 者 や 要 約 筆 記 者	そ の 他	特 に い な い
全体	423	197 46.6%	80 18.9%	26 6.1%	13 3.1%	135 31.9%	3 0.7%	4 0.9%	12 2.8%	12 2.8%
身体	171	58 33.9%	51 29.8%	16 9.4%	6 3.5%	49 28.7%	2 1.2%	4 2.3%	2 1.2%	8 4.7%
療育	151	100 66.2%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.3%	58 38.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.3%	0 0.0%
精神	108	51 47.2%	26 24.1%	6 5.6%	5 4.6%	28 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 6.5%	3 2.8%
複数	51	28 54.9%	4 7.8%	1 2.0%	1 2.0%	18 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%
難病	23	10 43.5%	9 39.1%	2 8.7%	0 0.0%	7 30.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

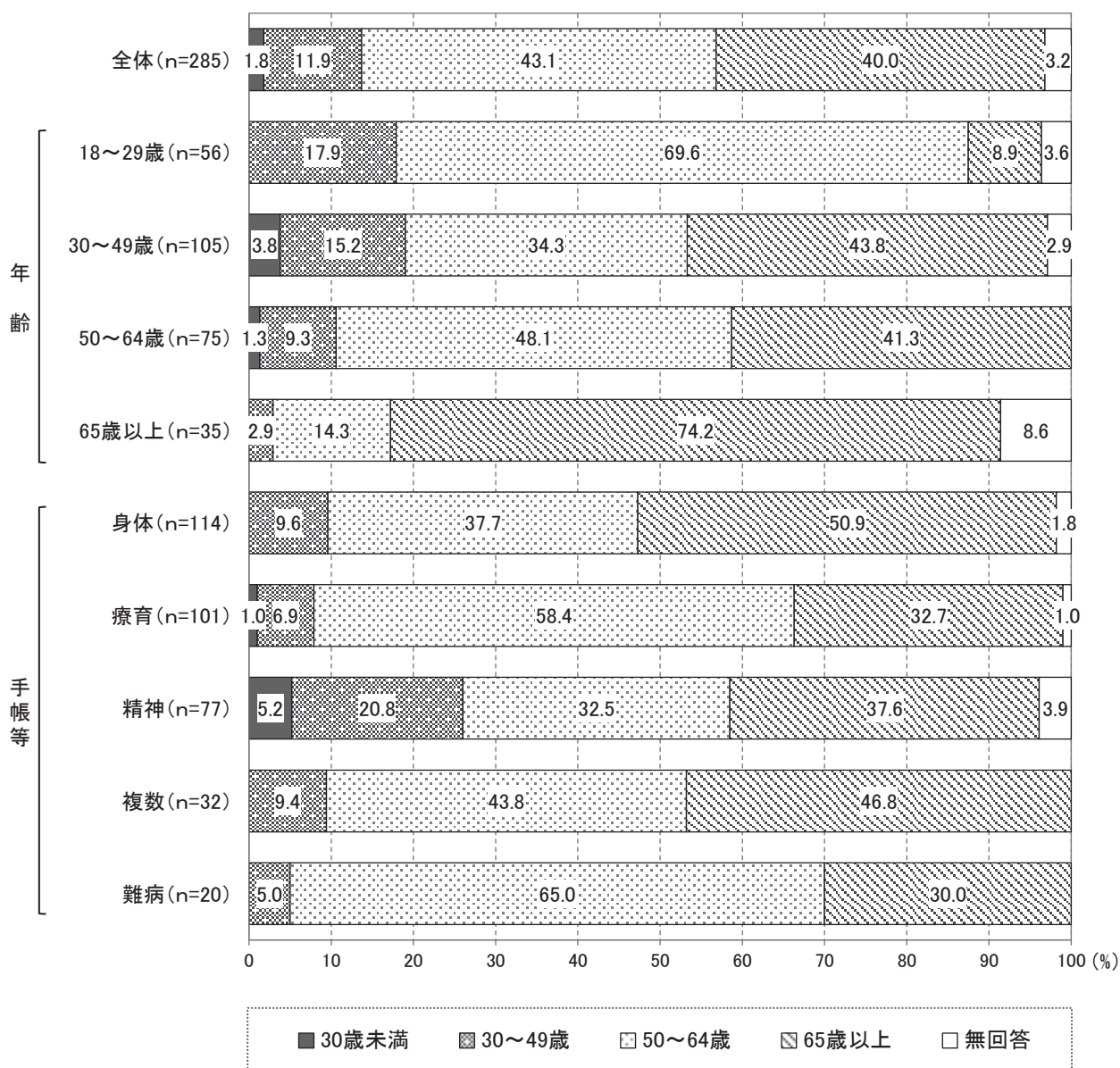
問 16

◆問 15 で「1. ～ 3.」を選んだ方。

介助してくれる家族で、中心となっている方についてお答えください。

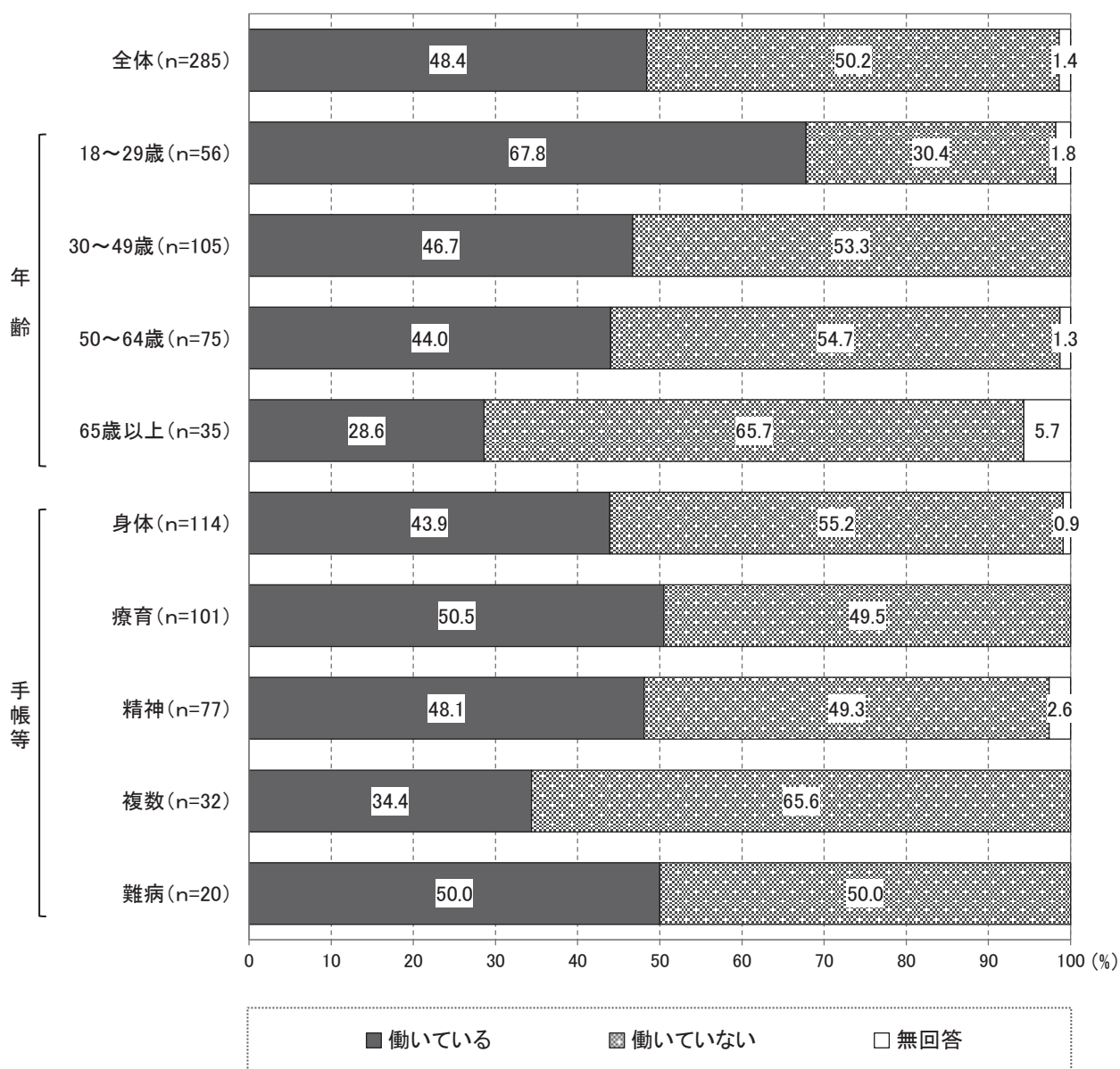
(1) 年齢

全体では、「50～64 歳」が 43.1%と最も高く、次いで、「65 歳以上」(40.0%)、「30～49 歳」(11.9%)の順となっています。



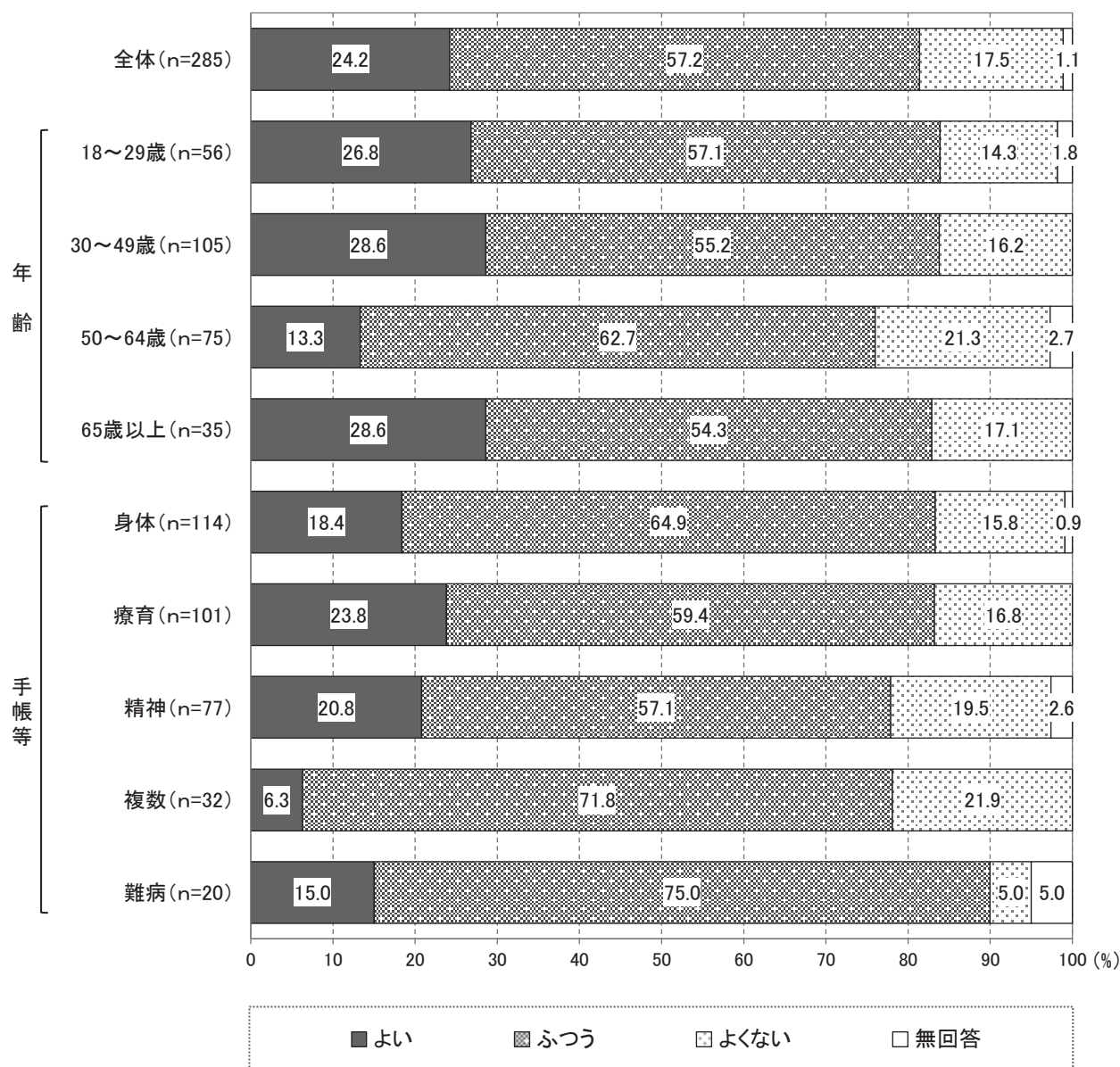
(2) 就労状況

全体では、「働いている」が48.4%、「働いていない」が50.2%となっています。
また、手帳複数所持者で「働いている」の割合が低くなっています。



(3) 健康状態

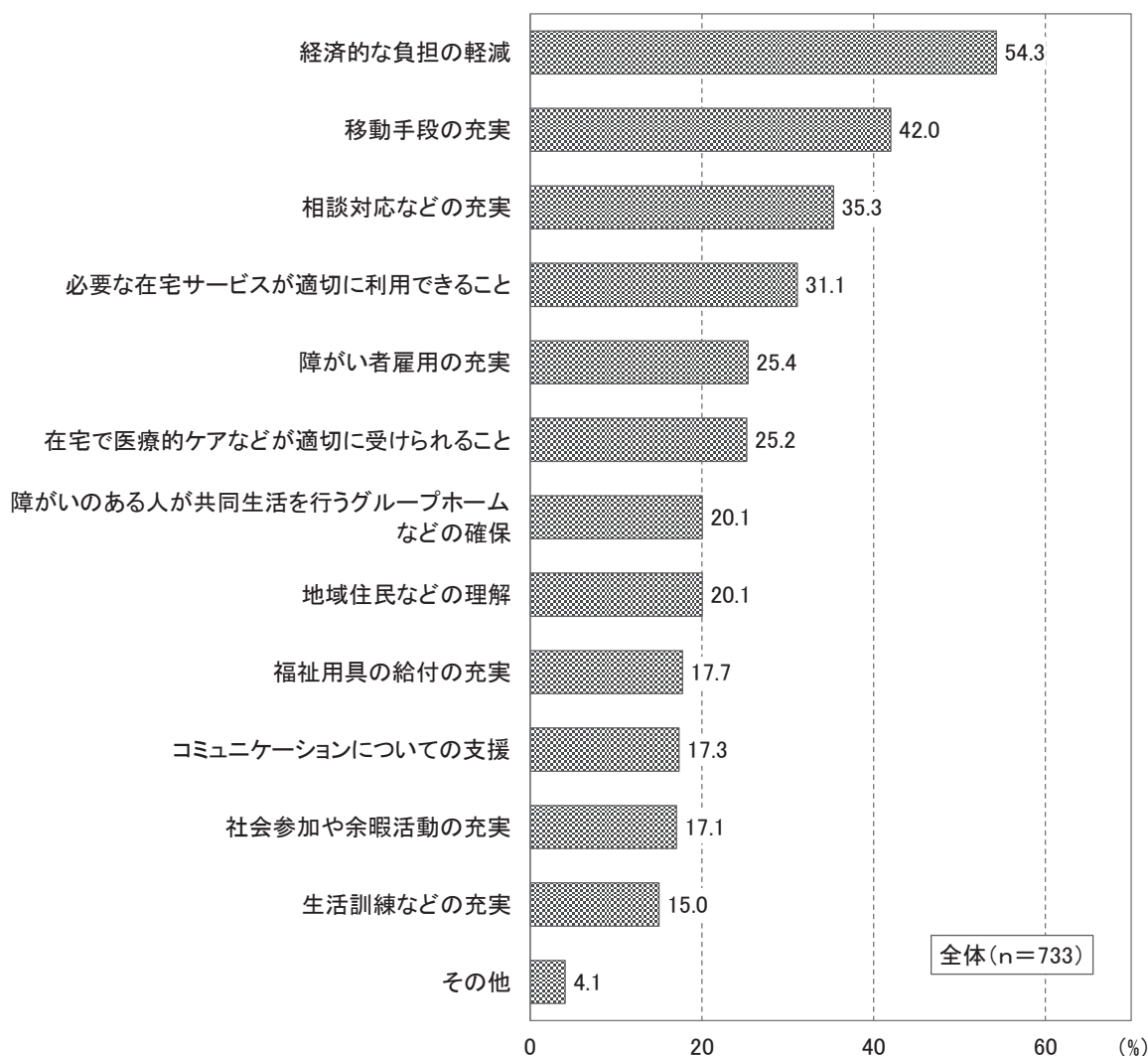
全体では、「ふつう」が57.2%と最も高く、次いで、「よい」(24.2%)、「よくない」(17.5%)の順となっています。



問 17

今後、地域で生活をするためには、どのような支援があればよいと思いますか。
【複数回答可】

「経済的な負担の軽減」が 54.3%と最も高く、次いで、「移動手段の充実」(42.0%)、「相談対応などの充実」(35.3%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 生活支援への補助。サポート委員。
- ・ 就業支援。
- ・ 介助者の生活支援（入院など）。
- ・ 車椅子対応の介護タクシー会社の充実。
- ・ 支援の紹介を充実（支援内容の広報活動）。
- ・ 防災行政無線の設置によるフェイズフリーのプッシュ型サービス。
- ・ ボランティアの人ができないことを手伝ってもらいたい。
- ・ 老後、車が乗れなくなった場合、荷物を持って歩けないため、買い物もできなくなることへの支援。
- ・ 他人の目を気にすることなく待てるよう、病院の待合室の充実。
- ・ ストマ用用具について、他自治体のように業者と福祉課が連携したスムーズな給付。
- ・ いろいろな精神科系疾患があるが、なかなか手帳がもらえず大変だった。心因性とうつにも支援がもう少しほしい。
- ・ リモートで診察可能になること。
- ・ 個人差があるので必要ない。
- ・ リハビリなど。

		在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	障がいのある人が共同生活を行うための確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練などの充実	経済的な負担の軽減	相談対応などの充実	地域住民などの理解	福祉用具の給付の充実	障がい者雇用の充実	社会参加や余暇活動の充実	移動手段の充実	コミュニケーションについての支援	その他
	(n=)													
全体	733	185 25.2%	147 20.1%	228 31.1%	110 15.0%	398 54.3%	259 35.3%	147 20.1%	130 17.7%	186 25.4%	125 17.1%	308 42.0%	127 17.3%	30 4.1%
身体	347	103 29.7%	51 14.7%	127 36.6%	46 13.3%	179 51.6%	96 27.7%	50 14.4%	92 26.5%	81 23.3%	41 11.8%	143 41.2%	44 12.7%	16 4.6%
療育	175	39 22.3%	59 33.7%	42 24.0%	41 23.4%	81 46.3%	79 45.1%	53 30.3%	14 8.0%	50 28.6%	49 28.0%	80 45.7%	44 25.1%	10 5.7%
精神	172	41 23.8%	40 23.3%	49 28.5%	30 17.4%	100 58.1%	75 43.6%	48 27.9%	19 11.0%	56 32.6%	33 19.2%	70 40.7%	45 26.2%	6 3.5%
複数	85	26 30.6%	21 24.7%	23 27.1%	18 21.2%	35 41.2%	33 38.8%	20 23.5%	10 11.8%	22 25.9%	21 24.7%	29 34.1%	22 25.9%	3 3.5%
難病	47	12 25.5%	9 19.1%	21 44.7%	7 14.9%	19 40.4%	13 27.7%	7 14.9%	17 36.2%	6 12.8%	6 12.8%	22 46.8%	6 12.8%	4 8.5%

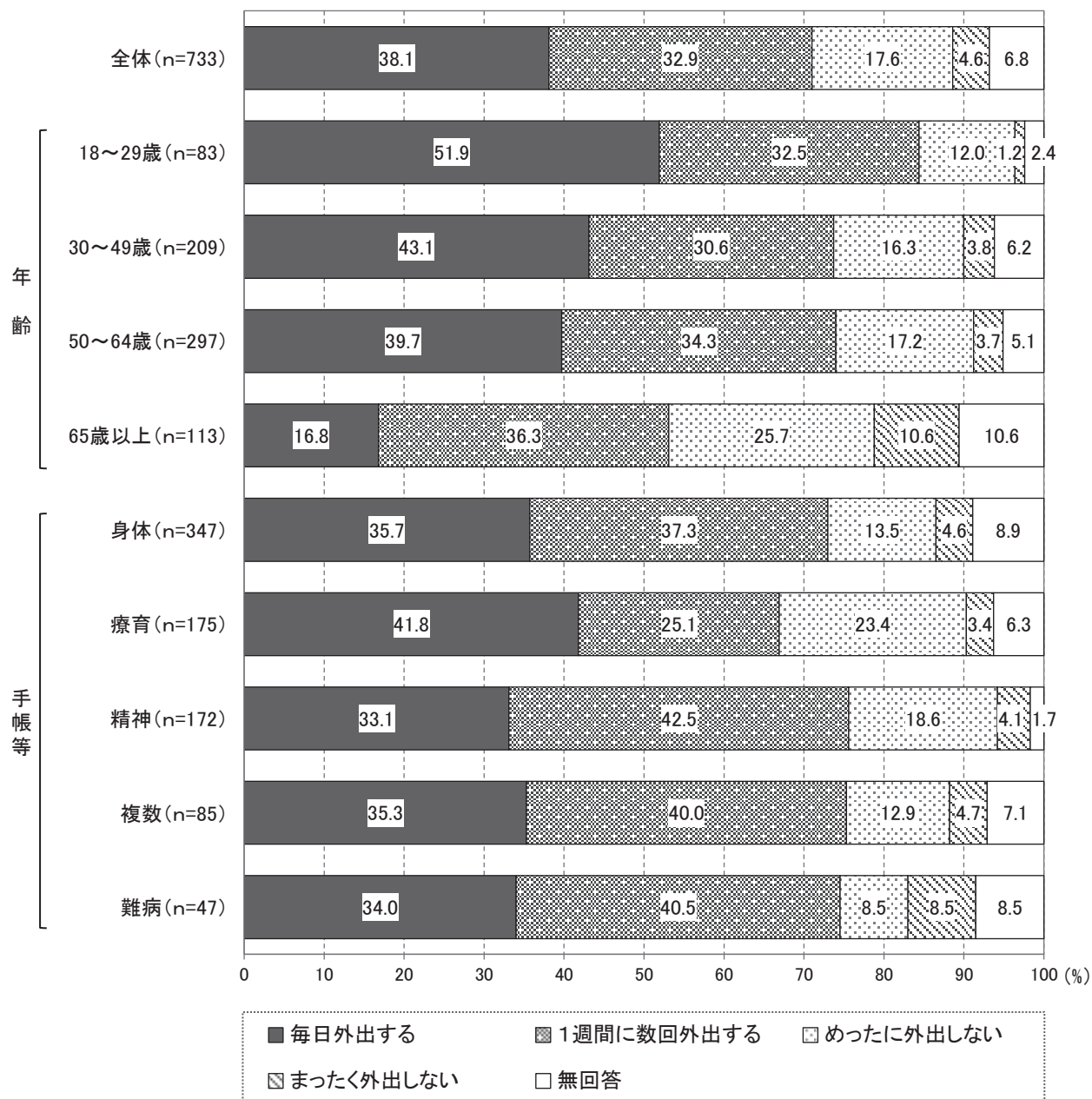
◆ポイント

地域で生活するために必要な支援について、経済的な負担軽減、移動手段の充実、相談対応が上位に挙げられています。引き続き、障がいのある人のニーズに対応できる移動手段の確保と相談支援等の充実に努める必要があります。

7. 日中活動について

問 18 1週間にどの程度外出しますか。

全体では、「毎日外出する」が 38.1%と最も高く、次いで、「1週間に数回外出する」(32.9%)、「めったに外出しない」(17.6%) の順となっています。

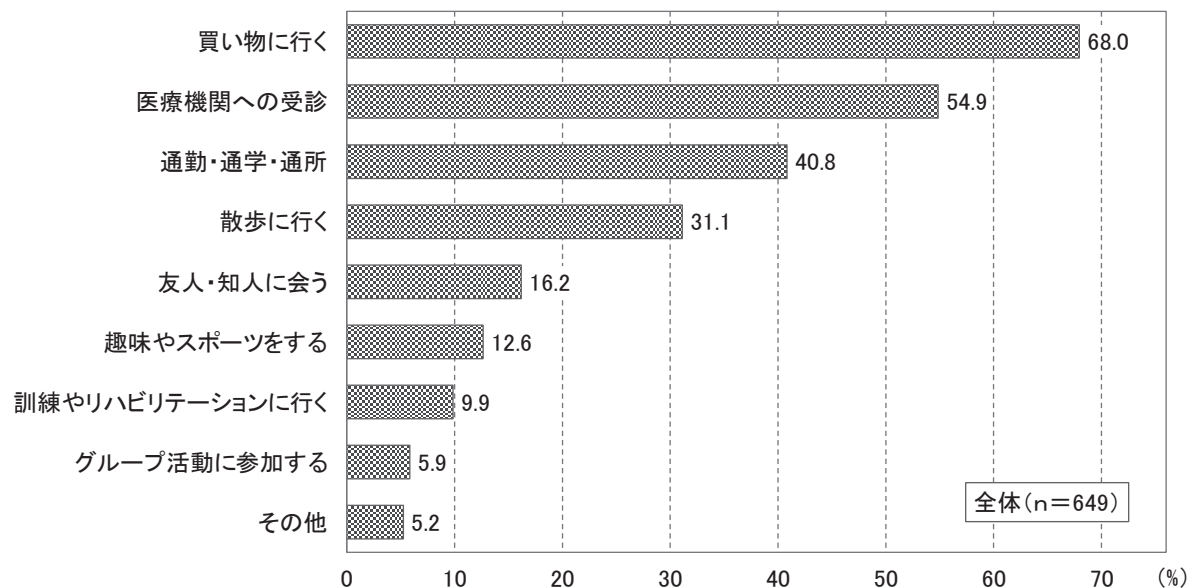


問 19

◆問 18 で「1. ～ 3.」を選んだ方。

どのような目的で外出することが多いですか。【複数回答可】

「買い物に行く」が 68.0%と最も高く、次いで、「医療機関への受診」(54.9%)、「通勤・通学・通所」(40.8%) の順となっています。



主なその他意見

- ・ ドライブする。
- ・ 家族の見舞いなど。
- ・ 外食。
- ・ 子どもの送迎。
- ・ 施設の敷地を散歩。
- ・ 自宅への帰省。
- ・ 実家に行く。
- ・ 父親の病院や買い物の送り迎え。
- ・ 本屋へ行く。

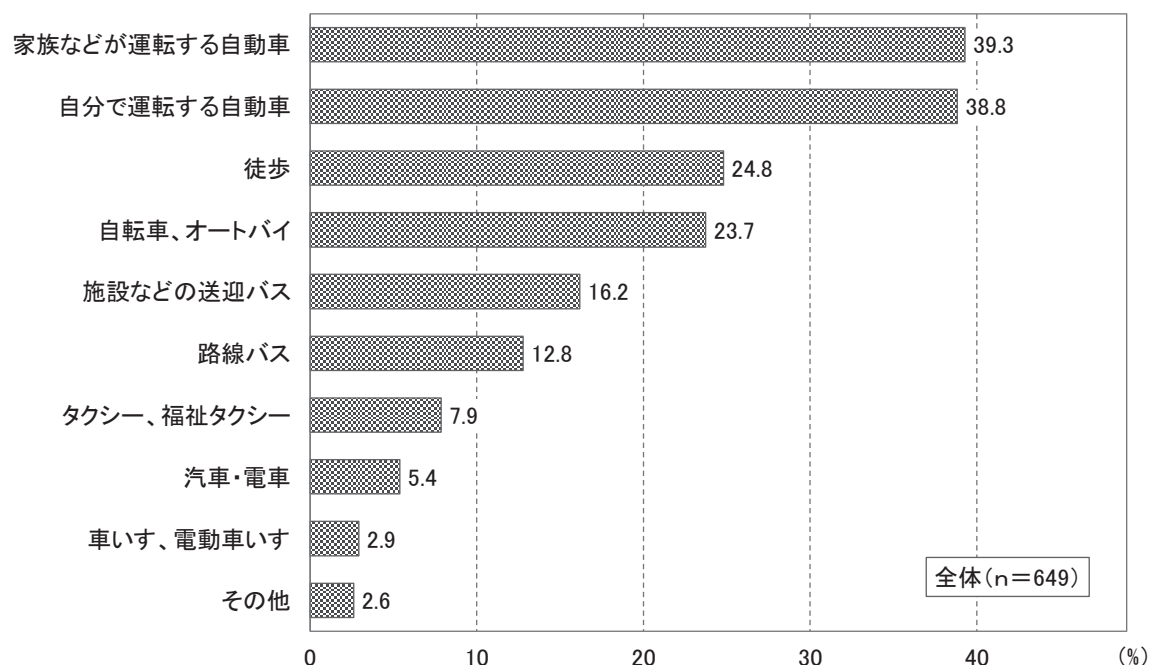
	(n=)	通勤・通学・通所	訓練やリハビリテーションに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他
全体	649	265 40.8%	64 9.9%	356 54.9%	441 68.0%	105 16.2%	82 12.6%	38 5.9%	202 31.1%	34 5.2%
身体	300	110 36.7%	43 14.3%	167 55.7%	189 63.0%	50 16.7%	36 12.0%	13 4.3%	96 32.0%	9 3.0%
療育	158	88 55.7%	8 5.1%	75 47.5%	106 67.1%	14 8.9%	15 9.5%	13 8.2%	48 30.4%	10 6.3%
精神	162	52 32.1%	16 9.9%	94 58.0%	116 71.6%	21 13.0%	18 11.1%	9 5.6%	47 29.0%	8 4.9%
複数	75	28 37.3%	8 10.7%	35 46.7%	50 66.7%	5 6.7%	8 10.7%	3 4.0%	26 34.7%	1 1.3%
難病	39	8 20.5%	8 20.5%	24 61.5%	26 66.7%	4 10.3%	1 2.6%	0 0.0%	9 23.1%	3 7.7%

問 20

◆問 18 で「1. ～ 3.」を選んだ方。

主な移動手段はどのようなものですか。【複数回答可】

「家族などが運転する自動車」が 39.3%と最も高く、次いで、「自分で運転する自動車」(38.8%)、「徒歩」(24.8%) の順となっています。



主なその他意見

- ・ シニアカー。
- ・ 施設職員が運転する車。
- ・ 高速バス。
- ・ 介護士の車。

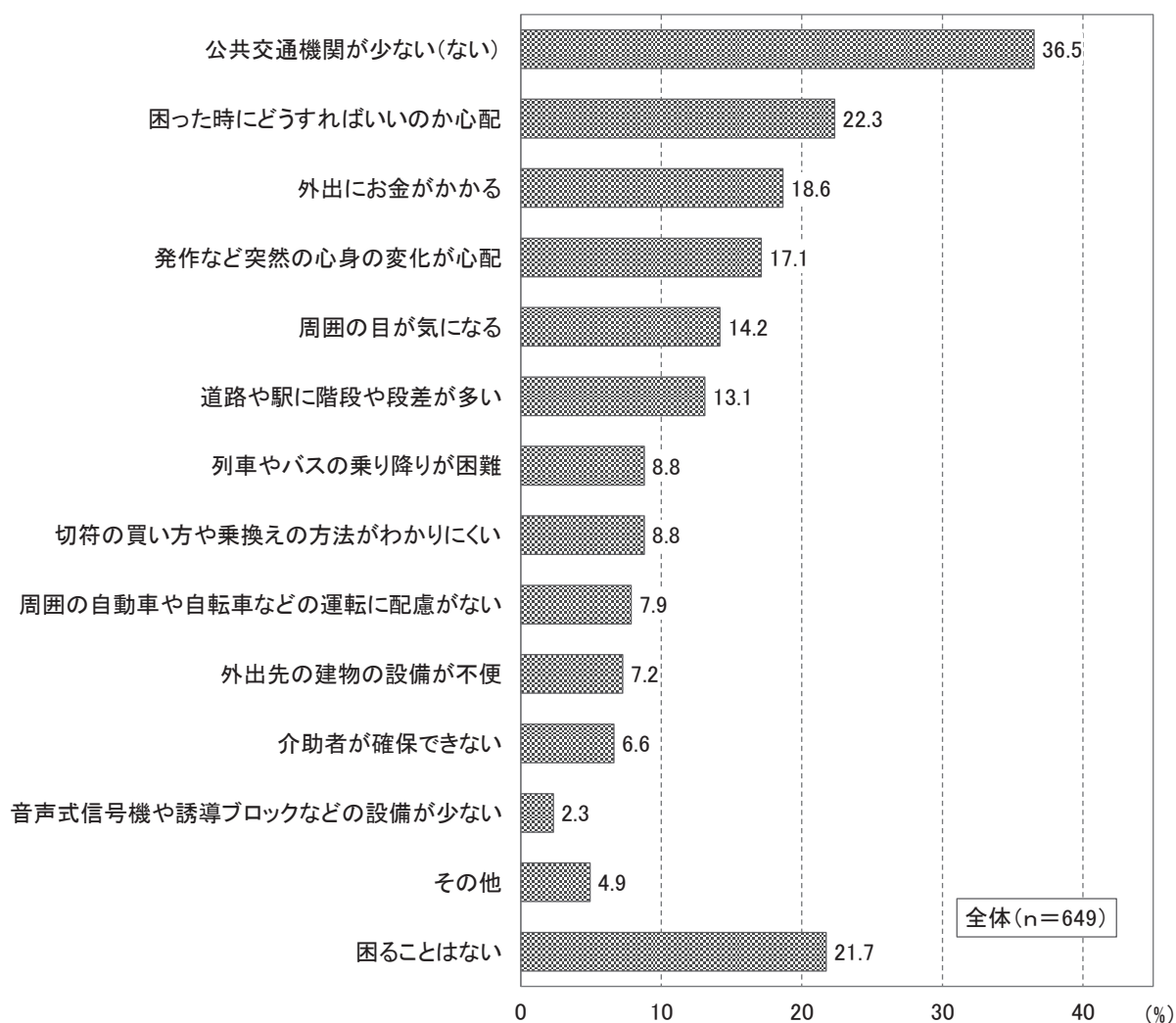
	(n=)	自分で運転する自動車	家族などが運転する自動車	自転車、オートバイ	車いす、電動車いす	汽車・電車	路線バス	施設などの送迎バス	タクシー、福祉タクシー	徒歩	その他
全体	649	252 38.8%	255 39.3%	154 23.7%	19 2.9%	35 5.4%	83 12.8%	105 16.2%	51 7.9%	161 24.8%	17 2.6%
身体	300	141 47.0%	106 35.3%	48 16.0%	17 5.7%	15 5.0%	30 10.0%	32 10.7%	33 11.0%	73 24.3%	9 3.0%
療育	158	16 10.1%	87 55.1%	49 31.0%	1 0.6%	11 7.0%	26 16.5%	52 32.9%	10 6.3%	41 25.9%	7 4.4%
精神	162	53 32.7%	59 36.4%	54 33.3%	2 1.2%	13 8.0%	30 18.5%	21 13.0%	13 8.0%	50 30.9%	5 3.1%
複数	75	16 21.3%	26 34.7%	26 34.7%	2 2.7%	8 10.7%	10 13.3%	12 16.0%	8 10.7%	25 33.3%	3 4.0%
難病	39	14 35.9%	20 51.3%	6 15.4%	4 10.3%	1 2.6%	3 7.7%	1 2.6%	6 15.4%	11 28.2%	1 2.6%

問 21

◆問 18 で「1. ～ 3.」を選んだ方。

外出する時に困ることは何ですか。【複数回答可】

外出する時に困ることで見ると、「公共交通機関が少ない(ない)」が 36.5%と最も高く、次いで、「困った時にどうすればいいのか心配」(22.3%)、「外出にお金がかかる」(18.6%) の順となっています。



主なその他意見

- ・ 施設の送迎バスがあれば困ることはない。
- ・ 運転免許。教習所になかなか行けない。
- ・ 車のマナーが悪い。
- ・ 道が狭い。
- ・ 人間が怖い。
- ・ タッチパネルの注文やセルフ支払い。
- ・ 足が不自由になってきている。
- ・ タクシーが決まった時間に来ない。
- ・ トイレが近い。
- ・ 1人では無理で、見守りが必要。
- ・ バスの待ち時間をつぶせる施設などが無い。
- ・ 近くにコンビニがない。
- ・ 対話ができない。
- ・ お金を使ってしまう。
- ・ 歩行不自由。
- ・ 車が運転できなくなると通院に困る。
- ・ 食事をすると鼻水が大量に出る。
- ・ バス停までの道のりが大変。
- ・ 自転車しか乗れない。
- ・ 転倒のリスク。
- ・ 全て。

- ・自力での外出は不可能で、家族に頼るしかない。
- ・声が出ないので、電話がかけられない。
- ・透析後の出血と左腕の痛みが運転中に急に来ると困る。安全に止まれない。
- ・身体障がい者用の駐車スペースが空いていない。高齢者がよく利用している。

		公共交通機関が少ない (ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	外出先の建物の設備が不便	周囲の自動車や自転車などの 配慮が運転に	音声式信号機や誘導ブ ロックなどの設備が 少ない	切符の買い方や乗換えの 方法がわかりにくい	介助者が確保できない	困った時にどうすればいいの か心配	外出にお金がかかる	発作など突然の心身の変化が 心配	周囲の目が気になる	その他	困ることはない
	(n=)														
全体	649	237 36.5%	57 8.8%	85 13.1%	47 7.2%	51 7.9%	15 2.3%	57 8.8%	43 6.6%	145 22.3%	121 18.6%	111 17.1%	92 14.2%	32 4.9%	141 21.7%
身体	300	103 34.3%	41 13.7%	57 19.0%	36 12.0%	30 10.0%	13 4.3%	20 6.7%	22 7.3%	54 18.0%	45 15.0%	47 15.7%	30 10.0%	17 5.7%	64 21.3%
療育	158	59 37.3%	12 7.6%	16 10.1%	11 7.0%	13 8.2%	3 1.9%	23 14.6%	22 13.9%	60 38.0%	27 17.1%	23 14.6%	33 20.9%	7 4.4%	22 13.9%
精神	162	65 40.1%	8 4.9%	15 9.3%	8 4.9%	14 8.6%	2 1.2%	18 11.1%	7 4.3%	42 25.9%	42 25.9%	34 21.0%	36 22.2%	11 6.8%	29 17.9%
複数	75	25 33.3%	7 9.3%	10 13.3%	7 9.3%	9 12.0%	3 4.0%	8 10.7%	7 9.3%	22 29.3%	14 18.7%	9 12.0%	15 20.0%	5 6.7%	13 17.3%
難病	39	12 30.8%	8 20.5%	11 28.2%	4 10.3%	4 10.3%	2 5.1%	5 12.8%	5 12.8%	11 28.2%	6 15.4%	8 20.5%	6 15.4%	5 12.8%	5 12.8%

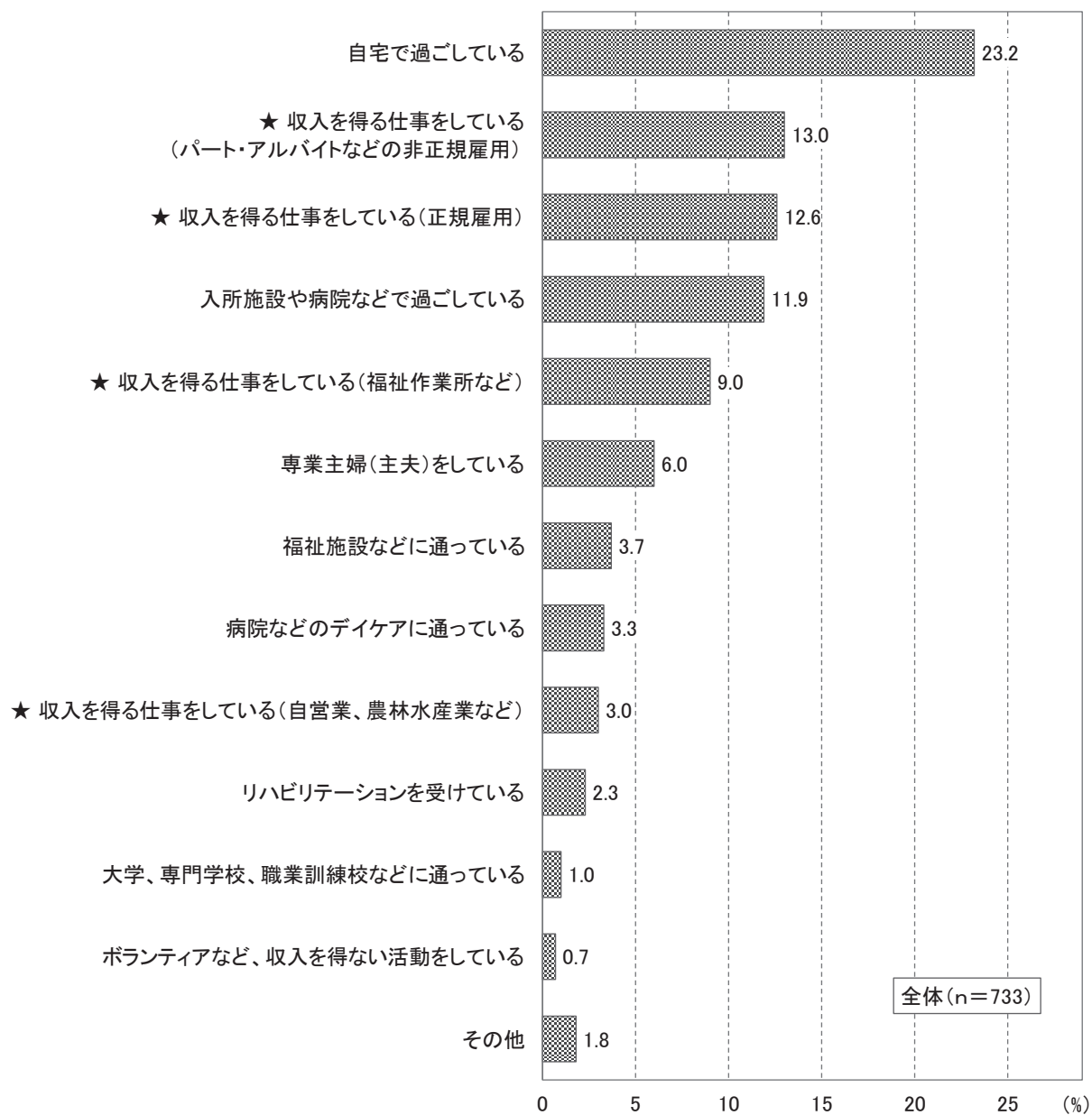
◆ポイント

外出したとき困ることについて、公共交通機関の少なさや困ったときの対応等が上位に挙げられています。障がいのある人が地域の中で生活できるよう、障がいのある人への市民の理解を深めて困っている人を手助けできる機運を醸成するとともに、公共交通網の維持・充実に取り組む必要があります。

8. 就労について

問 22 平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

「自宅で過ごしている」が 23.2%と最も高く、次いで、「収入を得る仕事をしている（パート・アルバイトなどの非正規雇用）」（13.0%）、「収入を得る仕事をしている（正規雇用）」（12.6%）の順となっています。



選択肢の★印は、「収入を得る仕事」

主なその他意見

- ・ ほとんど外に行く。
- ・ 山、海岸、野原で散歩。
- ・ 絵描き。

収入を得る仕事をしている方（問 22 で★の選択肢を選んだ方）で見ると、療育手帳所持者で「福祉作業所など」の割合が高くなっています。

《収入を得る仕事をしている方》

	(n=)	正 規 雇 用	パ ー ト ・ 非 正 規 雇 用 ト	福 祉 作 業 所 な ど	自 営 業 、 農 林 水 産 業 な ど
全体	733	92 12.6%	95 13.0%	66 9.0%	22 3.0%
身体	347	46 13.3%	41 11.8%	18 5.2%	15 4.3%
療育	175	14 8.0%	23 13.1%	32 18.3%	0 0.0%
精神	172	13 7.6%	25 14.5%	21 12.2%	2 1.2%
複数	85	3 3.5%	12 14.1%	11 12.9%	1 1.2%
難病	47	7 14.9%	1 2.1%	2 4.3%	2 4.3%

収入を得る仕事をしていない方（問22で「5.」～「13.」を選択した方）で見ると、療育手帳所持者で「入所施設や病院などで過ごしている」、身体障がい者手帳所持者・精神障がい者保健福祉手帳所持者・手帳複数所持者・難病患者で「自宅で過ごしている」の割合がそれぞれ高くなっています。

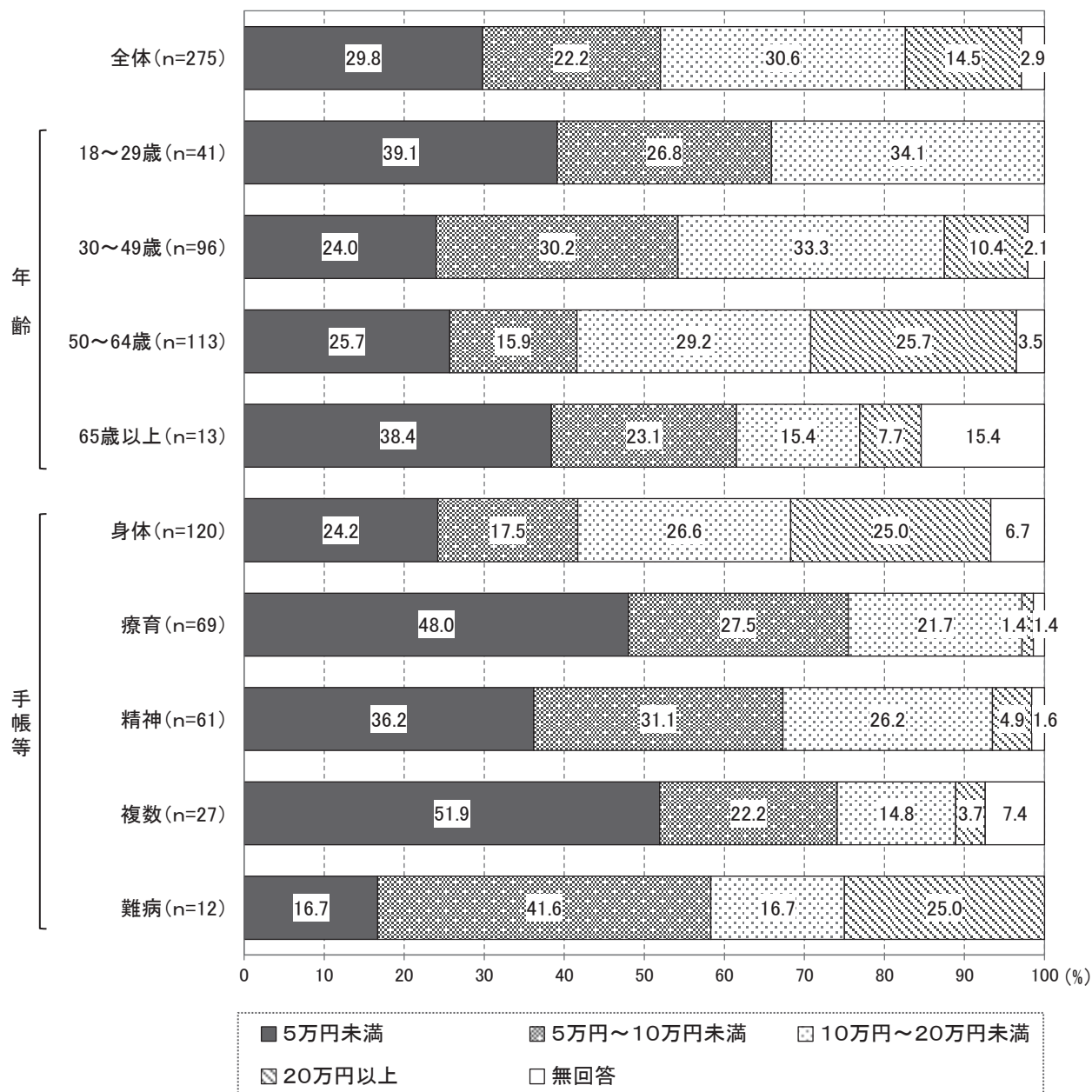
《収入を得る仕事をしていない方》

	(n=)	ボランティアなど、収入を得ない活動をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設などに通っている	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所施設や病院などで過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	その他
全体	830	5 0.7%	44 6.0%	27 3.7%	24 3.3%	17 2.3%	172 23.2%	87 11.9%	7 1.0%	13 1.8%
身体	543	2 0.6%	22 6.3%	8 2.3%	8 2.3%	14 4.0%	98 28.3%	26 7.5%	3 0.9%	5 1.4%
療育	140	1 0.6%	4 2.3%	22 12.6%	1 0.6%	1 0.6%	22 12.6%	43 24.4%	1 0.6%	4 2.3%
精神	102	1 0.6%	10 5.8%	3 1.7%	11 6.4%	0 0.0%	56 32.6%	15 8.7%	0 0.0%	5 2.9%
複数	71	0 0.0%	2 2.4%	5 5.9%	2 2.4%	0 0.0%	27 31.8%	12 14.1%	0 0.0%	3 3.5%
難病	51	0 0.0%	9 19.0%	0 0.0%	2 4.3%	3 6.4%	9 19.1%	4 8.5%	0 0.0%	2 4.3%

問 23

◆問 22 で「1. ～ 4.」を選んだ方。
働いて得られる収入は月にいくらぐらいですか。

全体では、「10 万円～20 万円未満」が 30.6%と最も高く、次いで、「5 万円未満」(29.8%)、「5 万円～10 万円未満」(22.2%) の順となっています。

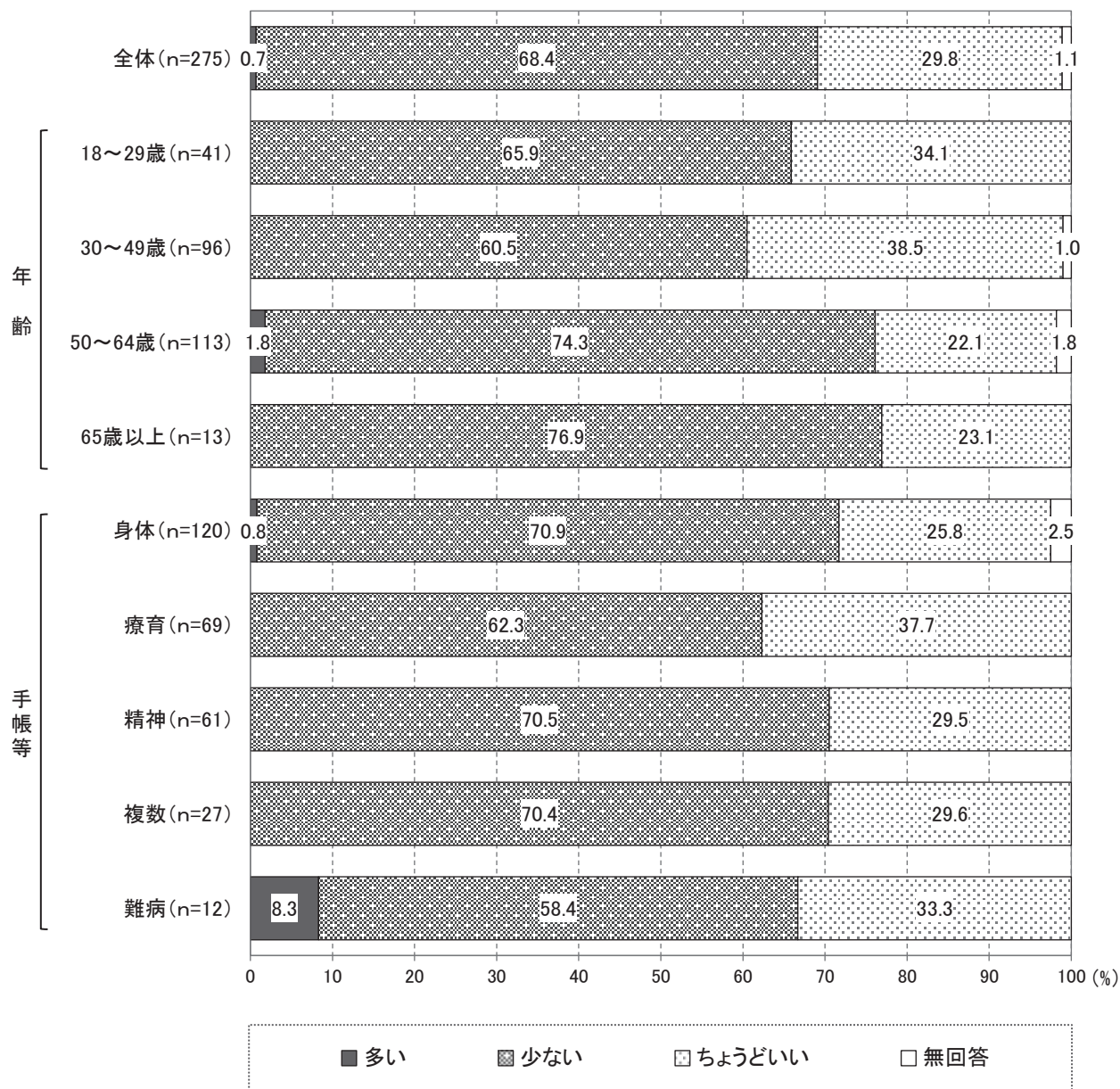


問 24

◆問 22 で「1. ～ 4.」を選んだ方。

現在、働いて得られる収入について、どう感じていますか。

全体では、「少ない」が 68.4%と最も高く、次いで、「ちょうどいい」(29.8%)、「多い」(0.7%)の順となっています。

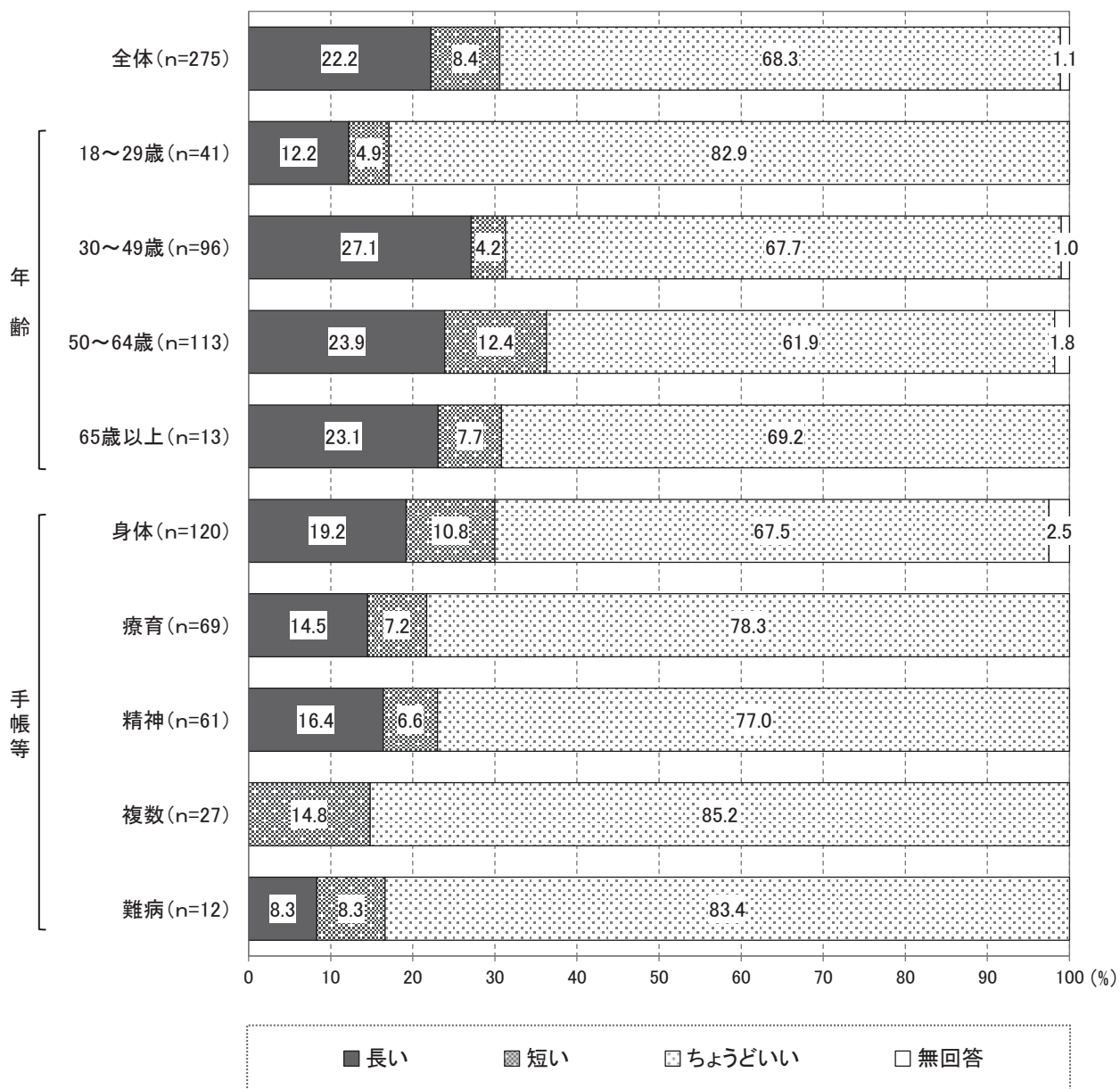


問 25

◆問 22 で「1. ～ 4.」を選んだ方。

現在の勤務時間について、どう感じていますか。

全体では、「ちょうどいい」が 68.3%と最も高く、次いで、「長い」(22.2%)、「短い」(8.4%)の順となっています。

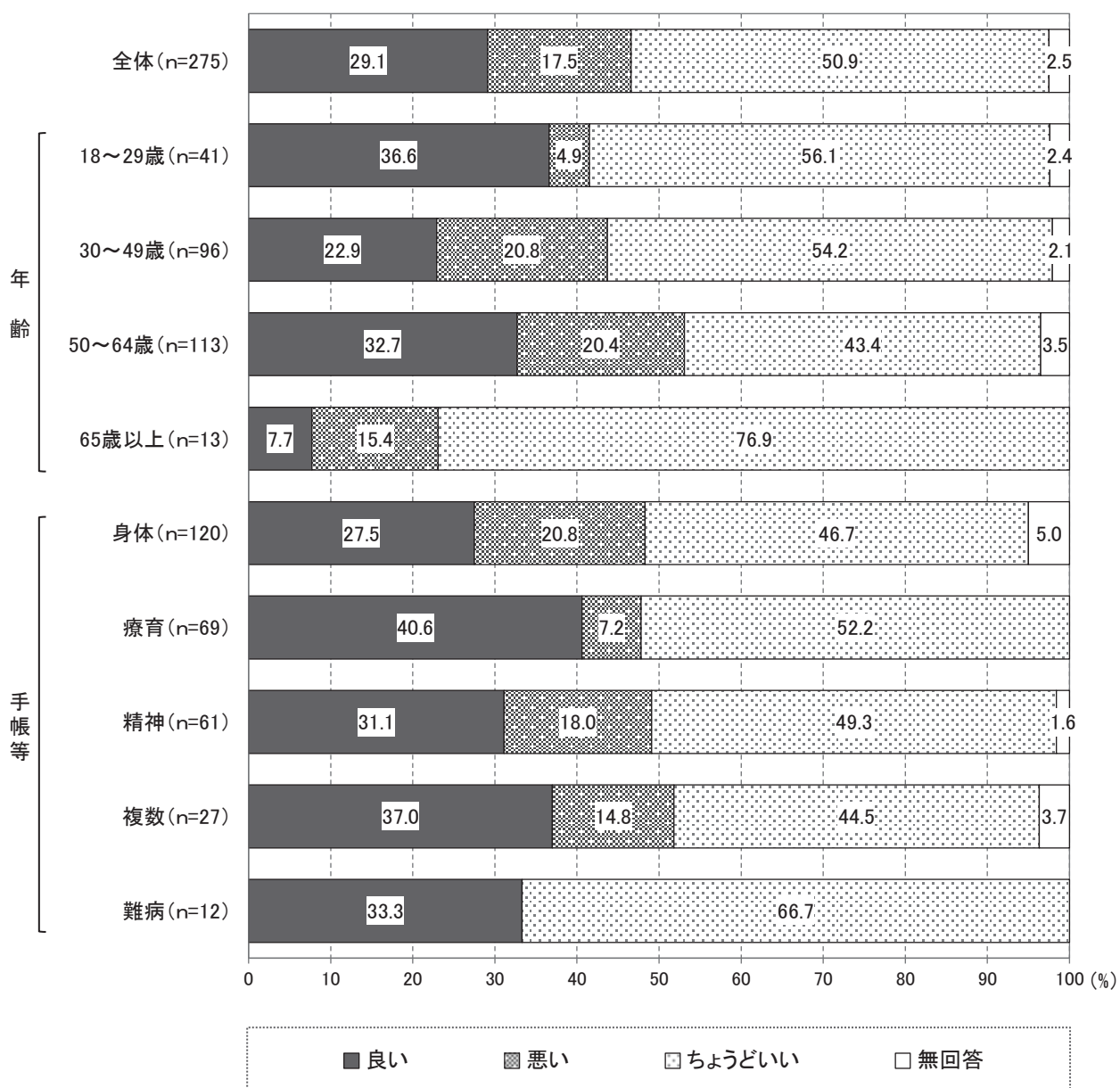


問 26

◆問 22 で「1. ～ 4.」を選んだ方。

現在の職場環境について、どう感じていますか。

全体では、「ちょうどいい」が 50.9%と最も高く、次いで、「良い」(29.1%)、「悪い」(17.5%)の順となっています。

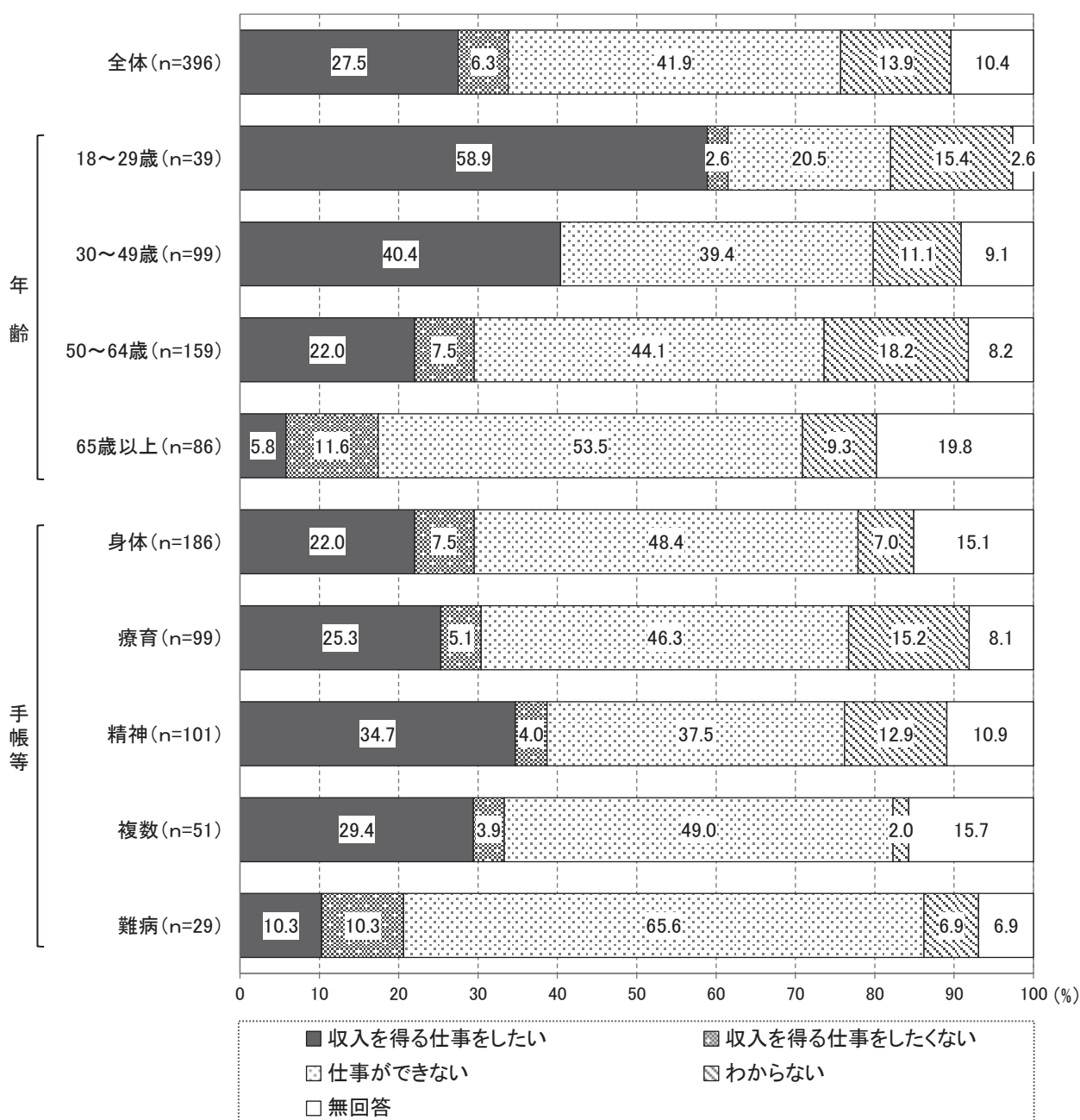


問 27

◆問 22 で「5. ～13.」を選んだ方。

今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

全体では、「仕事ができない」が 41.9%と最も高く、次いで、「収入を得る仕事をしたい」(27.5%)、「わからない」(13.9%) の順となっています。

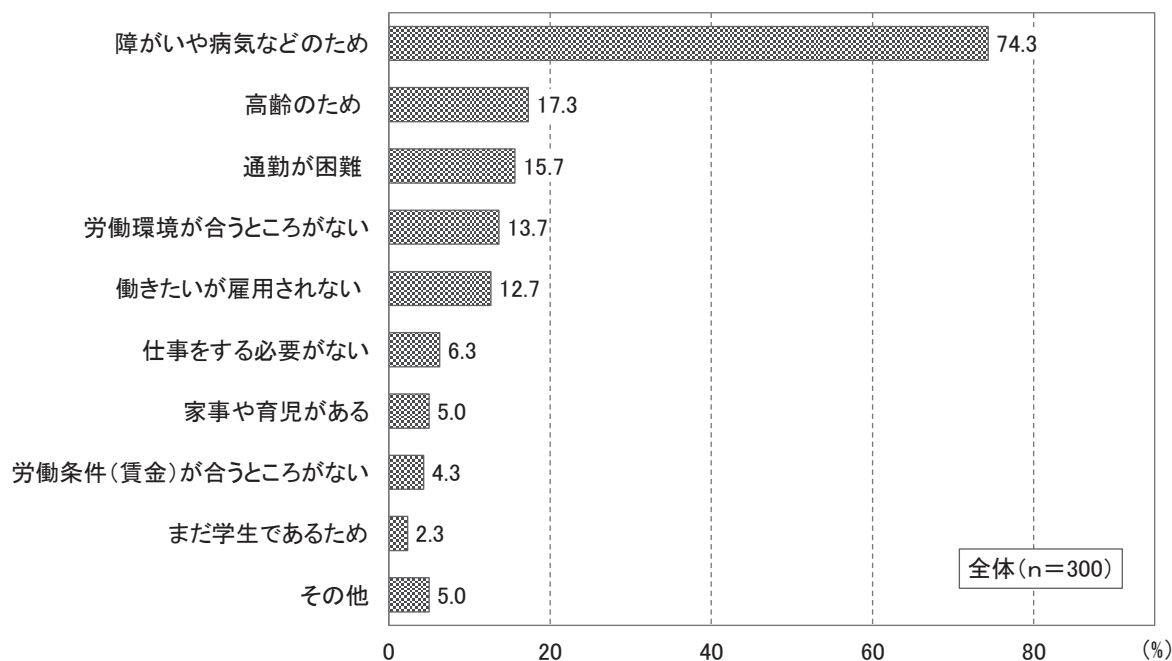


問 28

◆問 27 で「1. ～ 3.」を選んだ方。

現在収入を得る仕事をしていない理由は何ですか。【複数回答可】

「障がいや病気などのため」が 74.3%と最も高く、次いで、「高齢のため」(17.3%)、「通勤が困難」(15.7%)の順となっています。



主なその他意見

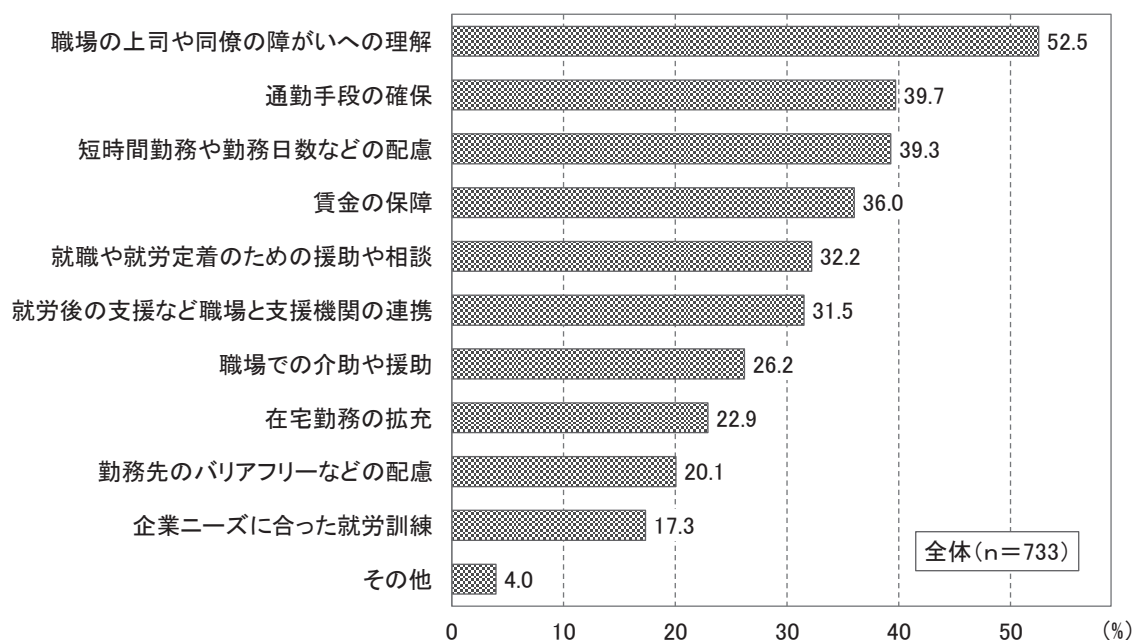
- ・就職活動中。
- ・施設生活のため。
- ・人が多いのが苦手。
- ・透析治療に時間がかかる。体力に自信がない。

	(n=)	障がいや病気などのため	家事や育児がある	労働環境が合うところがないが	労働条件(賃金)が合うところがない	通勤が困難	働きたいが雇用されない	仕事をする必要がない	高齢のため	まだ学生であるため	その他
全体	300	223 74.3%	15 5.0%	41 13.7%	13 4.3%	47 15.7%	38 12.7%	19 6.3%	52 17.3%	7 2.3%	15 5.0%
身体	145	109 75.2%	4 2.8%	13 9.0%	3 2.1%	20 13.8%	15 10.3%	10 6.9%	37 25.5%	2 1.4%	7 4.8%
療育	76	64 84.2%	3 3.9%	14 18.4%	3 3.9%	9 11.8%	12 15.8%	2 2.6%	5 6.6%	2 2.6%	4 5.3%
精神	77	64 83.1%	8 10.4%	18 23.4%	8 10.4%	16 20.8%	14 18.2%	3 3.9%	7 9.1%	0 0.0%	3 3.9%
複数	42	36 85.7%	1 2.4%	8 19.0%	2 4.8%	4 9.5%	7 16.7%	0 0.0%	4 9.5%	0 0.0%	3 7.1%
難病	25	21 84.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.0%	3 12.0%	2 8.0%	6 24.0%	0 0.0%	4 16.0%

問 29

障がいがある方の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
【複数回答可】

「職場の上司や同僚の障がいへの理解」が 52.5%と最も高く、次いで、「通勤手段の確保」(39.7%)、「短時間勤務や勤務日数などの配慮」(39.3%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ いろいろなことができるよう訓練してほしい。
- ・ 生活保護受給者の就労に対しての制度の改定。
- ・ 障がいの種別によってはお金が必要な場合がある。
- ・ 鳴門市内に A 型就労施設が多くあることを希望する。
- ・ 障がい雇用者にもボーナスを渡したり、正社員になれる法律。
- ・ 障がいの程度に合わせた事業の育成や取り扱い内容の作成。
- ・ 相談しやすい環境。会社にある相談電話は、苦情となってしまう、嫌な顔をされるのを気にして相談があっても言わない。

◆ポイント

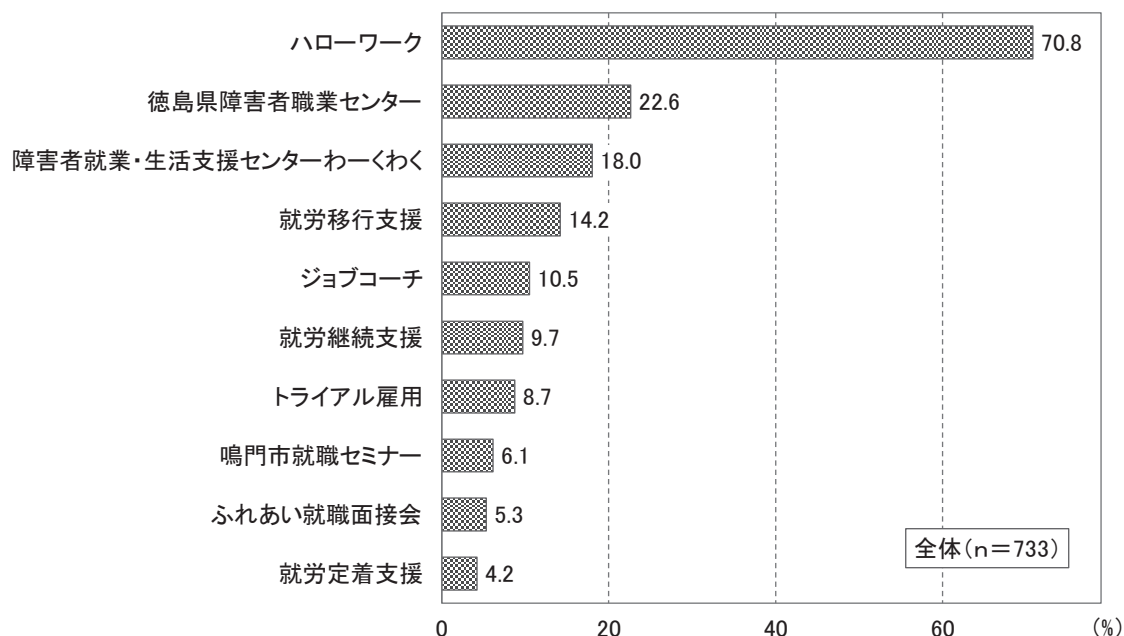
就労支援として必要なことについて、職場の理解、通勤手段の確保、勤務への配慮等の割合が高くなっています。障がいのある人への正しい理解と就労環境の整備を進め、障がいのある人も自己決定に基づいた就労ができるように努める必要があります。

	(n=)	通勤手段の確保	勤務先のバリエーションなどの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚の理解	職場での介助や援助	就労後の支援など職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	就職や就労定着のための援助や相談	賃金の保障	その他
全体	733	291 39.7%	147 20.1%	288 39.3%	168 22.9%	385 52.5%	192 26.2%	231 31.5%	127 17.3%	236 32.2%	264 36.0%	29 4.0%
身体	347	122 35.2%	94 27.1%	117 33.7%	80 23.1%	155 44.7%	77 22.2%	73 21.0%	57 16.4%	84 24.2%	106 30.5%	18 5.2%
療育	175	82 46.9%	15 8.6%	61 34.9%	23 13.1%	103 58.9%	68 38.9%	77 44.0%	38 21.7%	70 40.0%	58 33.1%	7 4.0%
精神	172	74 43.0%	19 11.0%	70 40.7%	47 27.3%	97 56.4%	34 19.8%	70 40.7%	28 16.3%	60 34.9%	74 43.0%	8 4.7%
複数	85	29 34.1%	7 8.2%	21 24.7%	14 16.5%	40 47.1%	18 21.2%	27 31.8%	13 15.3%	25 29.4%	28 32.9%	5 5.9%
難病	47	19 40.4%	18 38.3%	19 40.4%	14 29.8%	20 42.6%	14 29.8%	13 27.7%	10 21.3%	15 31.9%	12 25.5%	6 12.8%

問 30

障がいがある方の就労支援として、次の機関や事業・サービスがあることを知っていますか。【複数回答可】

「ハローワーク」が70.8%と最も高く、次いで、「徳島県障害者職業センター」(22.6%)、「障害者就業・生活支援センターわーくわく」(18.0%)の順となっています。

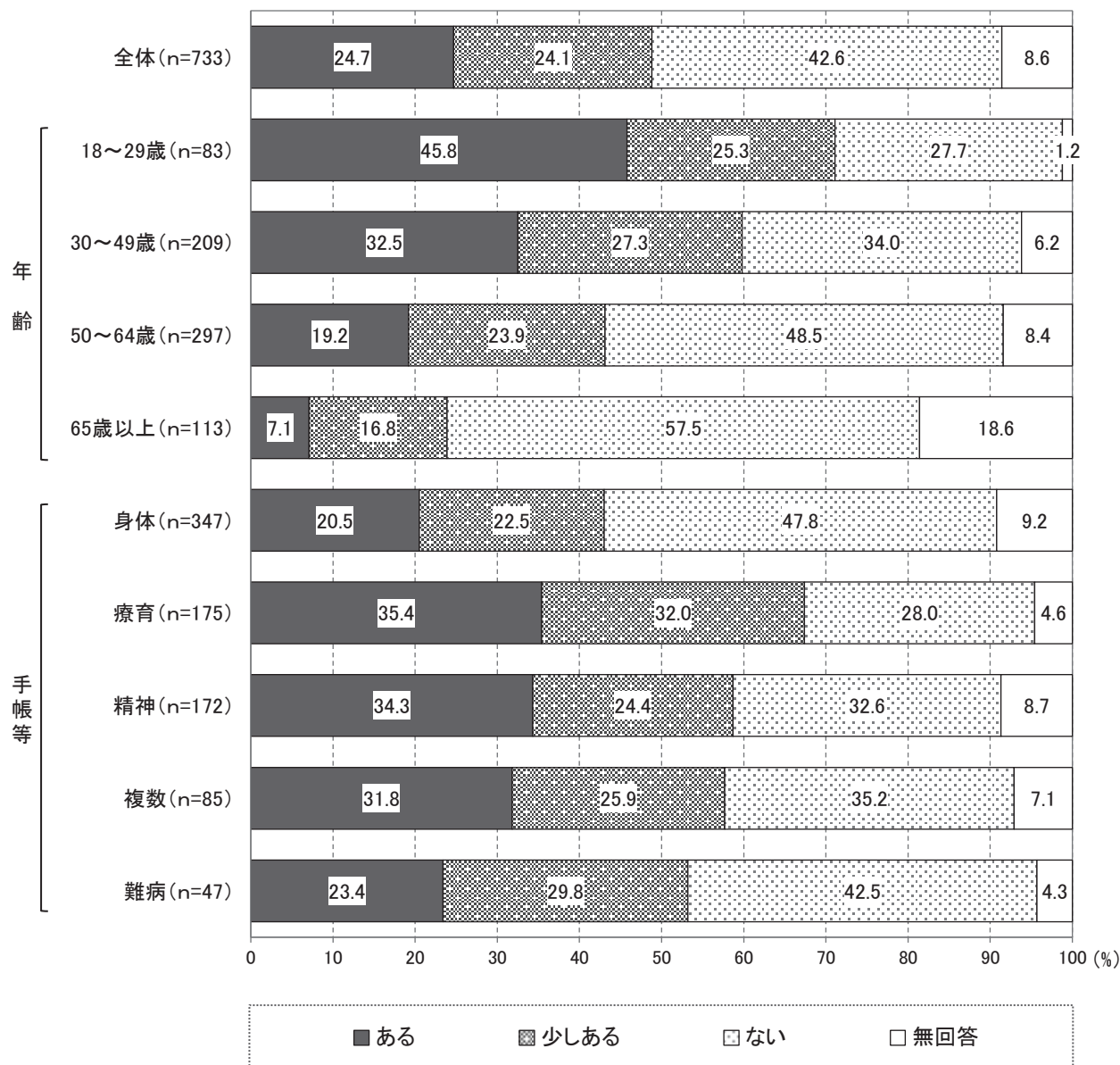


	(n=)	ハローワーク	徳島県障害者職業センター	障害者就業・生活支援センターわーくわく	トライアル雇用	ジョブコーチ	就労移行支援	就労継続支援	就労定着支援	ふれあい就職面接会	鳴門市就職セミナー
全体	733	519 70.8%	166 22.6%	132 18.0%	64 8.7%	77 10.5%	104 14.2%	71 9.7%	31 4.2%	39 5.3%	45 6.1%
身体	347	231 66.6%	73 21.0%	41 11.8%	18 5.2%	16 4.6%	25 7.2%	17 4.9%	14 4.0%	11 3.2%	22 6.3%
療育	175	108 61.7%	45 25.7%	62 35.4%	24 13.7%	38 21.7%	45 25.7%	32 18.3%	13 7.4%	13 7.4%	12 6.9%
精神	172	131 76.2%	42 24.4%	34 19.8%	21 12.2%	26 15.1%	32 18.6%	24 14.0%	10 5.8%	17 9.9%	10 5.8%
複数	85	51 60.0%	15 17.6%	18 21.2%	7 8.2%	9 10.6%	12 14.1%	8 9.4%	8 9.4%	4 4.7%	6 7.1%
難病	47	30 63.8%	13 27.7%	6 12.8%	0 0.0%	1 2.1%	3 6.4%	2 4.3%	2 4.3%	0 0.0%	2 4.3%

9. 権利擁護について

問 31 障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

全体では、「ない」が42.6%と最も高く、次いで、「ある」(24.7%)、「少しある」(24.1%)の順となっています。



◆ポイント

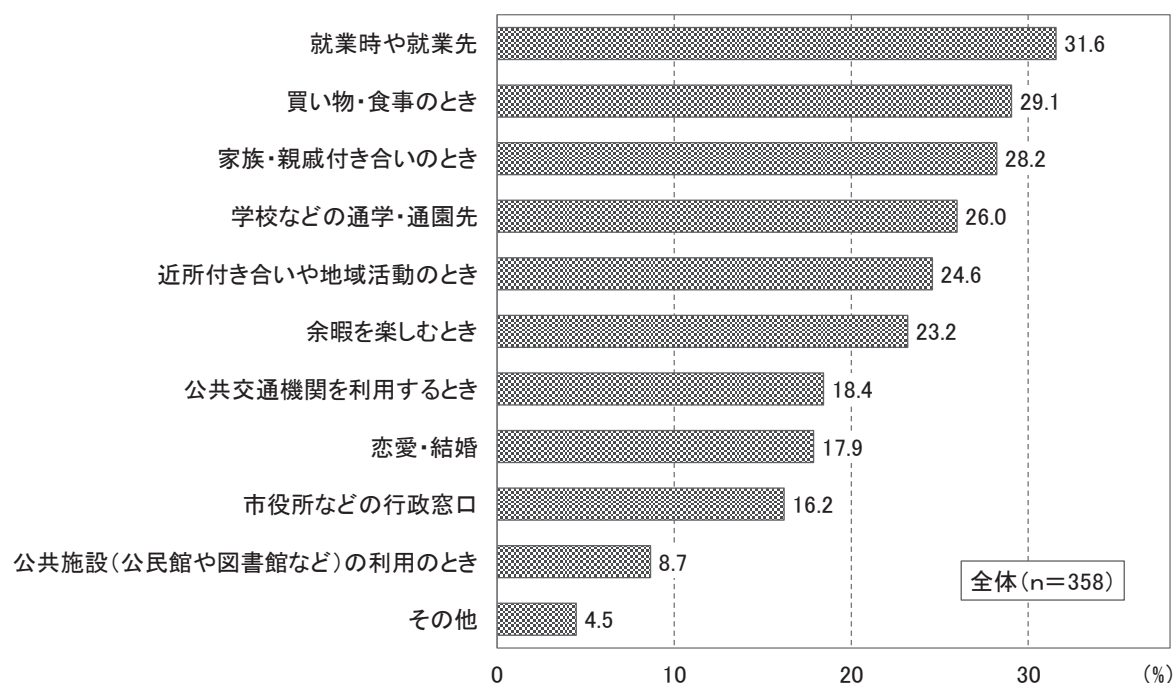
差別や嫌な思いをした経験について、“ある＋少しある”の割合は48.8%と約2人に1人が経験しているという結果になりました。障がいによる差別や偏見をなくすため、障がいに関する正しい理解の普及啓発に努め、市民の意識向上を図る必要があります。

問 32

◆問 31 で「1.」または「2.」(ある)を選んだ方。

どの場面や場所で差別や嫌な思いをしましたか。【複数回答可】

「就業時や就業先」が 31.6%と最も高く、次いで、「買い物・食事のとき」(29.1%)、「家族・親戚付き合いのとき」(28.2%) の順となっています。



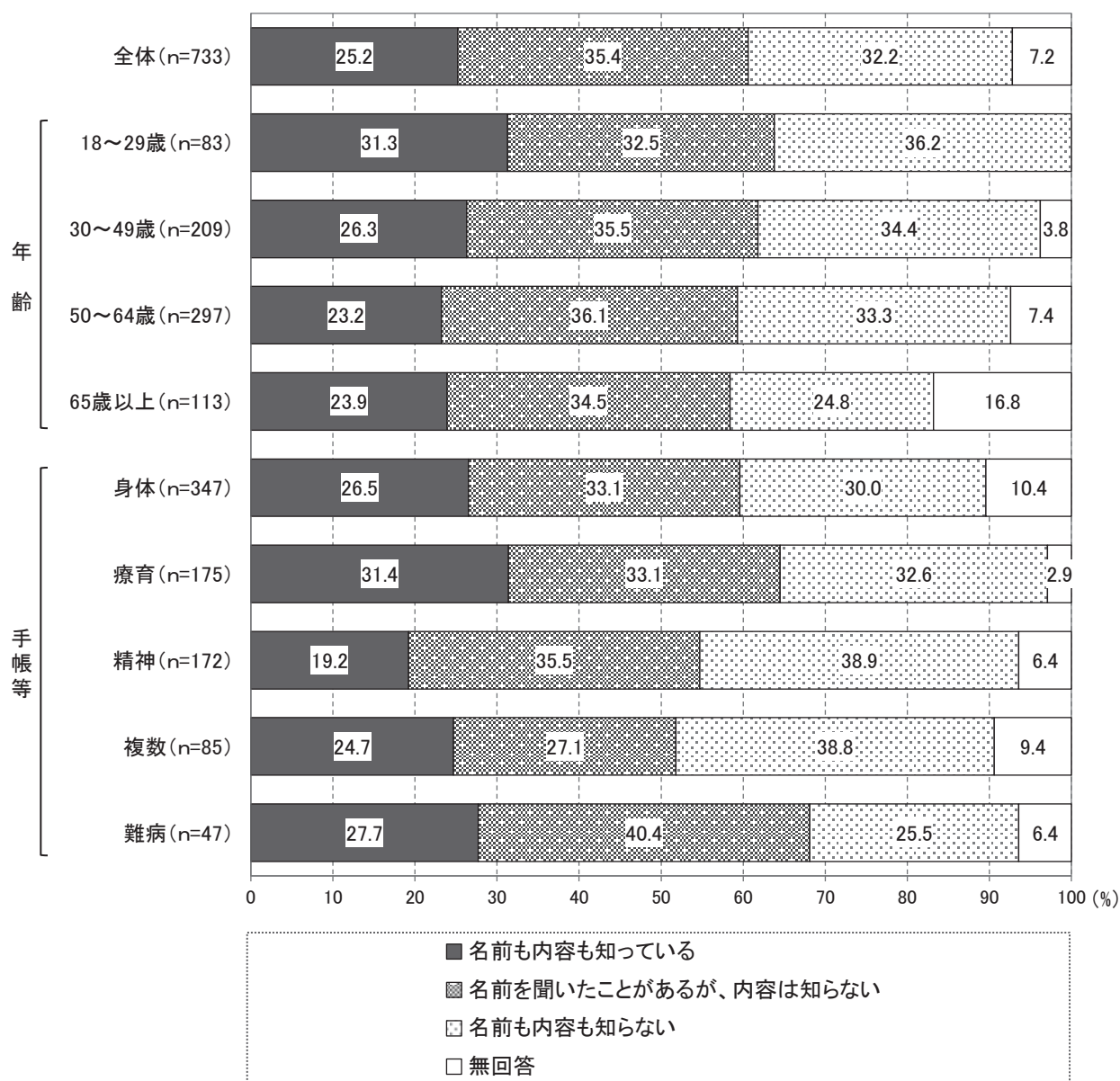
主なその他意見

- ・ 公園にいたとき。
- ・ 理髪店。
- ・ 医院、病院。
- ・ パートの面接に行った際の担当者の対応。
- ・ 1 度に 30～35 人の治療を行うので仕方がないが、透析治療中のプライバシーがやや欠ける。
- ・ 内部の病気のため、見た目健康だと判断され、誤解されたことが多々あった。
- ・ いつでもどこでも。
- ・ ハローワークの対応。アルバイト先。

	(n=)	学校などの通学・通園先	市役所などの行政窓口	余暇を楽しむとき	就業時や就業先	近所付き合いや地域活動のとき	公共交通機関を利用するとき	買い物・食事のとき	家族・親戚付き合いつきのとき	公共施設（公民館や図書館など）の利用のとき	恋愛・結婚	その他
全体	358	93 26.0%	58 16.2%	83 23.2%	113 31.6%	88 24.6%	66 18.4%	104 29.1%	101 28.2%	31 8.7%	64 17.9%	16 4.5%
身体	149	25 16.8%	27 18.1%	32 21.5%	36 24.2%	31 20.8%	28 18.8%	50 33.6%	37 24.8%	11 7.4%	29 19.5%	7 4.7%
療育	118	57 48.3%	11 9.3%	30 25.4%	27 22.9%	26 22.0%	22 18.6%	36 30.5%	23 19.5%	17 14.4%	14 11.9%	5 4.2%
精神	101	19 18.8%	19 18.8%	21 20.8%	45 44.6%	33 32.7%	17 16.8%	20 19.8%	41 40.6%	3 3.0%	29 28.7%	4 4.0%
複数	49	13 26.5%	5 10.2%	10 20.4%	9 18.4%	11 22.4%	7 14.3%	12 24.5%	14 28.6%	4 8.2%	12 24.5%	1 2.0%
難病	25	0 0.0%	3 12.0%	5 20.0%	3 12.0%	2 8.0%	3 12.0%	10 40.0%	9 36.0%	0 0.0%	2 8.0%	4 16.0%

問 33 成年後見制度についてご存じですか。

全体では、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が35.4%と最も高く、次いで、「名前も内容も知らない」(32.2%)、「名前も内容も知っている」(25.2%)の順となっています。



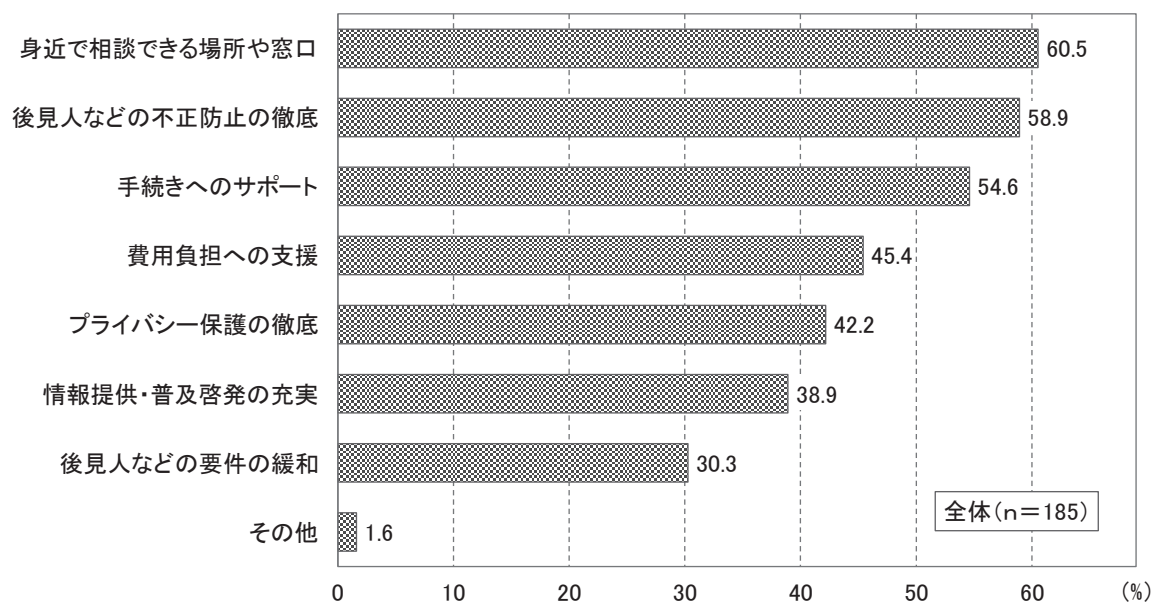
◆ポイント

成年後見制度について、「名前も内容も知っている」は25.2%と約4人に1人となっていることから、引き続き成年後見制度の周知と利用促進に努める必要があります。

問 34

◆問 33 で「1. 名前も内容も知っている」を選んだ方。
 成年後見制度を利用しやすくするために、何が必要と考えられますか。
 【複数回答可】

「身近で相談できる場所や窓口」が 60.5%と最も高く、次いで、「後見人などの不正防止の徹底」(58.9%)、「手続きへのサポート」(54.6%) の順となっています。



主なその他意見

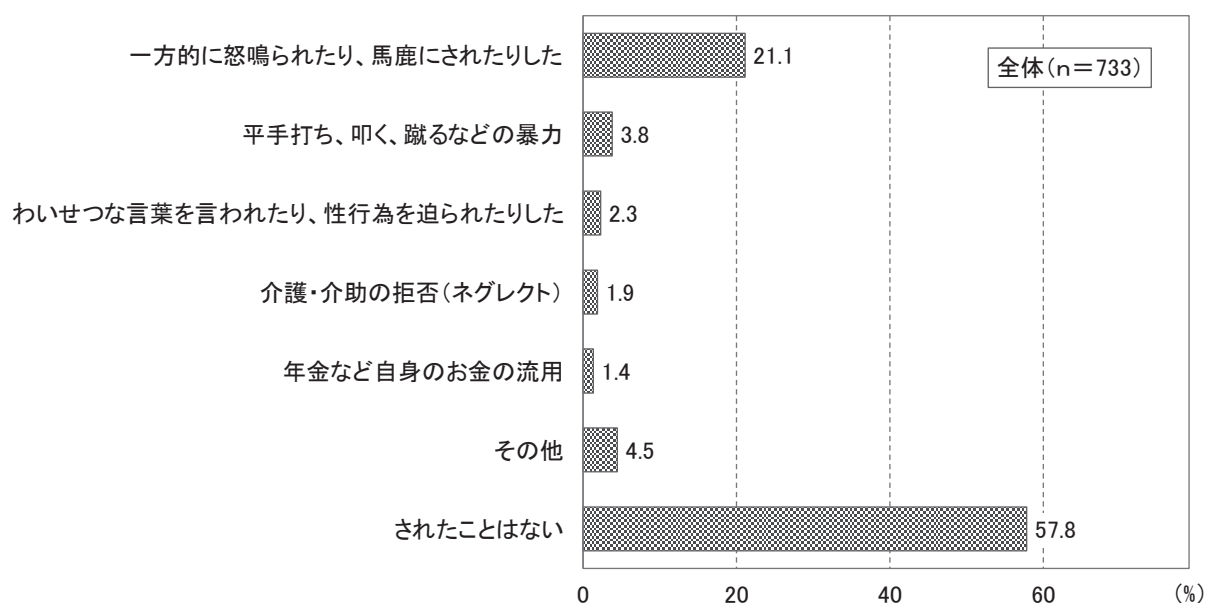
- ・ 制度の内容に問題がある。
- ・ 後見人の人間性の証明。

		情報提供・普及啓発の充実	身近で相談できる場所や窓口	プライバシー保護の徹底	手続きへのサポート	費用負担への支援	後見人などの要件の緩和	後見人などの不正防止の徹底	その他
	(n=)								
全体	185	72 38.9%	112 60.5%	78 42.2%	101 54.6%	84 45.4%	56 30.3%	109 58.9%	3 1.6%
身体	92	38 41.3%	53 57.6%	40 43.5%	45 48.9%	36 39.1%	29 31.5%	54 58.7%	2 2.2%
療育	55	22 40.0%	38 69.1%	18 32.7%	35 63.6%	27 49.1%	21 38.2%	32 58.2%	1 1.8%
精神	33	15 45.5%	20 60.6%	14 42.4%	18 54.5%	17 51.5%	10 30.3%	21 63.6%	1 3.0%
複数	21	7 33.3%	14 66.7%	6 28.6%	12 57.1%	9 42.9%	8 38.1%	12 57.1%	1 4.8%
難病	13	8 61.5%	9 69.2%	7 53.8%	5 38.5%	6 46.2%	5 38.5%	7 53.8%	0 0.0%

問 35

周囲の人や職場の人などから、嫌だったり怖かったりする行為をされたことがありますか。【複数回答可】

「されたことはない」が57.8%と最も高くなっていますが、嫌だったり怖かったりする行為をされたことを見ると、「一方的に怒鳴られたり、馬鹿にされたりした」が21.1%と最も高く、次いで、「平手打ち、叩く、蹴るなどの暴力」(3.8%)、「わいせつな言葉を言われたり、性行為を迫られたりした」(2.3%)の順となっています。



主なその他意見

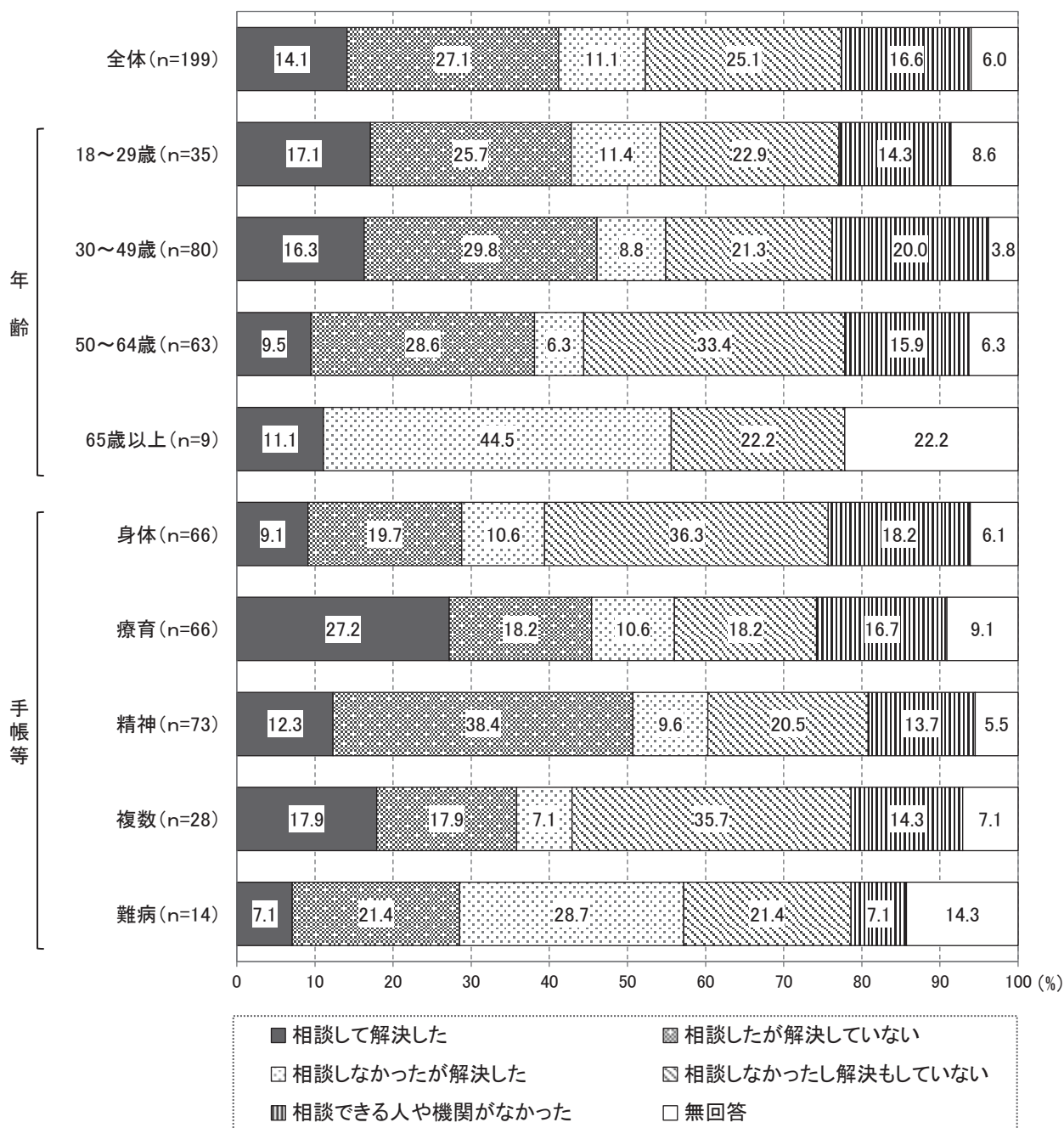
- ・ 噂された。
- ・ 無視、仲間外し。
- ・ 物を投げられる。
- ・ 行動を監視するように見られる。
- ・ 大きい音を出す。避けられる。
- ・ ふざけて遊ばれた。障がい特性を理解してくれなかった。
- ・ 公園にいたときなど、1人でいると警察に通報された。
- ・ 見ていないのでわからない。
- ・ 学校でのいじめ、からかい。
- ・ 病気名に偏見。
- ・ 作業に失敗して怒られること。
- ・ 障がい者だからと常に見られている。

		平手打ち、叩く、蹴るなどの暴力	一方的に怒鳴られたりした、馬鹿にされたりした	年金など自身のお金の流用	介護・介助の拒否（ネグレクト）	わいせつな言葉を言われたり、性行為を迫られた	その他	されたことはない
	(n=)							
全体	733	28 3.8%	155 21.1%	10 1.4%	14 1.9%	17 2.3%	33 4.5%	424 57.8%
身体	347	8 2.3%	47 13.5%	4 1.2%	8 2.3%	3 0.9%	15 4.3%	223 64.3%
療育	175	10 5.7%	47 26.9%	2 1.1%	6 3.4%	4 2.3%	11 6.3%	83 47.4%
精神	172	14 8.1%	57 33.1%	7 4.1%	5 2.9%	11 6.4%	13 7.6%	75 43.6%
複数	85	6 7.1%	17 20.0%	4 4.7%	4 4.7%	2 2.4%	6 7.1%	39 45.9%
難病	47	0 0.0%	8 17.0%	0 0.0%	2 4.3%	0 0.0%	5 10.6%	25 53.2%

問 36

◆問 35 で「1. ～ 6.」（されたことがある）を選んだ方。
そのことを信用できる人や機関に相談しましたか。

全体では、「相談したが解決していない」が27.1%と最も高く、次いで、「相談しなかったし解決もしていない」（25.1%）、「相談できる人や機関がなかった」（16.6%）の順となっています。



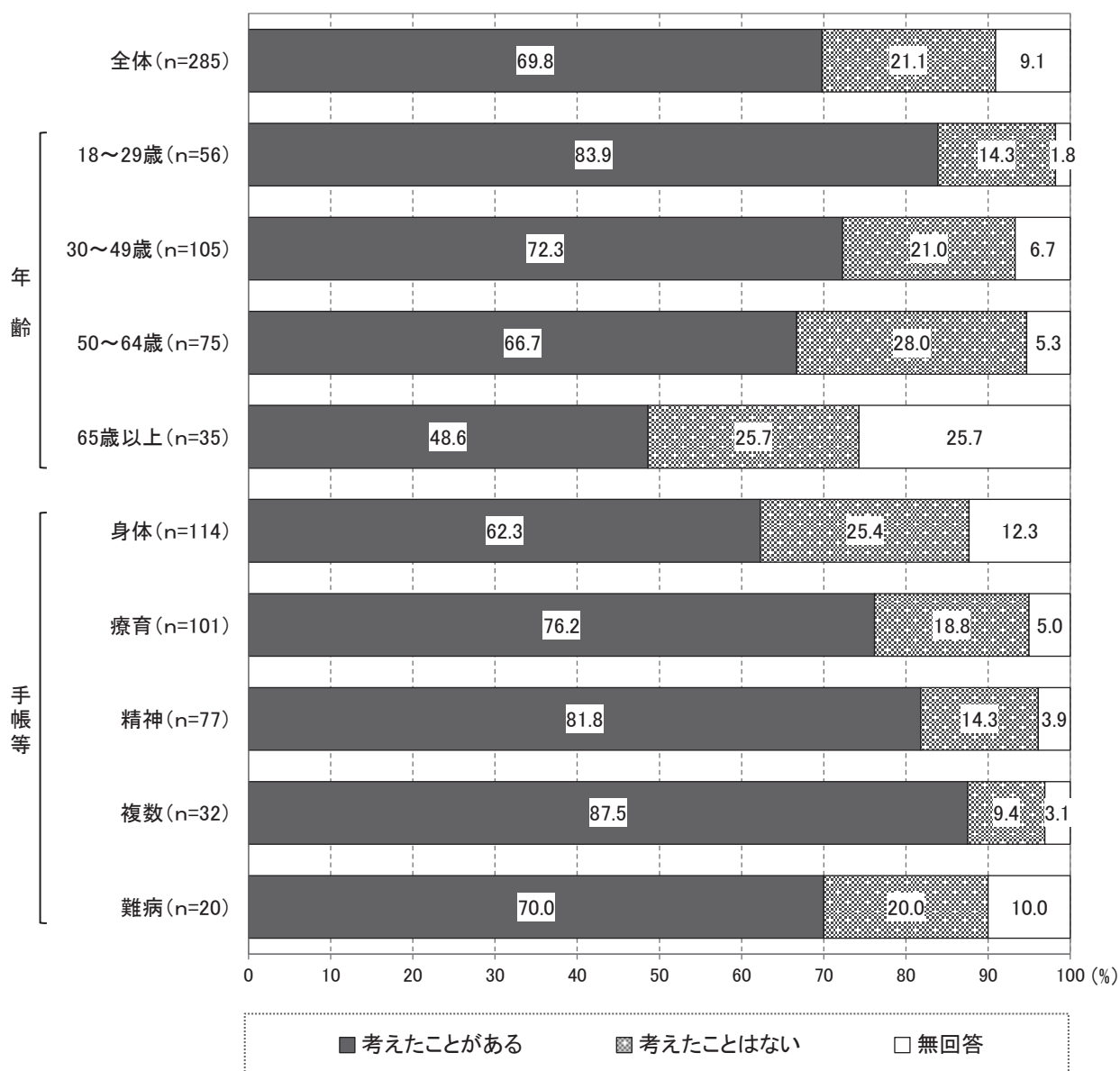
10. 身近な介助者の亡き後について

問 37

◆現在、家族などの身近な介助者がおられる方

家族などの身近な介助者がお亡くなりになるなどの理由により、いなくなった場合のことを考えたことがありますか。

全体では、「考えたことがある」が 69.8%、「考えたことはない」が 21.1%となっています。

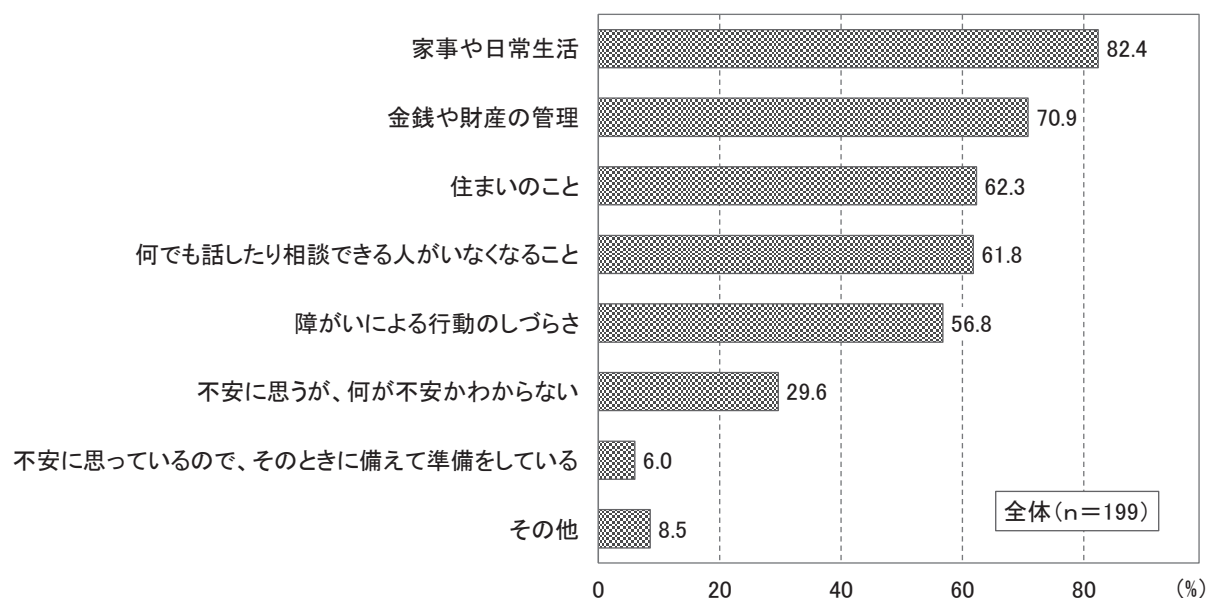


問 38

◆問 37 で「1.」（考えたことがある）を選んだ方。

家族などの身近な介助者がいなくなった場合、どのようなことが不安ですか。
【複数回答可】

「家事や日常生活」が 82.4%と最も高く、次いで、「金銭や財産の管理」（70.9%）、「住まいのこと」（62.3%）の順となっています。



主なその他意見

- ・ グループホームなどの拡充。
- ・ 介護者がいない。
- ・ 入所ができるか心配である。
- ・ 生き続けること。
- ・ 重い物の移動、高いところでの電気交換など。
- ・ 近隣住民からの嫌がらせ。警察への虚偽通報など。
- ・ 1人では生活できないので、入所はスムーズにできるのか。
- ・ 健康状態が日々変わるので自分のことがどれだけできるのかわからず不安である。
- ・ 何もかもが不安。結婚相手が見つかるまで将来が不安しかなかった。
- ・ 親との関係、仕事のこと。
- ・ 1人になること。
- ・ 体調管理や病気のこと。

◆ポイント

いわゆる「親亡き後」の問題については、将来を考えることで当事者の不安を増大させる等の指摘もありますが、親や親族等の身近な介助者の亡き後を考えて、地域において安心した生活が過ごせる環境づくりや、当事者自身の置かれている状況に応じた自立支援を行っていく必要があります。

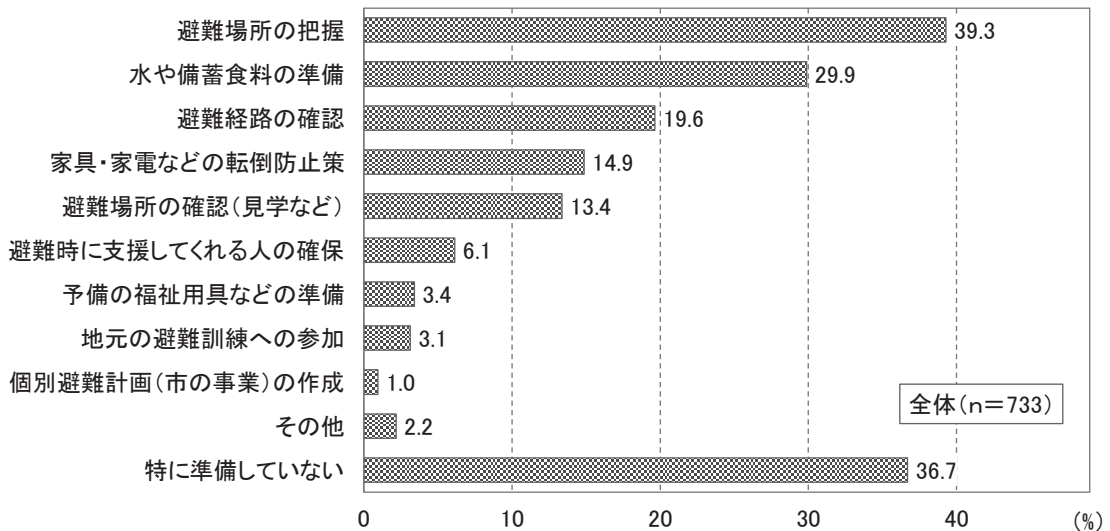
					障 が い に よ る 行 動 の し づ ら さ	何 で も 話 し た り 相 談 で き る 人 が い な く な る こ と	不 安 に 思 う が、 わ か ら な い か	不 安 に 思 っ て い る の で、 そ の と き に 備 え て 準 備 を し て い る	そ の 他
	(n=)	住 ま い の こ と	金 銭 や 財 産 の 管 理	家 事 や 日 常 生 活					
全体	199	124 62.3%	141 70.9%	164 82.4%	113 56.8%	123 61.8%	59 29.6%	12 6.0%	17 8.5%
身体	71	40 56.3%	41 57.7%	60 84.5%	45 63.4%	35 49.3%	16 22.5%	6 8.5%	8 11.3%
療育	77	59 76.6%	64 83.1%	64 83.1%	43 55.8%	54 70.1%	33 42.9%	5 6.5%	7 9.1%
精神	63	42 66.7%	47 74.6%	55 87.3%	36 57.1%	39 61.9%	19 30.2%	3 4.8%	5 7.9%
複数	28	22 78.6%	22 78.6%	24 85.7%	15 53.6%	16 57.1%	11 39.3%	3 10.7%	5 17.9%
難病	14	5 35.7%	8 57.1%	12 85.7%	10 71.4%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%	1 7.1%

11. 災害時の避難について

問 39

大地震や大洪水などの災害時に備えて、普段から準備していることはありますか。【複数回答可】

「特に準備していない」が 36.7%と高くなっていますが、準備していることで見ると、「避難場所の把握」が 39.3%と最も高く、次いで、「水や備蓄食料の準備」(29.9%)、「避難経路の確認」(19.6%)の順となっています。



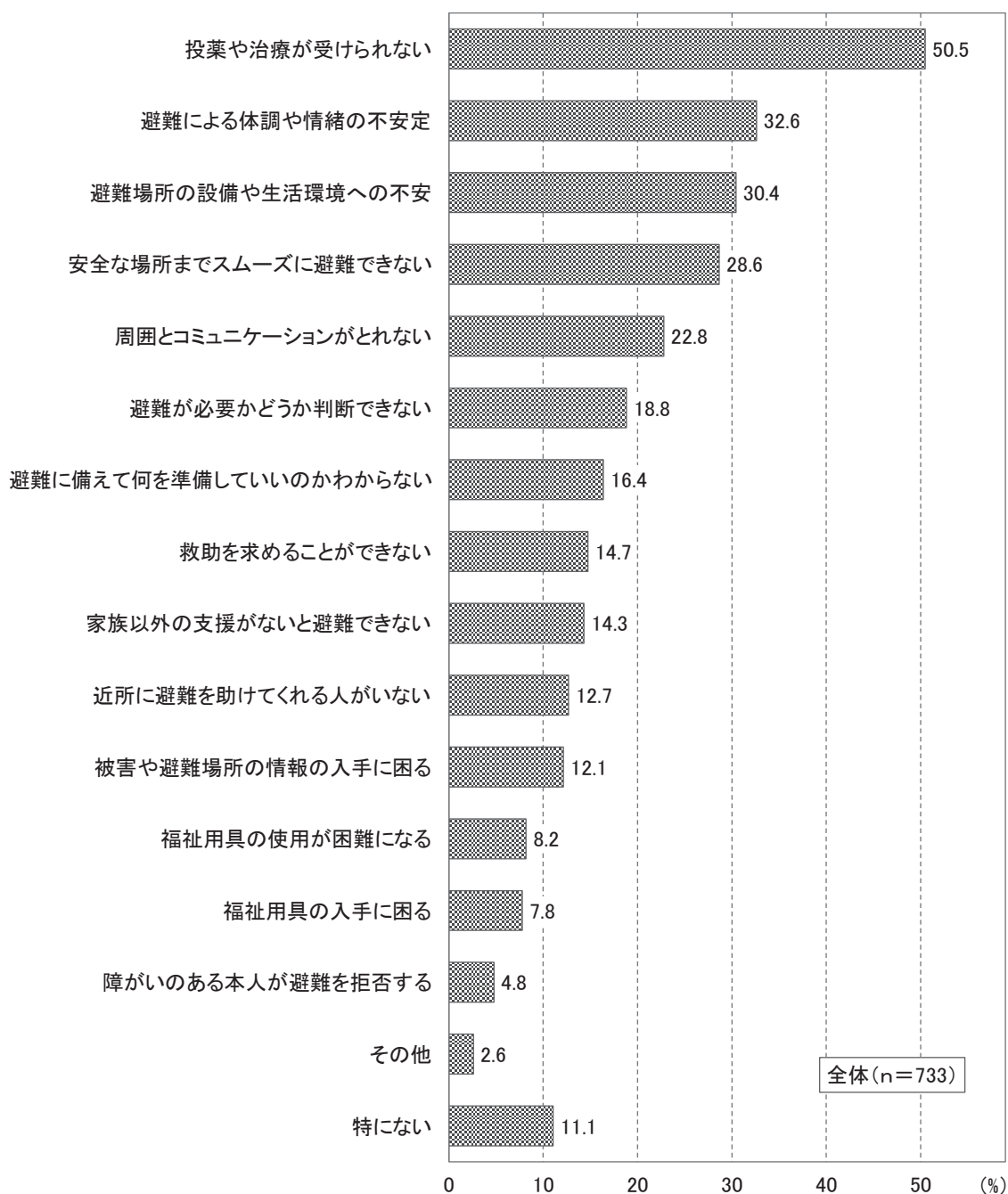
主なその他意見

- ・ タオル、Tシャツ、ズボン。
- ・ 施設で定期的に訓練を実施。
- ・ 常備薬の確保。
- ・ 透析治療の病院の確保。
- ・ AED 訓練。

	(n=)	避難場所の把握	避難場所の確認(見学など)	避難経路の確認	避難時に支援してくれる人の確保	地元の避難訓練への参加	水や備蓄食料の準備	予備の福祉用具などの準備	家具・家電などの転倒防止策	個別避難計画(市の事業)の作成	その他	特に準備していない
全体	733	288 39.3%	98 13.4%	144 19.6%	45 6.1%	23 3.1%	219 29.9%	25 3.4%	109 14.9%	7 1.0%	16 2.2%	269 36.7%
身体	347	144 41.5%	43 12.4%	72 20.7%	22 6.3%	14 4.0%	110 31.7%	18 5.2%	58 16.7%	2 0.6%	7 2.0%	121 34.9%
療育	175	67 38.3%	28 16.0%	46 26.3%	21 12.0%	4 2.3%	59 33.7%	4 2.3%	27 15.4%	2 1.1%	2 1.1%	60 34.3%
精神	172	67 39.0%	24 14.0%	31 18.0%	13 7.6%	3 1.7%	40 23.3%	7 4.1%	20 11.6%	2 1.2%	6 3.5%	74 43.0%
複数	85	35 41.2%	16 18.8%	24 28.2%	12 14.1%	1 1.2%	24 28.2%	6 7.1%	8 9.4%	0 0.0%	1 1.2%	32 37.6%
難病	47	18 38.3%	6 12.8%	7 14.9%	5 10.6%	1 2.1%	15 31.9%	3 6.4%	4 8.5%	0 0.0%	3 6.4%	16 34.0%

問 40 災害時に困ることは何ですか。【複数回答可】

「投薬や治療が受けられない」が50.5%と最も高く、次いで、「避難による体調や情緒の不安定」(32.6%)、「避難場所の設備や生活環境への不安」(30.4%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 内部障がい者が近所にばれてしまう。困る。
- ・ できれば家にいたい。
- ・ 食事（温かくてキザミ食）、水分補給。
- ・ 災害時は家に留まる以外すべはない。
- ・ 床に横になれない。
- ・ 心臓が苦しい。歩けない。
- ・ 服薬。
- ・ 全部。
- ・ ペット。

- ・胃ろうからの高カロリー食は重いので、数多く持ち出しにくい。
- ・鳴門病院のような総合病院。透析を受けているので透析できるところ。
- ・自宅ベッドでも体が痛く眠れないため、避難所でも姿勢が変えられる椅子や布団など。
- ・最重度障がいのため入所施設の職員。親がいないと何もできない。
- ・精神疾患による痛みを理解してもらうのに、説明が1つ1つ必要。救助を求められたときに困るときがある。

	(n=)	投薬や治療が受けられない	福祉用具の使用が困難になる	福祉用具の入手に困る	救助を求めることができない	安全な場所までスムーズに避難できない	被害や避難場所の情報の入手に困る	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備や生活環境への不安	家族以外の支援がないと避難できない	近所に避難を助けてくれる人がいない	避難が必要かどうか判断できない	障がいのある本人が避難を拒否する	避難による体調や情緒の不安定	避難に備えて何を準備しているかわからないのか	その他	特にな
全体	733	370 50.5%	60 8.2%	57 7.8%	108 14.7%	210 28.6%	89 12.1%	167 22.8%	223 30.4%	105 14.3%	93 12.7%	138 18.8%	35 4.8%	239 32.6%	120 16.4%	19 2.6%	81 11.1%
身体	347	181 52.2%	51 14.7%	43 12.4%	41 11.8%	121 34.9%	33 9.5%	56 16.1%	100 28.8%	46 13.3%	43 12.4%	50 14.4%	16 4.6%	88 25.4%	42 12.1%	10 2.9%	37 10.7%
療育	175	68 38.9%	9 5.1%	10 5.7%	47 26.9%	62 35.4%	36 20.6%	77 44.0%	60 34.3%	40 22.9%	29 16.6%	68 38.9%	17 9.7%	69 39.4%	38 21.7%	3 1.7%	16 9.1%
精神	172	112 65.1%	7 4.1%	11 6.4%	27 15.7%	48 27.9%	30 17.4%	50 29.1%	57 33.1%	24 14.0%	35 20.3%	46 26.7%	10 5.8%	71 41.3%	46 26.7%	5 2.9%	12 7.0%
複数	85	49 57.6%	6 7.1%	7 8.2%	16 18.8%	35 41.2%	15 17.6%	31 36.5%	29 34.1%	14 16.5%	19 22.4%	29 34.1%	9 10.6%	29 34.1%	21 24.7%	2 2.4%	6 7.1%
難病	47	25 53.2%	8 17.0%	5 10.6%	7 14.9%	22 46.8%	6 12.8%	6 12.8%	17 36.2%	12 25.5%	7 14.9%	7 14.9%	2 4.3%	14 29.8%	3 6.4%	3 6.4%	4 8.5%

◆ポイント

災害時に困ることについて、投薬や治療が受けられないこと、体調や情緒が不安定になること、避難場所の設備や生活環境への不安等が上位に挙げられており、避難支援に加えて、福祉避難所を含む避難所の場所や必要な体制の確保に努める必要があります。

問 41 避難場所にあったらいいと思う設備や備品などがありますか。

主な意見

① あったらいいと思う備品

生理用品。常備薬の充実（解熱鎮痛剤等）。水・食品（高カロリー食品。とろみ調理剤。アレルギー対応の食料品）。ティッシュ。トイレットペーパー。耳栓。ウェットティッシュ。着替え。紙おむつ（大人用・子供用）。おしりふき。し尿瓶。ペットフード。歯ブラシ。うがい薬。マスク。タオル。アルコール消毒液。補聴器。文字起こし。ネット環境。筆記用具。ホワイトボード。ラジオ。テレビ（字幕対応）。防災行政無線。会話補助具。ベッドマット。携帯電話の充電。ポータブル電源。キャンプ用具。テント。懐中電灯。段差がわかるテープ。無重力マット。炊飯器。湯沸かしポット。おしゃべりロボット。洗濯物干し。子どもの遊び道具。

② あったらいいと思う設備（支援）

- ・ つい立て。仕切り板。ダンボールベッドなど。（18～29 歳 療育）他
- ・ 障がい者と話が通じる人。（18～29 歳 療育）
- ・ 障がい者と普通に暮らせる部屋。（18～29 歳 複数）
- ・ 女性専用のリラクセスできるような場所。（18～29 歳 ）
- ・ 腹膜透析できる環境、設備。通常の避難場所ではできそうにないので、透析できる個室。（30～49 歳 身体）他
- ・ 一般の人と少し離れた居場所（個室）があればよい。（30～49 歳 療育）他
- ・ 24 時間相談できるカウンセラーの配置。（30～49 歳 精神）他
- ・ 自分は精神不安定なので、子どもを一時的にでも見てくれる支援者がほしい。（30～49 歳 精神）
- ・ 洋式トイレに手すりが必要。投薬注射を冷やすための冷蔵庫。（50～64 歳 身体）他
- ・ 入浴場。洗濯場。横に慣れるスペース。調理場。洗濯物の乾燥機。荷物置き場。男女別の部屋。（50～64 歳 身体）他
- ・ 発電設備。（50～64 歳 身体）他
- ・ 夏、熱中症にならないための暑さ対策や食べ物の保冷。冬は、毛布が各人に行き渡るようにしてほしい。（50～64 歳 身体）
- ・ ペットの管理と避難場所。（50～64 歳 身体）他
- ・ バリアフリーのトイレ。シャワー室のベッド。（50～64 歳 身体）他
- ・ ストマ交換できる身体障がい者用トイレ。（50～64 歳 身体）
- ・ 喫煙所。屋根付き洗濯場。外での焚火。電池。（50～64 歳 複数）
- ・ 福祉用具を取り換えるためのスペース。湯などの補助用品。（65 歳以上 身体）
- ・ 日常使用している福祉用具など。（65 歳以上 身体）
- ・ 支援者。（65 歳以上 療育）

③ その他の意見

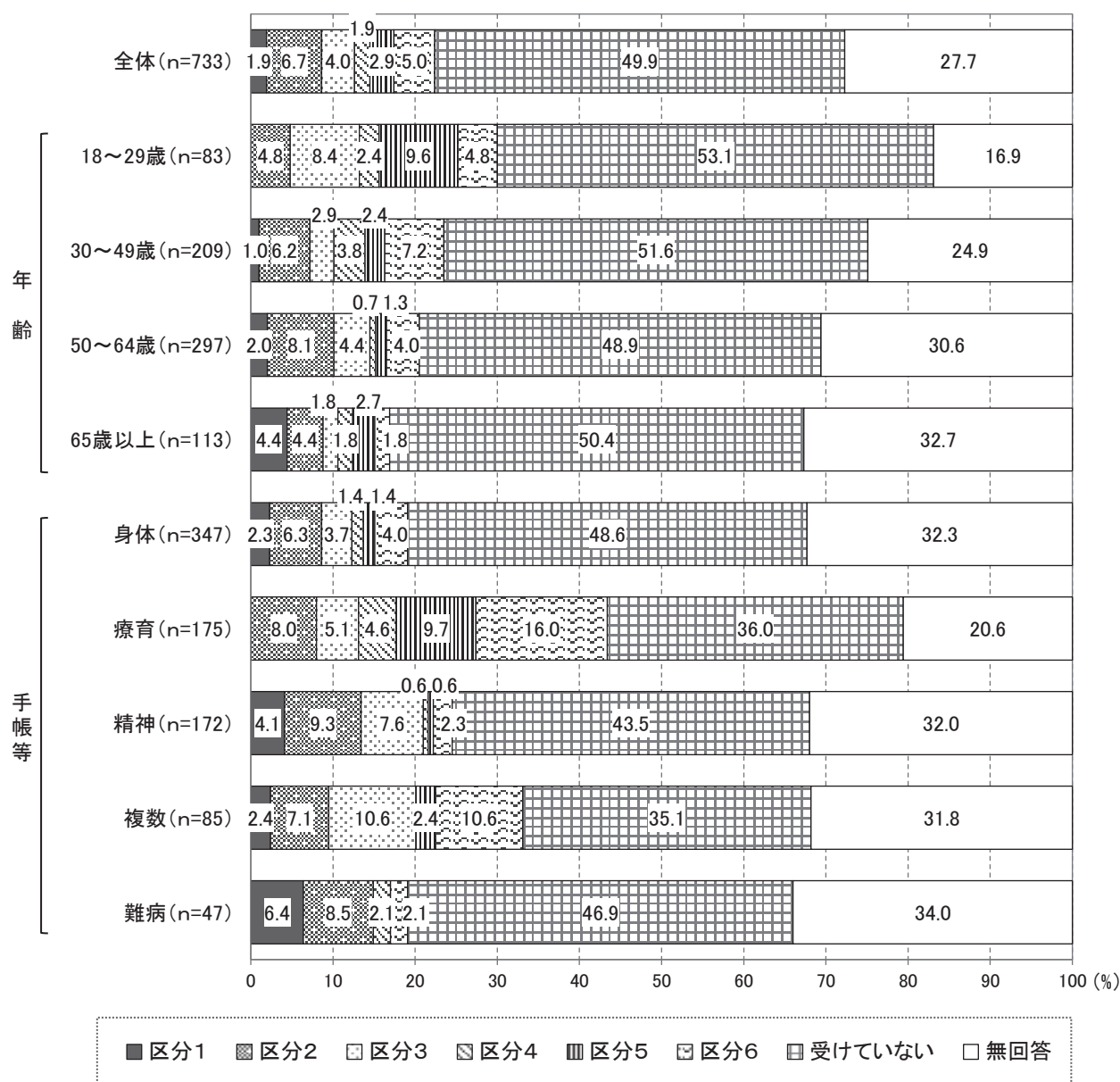
- ・ 避難場所までの安全な道路確保。（18～29 歳 療育）

- ・ 実際は避難場所には行けないと思う。自宅の方が安定するので、自宅にいてほしい。
（18～29 歳 療育）
- ・ ホテルを避難所として使用する取り組みで、障がい者を優先してほしい。（18～29 歳 複数）
- ・ 訓練の音と声が小さい。どこに避難したらよいかわからない。（18～29 歳 複数）
- ・ 避難所が満員で入れなかったときに支援を受ける方法を教えてほしい。（30～49 歳 療育）
- ・ 避難場所が狭いため、拡大し高台へ設置してほしい。（30～49 歳 複数）
- ・ 避難所を建設していつでも利用できるように各地に設営。（50～64 歳 身体）
- ・ 避難準備していても重くなると持って出られない。（50～64 歳 身体）
- ・ 避難所に行ったことがないので、備品にどんな物があるのかわからないので、何が必要かわからない。（65 歳以上 身体）他
- ・ 治療のため避難場所ではなく病院へ避難したい。（65 歳以上 身体）

12. 障がい福祉サービスなどの利用について

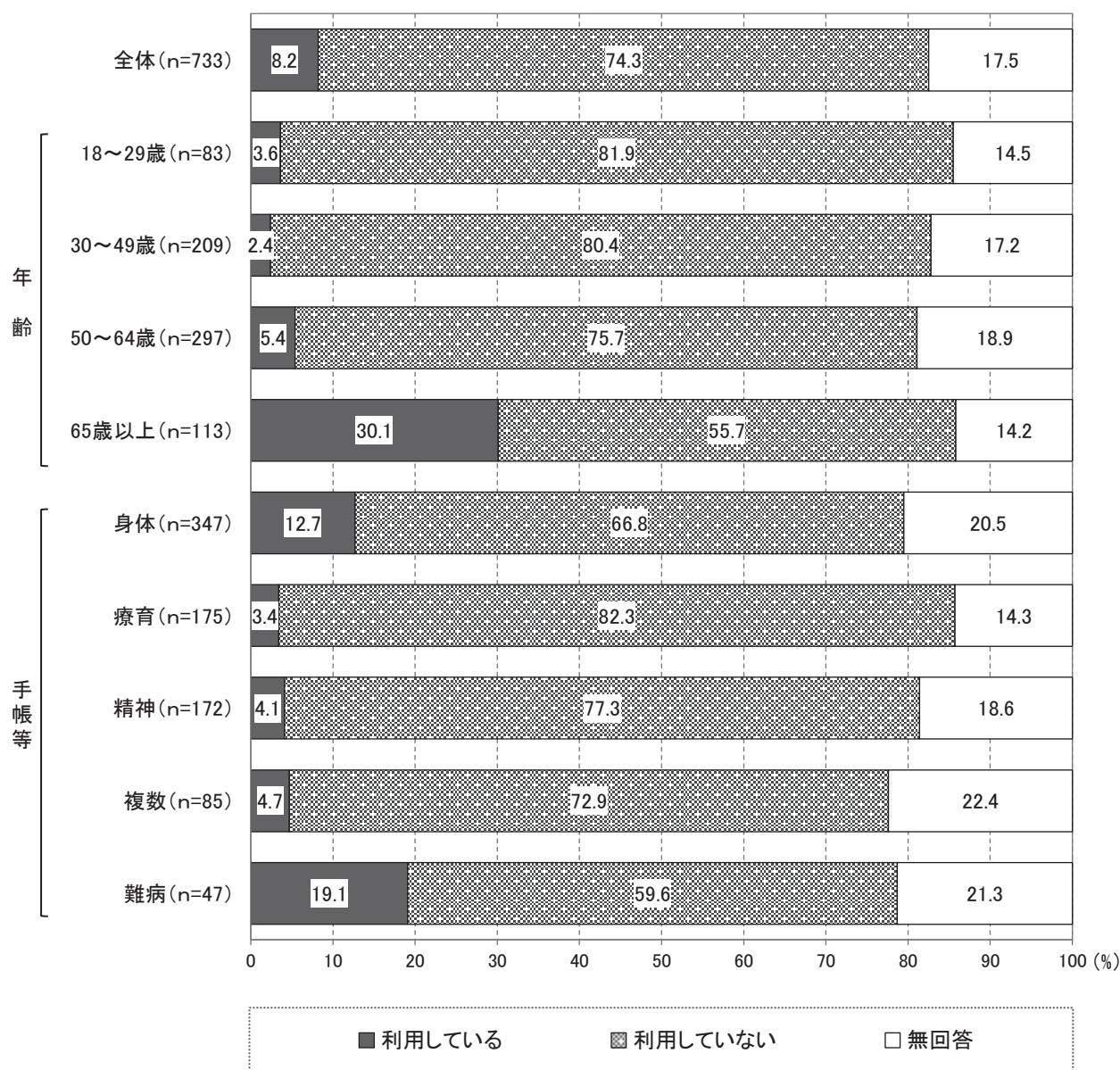
問 42 障がい支援区分の認定は何ですか。

全体では、「受けていない」が49.9%と最も高く、次いで、「区分2」(6.7%)、「区分6」(5.0%)の順となっています。



問 43 介護保険によるサービスを利用していますか。

全体では、「利用していない」が74.3%と高く、「利用している」が8.2%となっています。



※介護保険によるサービスは、65歳以上（2号該当の場合は40歳以上）が対象となることから、18～29歳の「利用している」との回答は、他の制度との誤解があったと考えられます。

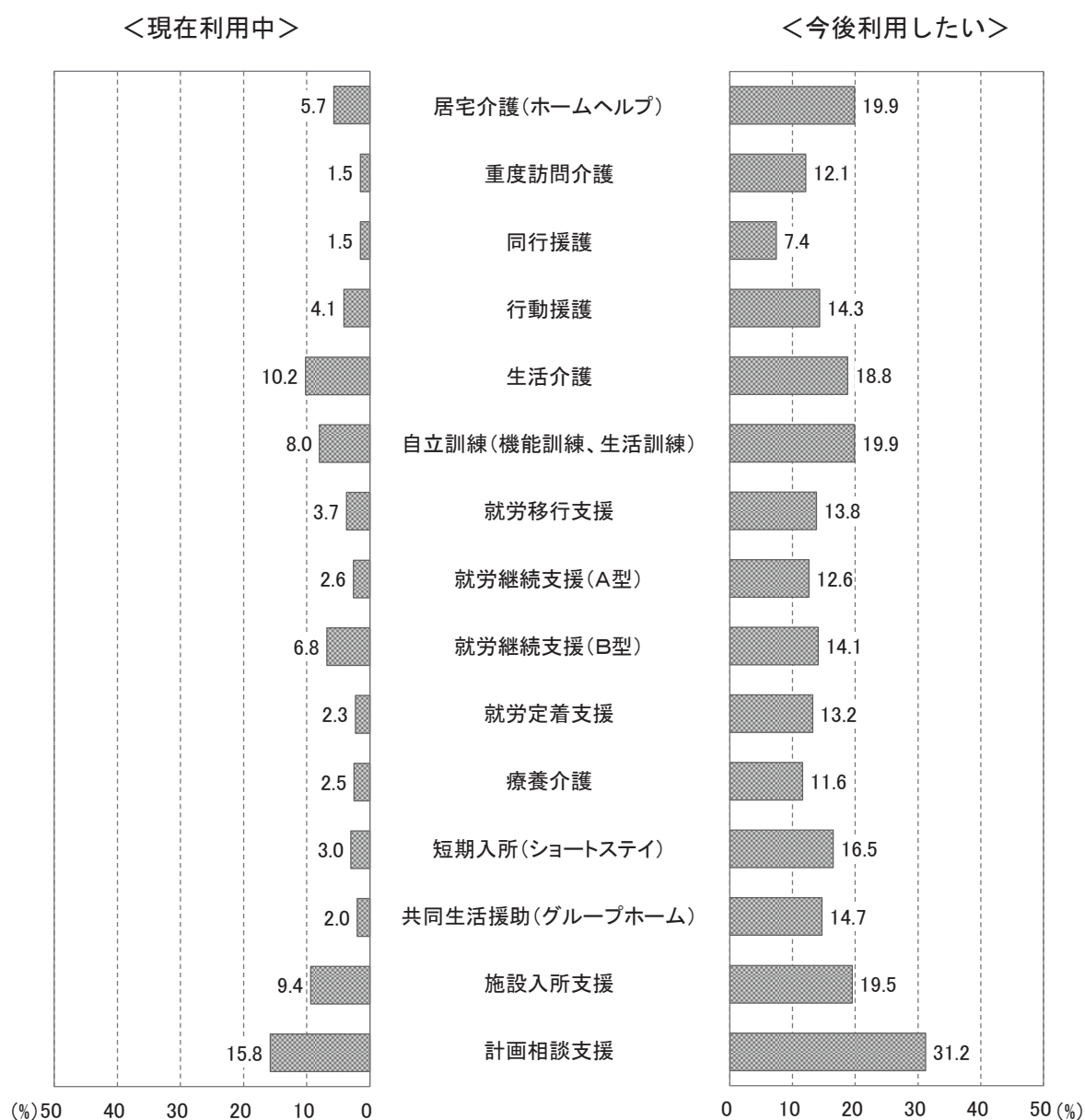
問 44

次の障がい福祉サービスについて、「現在の利用状況」と「今後の利用意向」の両方をお答えください。

【全体】（n=733）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 15.8%と最も高く、次いで、「生活介護」（10.2%）、「施設入所支援」（9.4%）の順となっています。

また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 31.2%と最も高く、次いで、「居宅介護（ホームヘルプ）」・「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（19.9%で同率）、「施設入所支援」（19.5%）の順となっています。



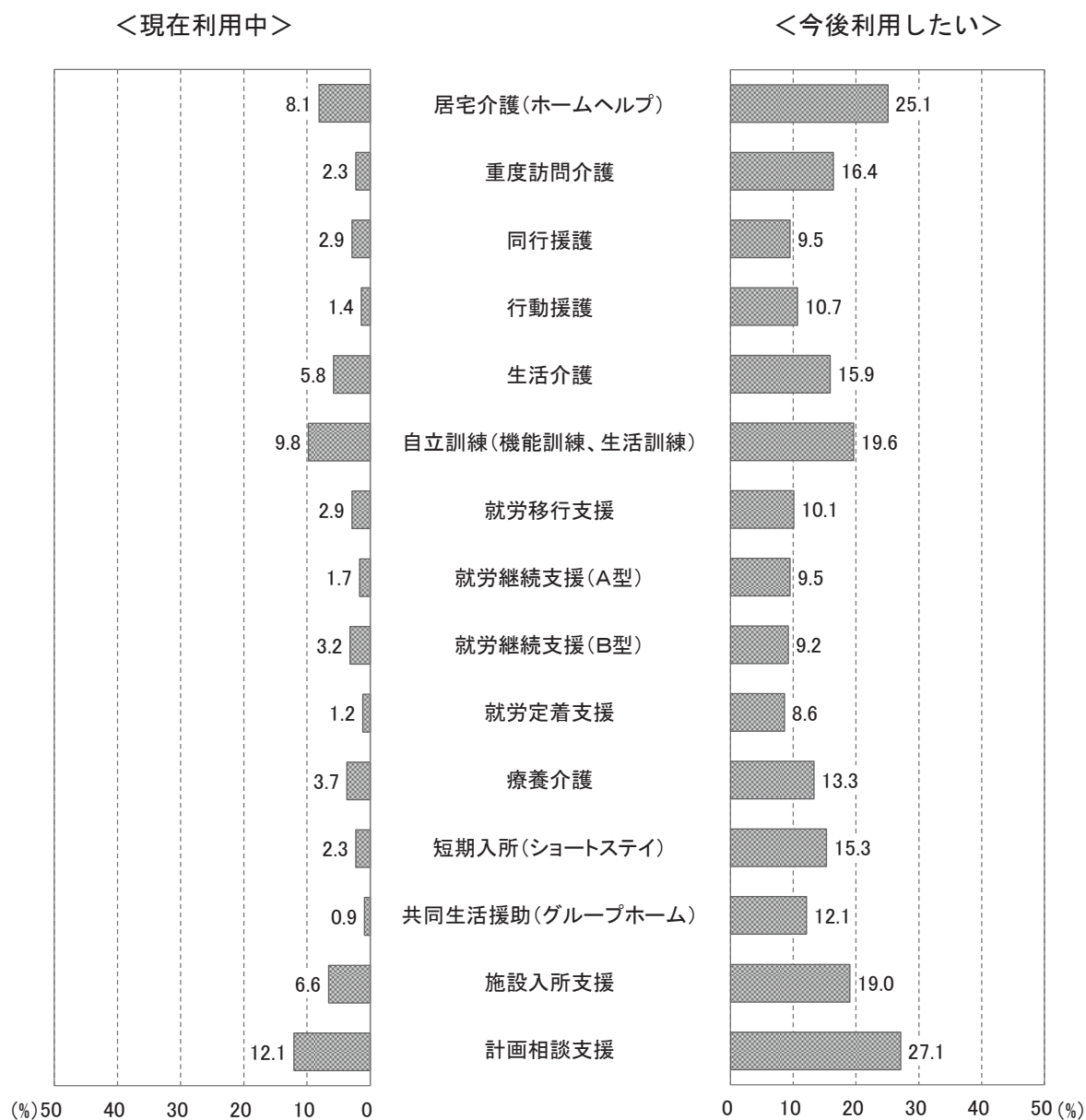
◆ポイント

現状のサービスの利用状況は高いとは言えない状況ですが、今後利用したいサービスの結果から利用ニーズはかなり見受けられます。障がいのある人が必要なときに必要なサービスを利用できるよう、サービスの量と質の確保が求められます。

【身体障がい者手帳所持者】（n=347）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が12.1%と最も高く、次いで、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（9.8%）、「居宅介護（ホームヘルプ）」（8.1%）の順となっています。

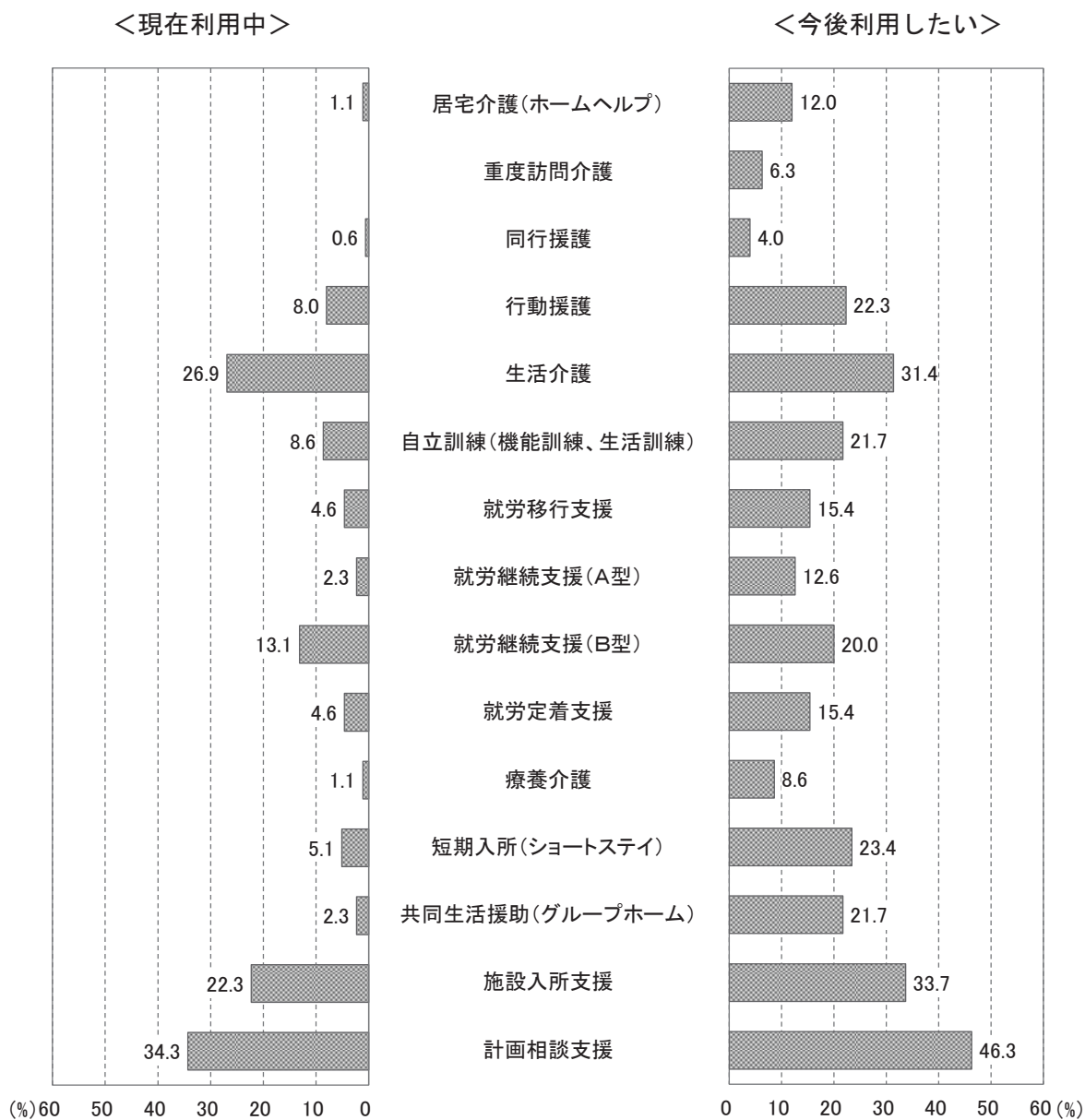
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が27.1%と最も高く、次いで、「居宅介護（ホームヘルプ）」（25.1%）、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（19.6%）の順となっています。



【療育手帳所持者】（n=175）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 34.3%と最も高く、次いで、「生活介護」（26.9%）、「施設入所支援」（22.3%）の順となっています。

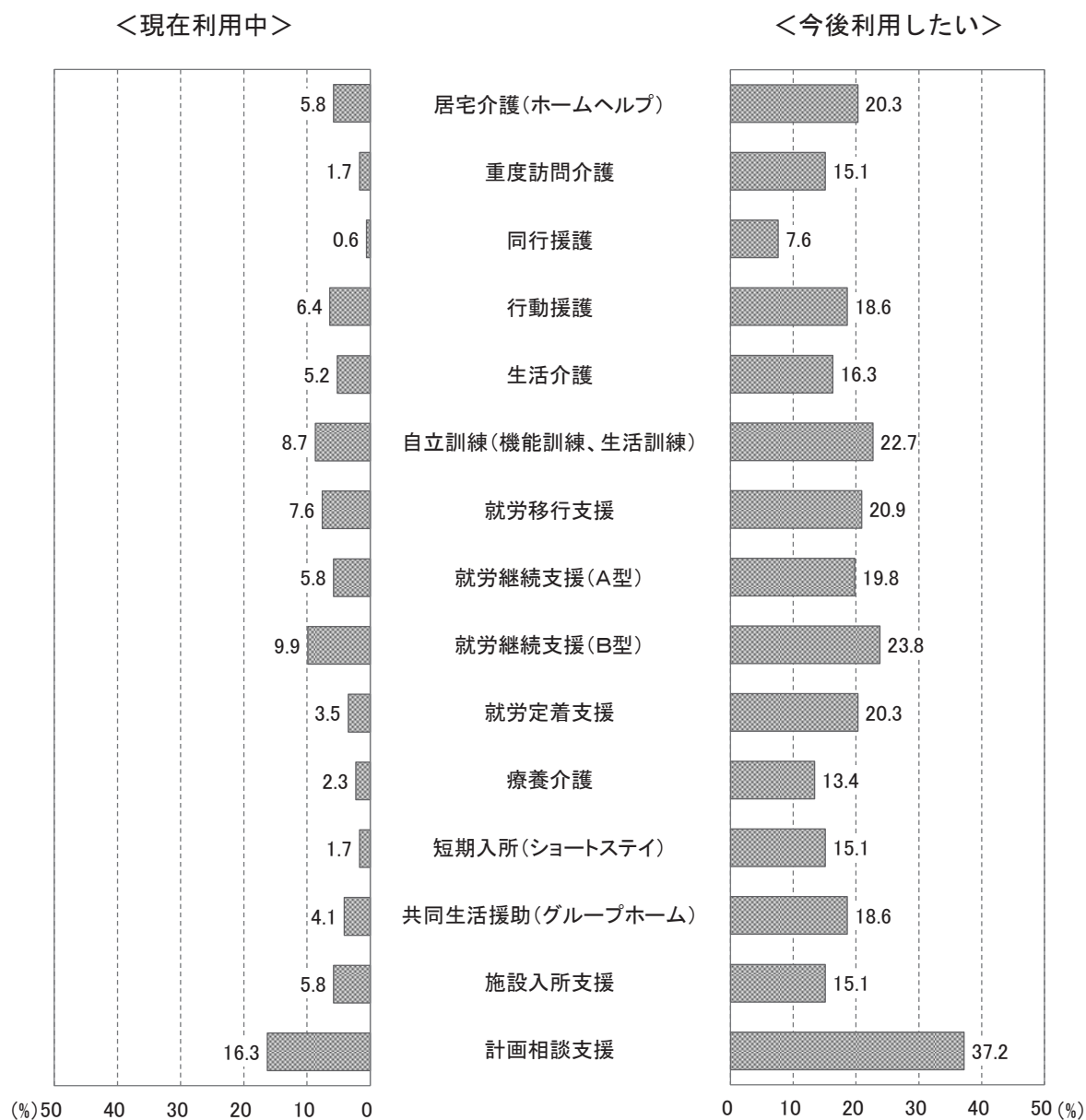
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 46.3%と最も高く、次いで、「施設入所支援」（33.7%）、「生活介護」（31.4%）の順となっています。



【精神障がい者保健福祉手帳所持者】（n=172）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が16.3%と最も高く、次いで、「就労継続支援（B型）」（9.9%）、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（8.7%）の順となっています。

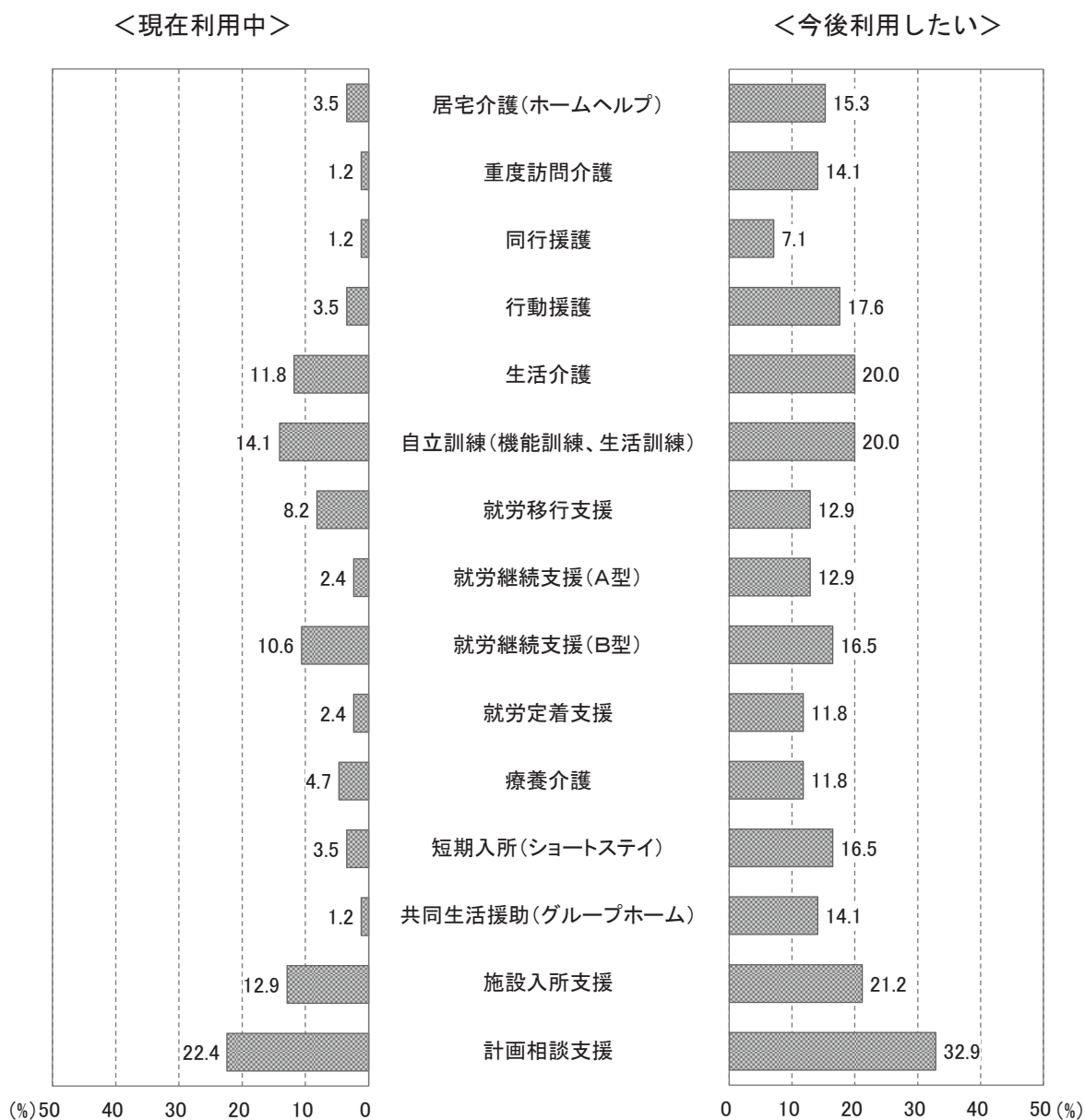
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が37.2%と最も高く、次いで、「就労継続支援（B型）」（23.8%）、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（22.7%）の順となっています。



【複数所持者】（n=85）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が22.4%と最も高く、次いで、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（14.1%）、「施設入所支援」（12.9%）の順となっています。

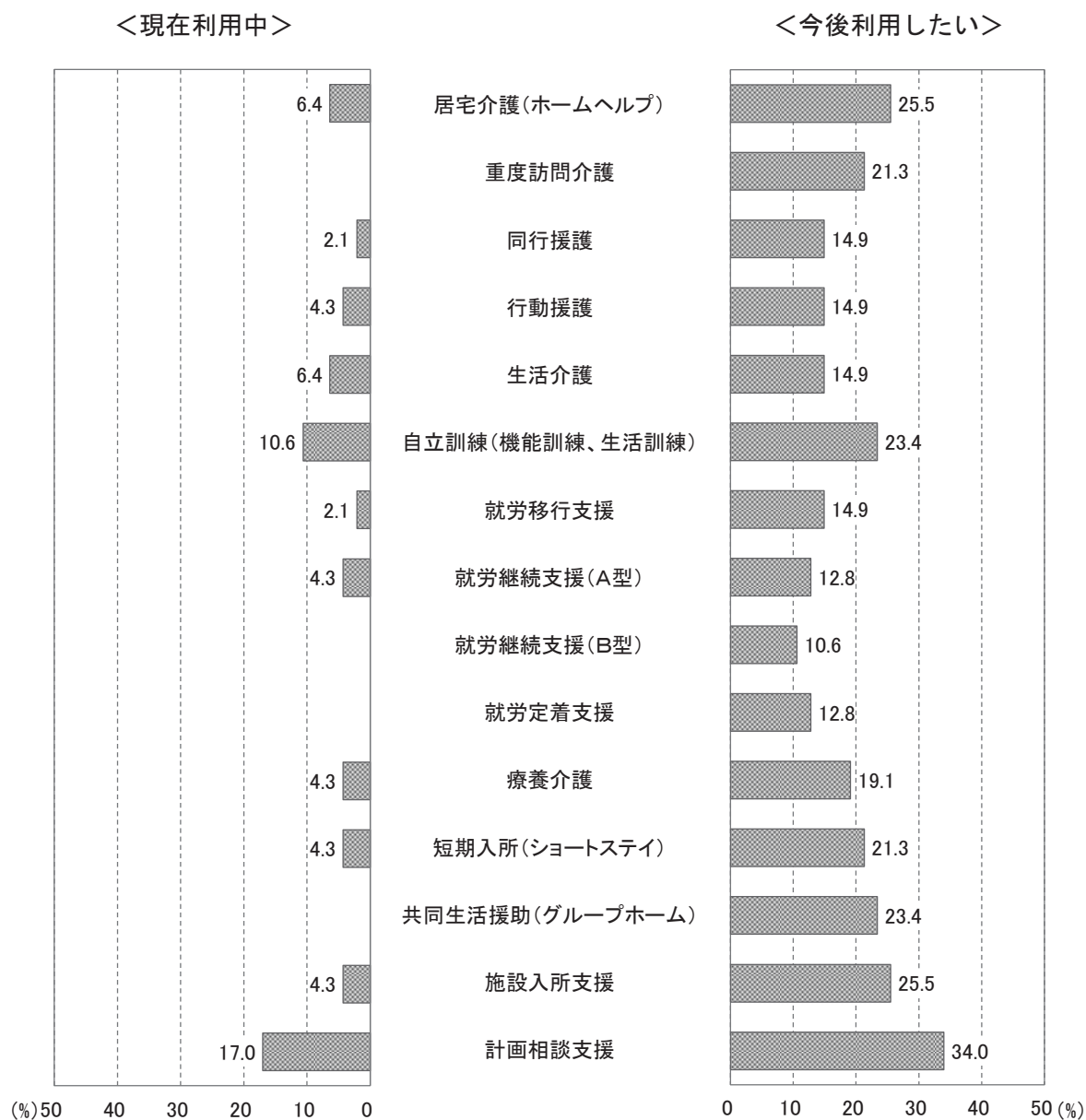
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が32.9%と最も高く、次いで、「施設入所支援」（21.2%）、「生活介護」・「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（20.0%で同率）の順となっています。



【難病患者】（n=47）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 17.0%と最も高く、次いで、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」（10.6%）、「居宅介護（ホームヘルプ）」・「生活介護」（6.4%で度王立）の順となっています。

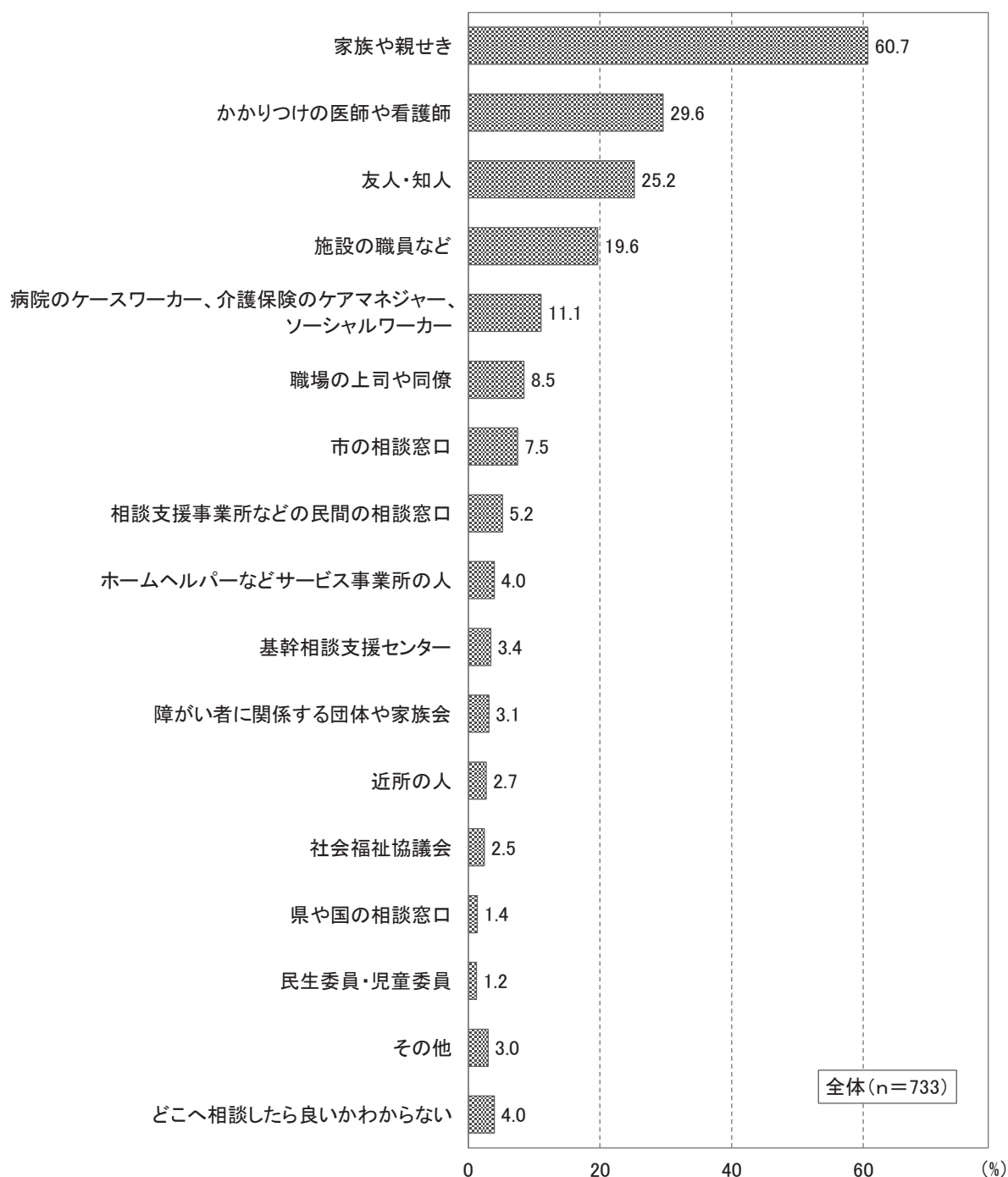
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 34.0%と最も高く、次いで、「居宅介護（ホームヘルプ）」・「施設入所支援」（25.5%で同率）、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」・「共同生活援助（グループホーム）」（23.4%で同率）の順となっています。



13. 相談相手や情報源について

問 45 普段、悩みや困ったことを誰（どこ）に相談しますか。【複数回答可】

「家族や親せき」が60.7%と最も高く、次いで、「かかりつけの医師や看護師」(29.6%)、「友人・知人」(25.2%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ ハローワークの担当者。
- ・ 生活担当職員。
- ・ 相談する人がいない。
- ・ 相談しない。相手にわかってもらえない。
- ・ 保佐人。
- ・ 訪問看護師。
- ・ 恋人。
- ・ 言語、認知障がいのため、相談は無理。

	(n=)	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の職員など	障がい者に関する団体や家族会	基幹相談支援センター	かかりつけの医師や看護師	社会福祉協議会	ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、介護保険の	相談支援事業所などの民間の相談窓口	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	民生委員・児童委員	市の相談窓口	県や国の相談窓口	その他	どこへ相談したら良いかわからない
全体	733	445 60.7%	185 25.2%	20 2.7%	62 8.5%	144 19.6%	23 3.1%	25 3.4%	217 29.6%	18 2.5%	81 11.1%	38 5.2%	29 4.0%	9 1.2%	55 7.5%	10 1.4%	22 3.0%	29 4.0%
身体	347	225 64.8%	85 24.5%	13 3.7%	25 7.2%	45 13.0%	10 2.9%	8 2.3%	101 29.1%	15 4.3%	53 15.3%	16 4.6%	21 6.1%	7 2.0%	29 8.4%	5 1.4%	10 2.9%	10 2.9%
療育	175	99 56.6%	32 18.3%	2 1.1%	21 12.0%	65 37.1%	11 6.3%	8 4.6%	36 20.6%	3 1.7%	8 4.6%	22 12.6%	3 1.7%	1 0.6%	12 6.9%	1 0.6%	5 2.9%	8 4.6%
精神	172	97 56.4%	53 30.8%	4 2.3%	11 6.4%	42 24.4%	7 4.1%	9 5.2%	80 46.5%	7 4.1%	21 12.2%	7 4.1%	11 6.4%	2 1.2%	11 6.4%	5 2.9%	10 5.8%	8 4.7%
複数	85	51 60.0%	20 23.5%	3 3.5%	6 7.1%	24 28.2%	4 4.7%	1 1.2%	34 40.0%	6 7.1%	11 12.9%	9 10.6%	6 7.1%	1 1.2%	7 8.2%	2 2.4%	4 4.7%	2 2.4%
難病	47	30 63.8%	10 21.3%	1 2.1%	1 2.1%	5 10.6%	3 6.4%	3 6.4%	12 25.5%	1 2.1%	6 12.8%	2 4.3%	1 2.1%	1 2.1%	3 6.4%	1 2.1%	3 6.4%	3 6.4%

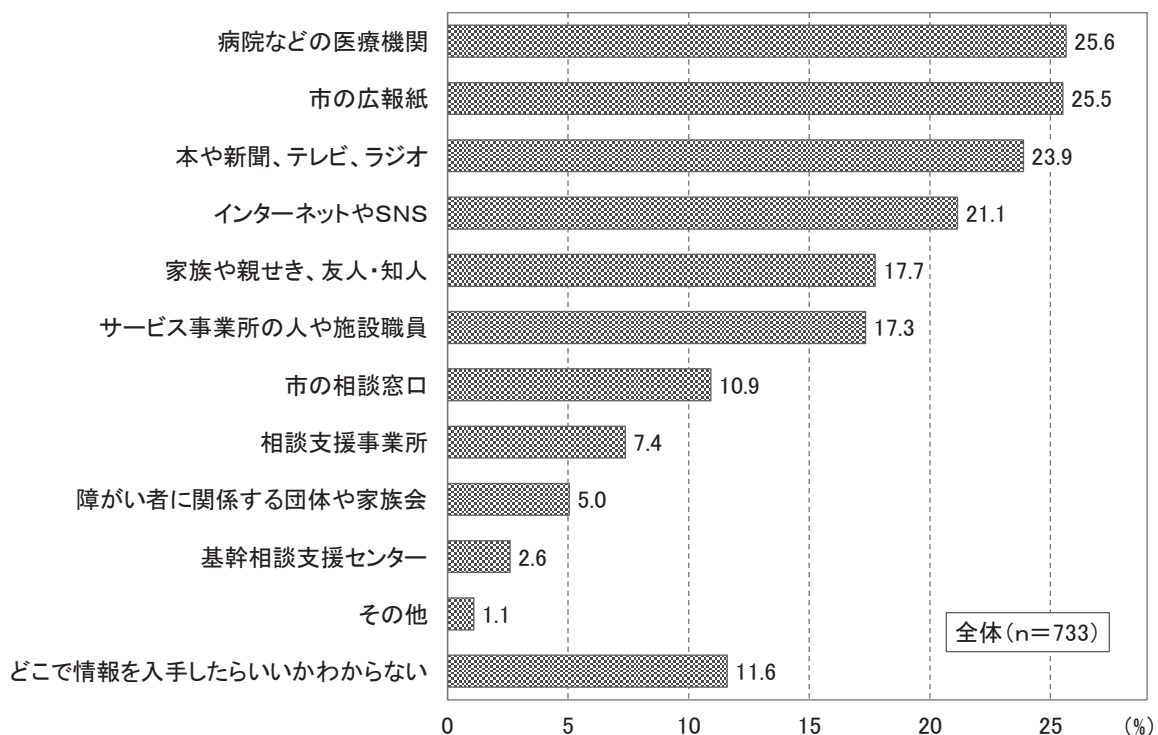
◆ポイント

悩みや困ったことの相談相手について、家族や親せき、かかりつけの医師や看護師、友人・知人の割合が高くなっています。一方、市の相談窓口については7.5%とそれほど高いとは言えません。市として、障がいのある人の状態やニーズに対応した相談支援体制と窓口職員の資質向上に努める必要があります。

問 46

障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。
【複数回答可】

「病院などの医療機関」が 25.6%と最も高く、次いで、「市の広報紙」(25.5%)、「本や新聞、テレビ、ラジオ」(23.9%) の順となっています。



主なその他意見

- ・ 講演。
- ・ 積極的に情報収集をしていない。
- ・ 職場。
- ・ 両親。
- ・ 学校。
- ・ 必要がない。

◆ポイント

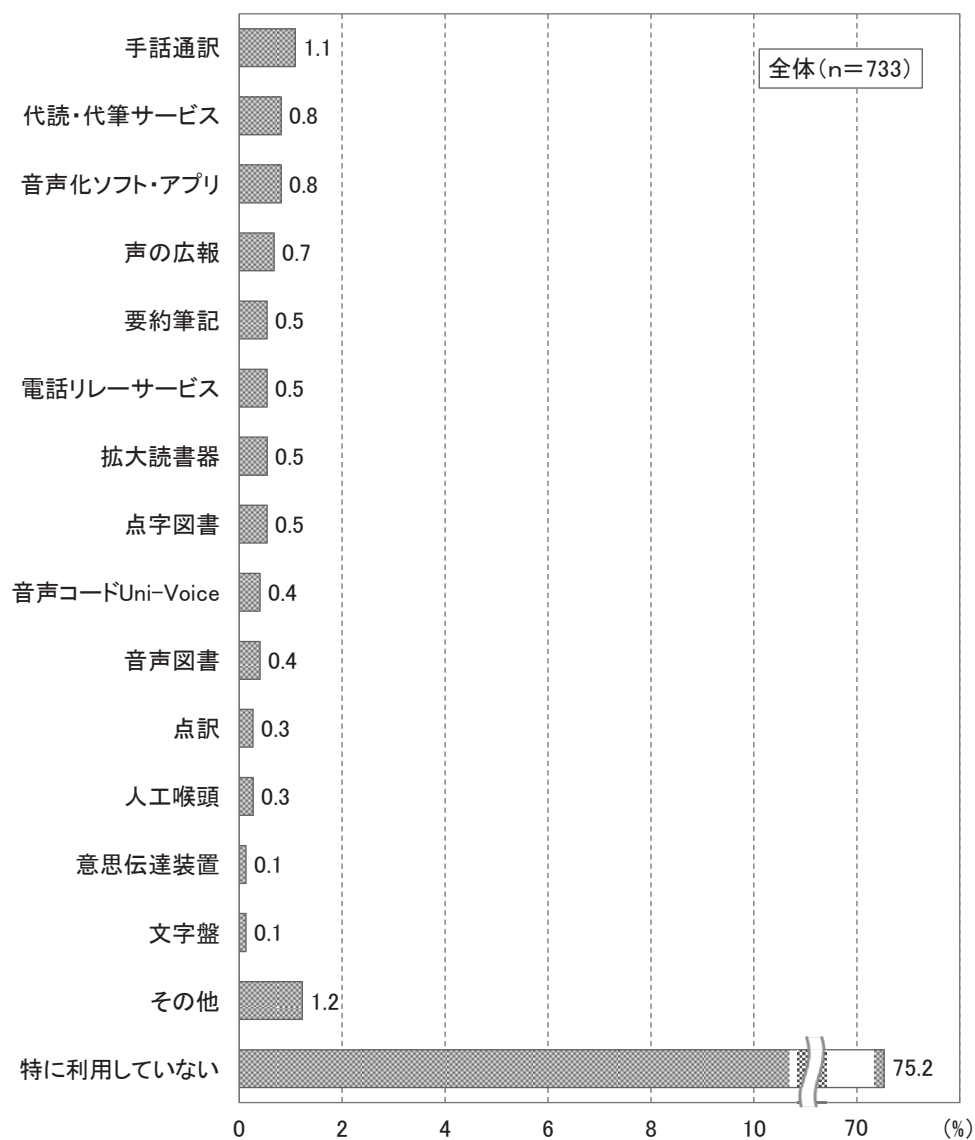
障がいや福祉サービス等の情報の入手先について、病院等の医療機関に次いで市の広報紙が高く、インターネットや SNS の割合は4番目にとどまっています。また、介助者の高齢化により、パソコンやスマートフォン等による情報収集が苦手な人も多いと推測されます。したがって、市のホームページ等の充実も必要ですが、身近で手元に置いておける市の広報紙による情報提供の充実が求められます。

		本や新聞、テレビ、ラジオ	インターネットやSNS	市の広報紙	家族や親せき、友人・知人	障がい者に関係する団体や家族会	サービス事業所の人や施設職員	病院などの医療機関	相談支援事業所	市の相談窓口	基幹相談支援センター	その他	どこで情報を入手したらない
	(n=)												
全体	733	175 23.9%	155 21.1%	187 25.5%	130 17.7%	37 5.0%	127 17.3%	188 25.6%	54 7.4%	80 10.9%	19 2.6%	8 1.1%	85 11.6%
身体	347	100 28.8%	82 23.6%	108 31.1%	66 19.0%	16 4.6%	55 15.9%	92 26.5%	21 6.1%	47 13.5%	7 2.0%	5 1.4%	33 9.5%
療育	175	28 16.0%	20 11.4%	31 17.7%	33 18.9%	21 12.0%	49 28.0%	22 12.6%	23 13.1%	17 9.7%	7 4.0%	2 1.1%	28 16.0%
精神	172	40 23.3%	33 19.2%	38 22.1%	36 20.9%	8 4.7%	32 18.6%	59 34.3%	16 9.3%	10 5.8%	5 2.9%	5 2.9%	20 11.6%
複数	85	18 21.2%	12 14.1%	11 12.9%	18 21.2%	7 8.2%	19 22.4%	27 31.8%	10 11.8%	8 9.4%	1 1.2%	3 3.5%	11 12.9%
難病	47	11 23.4%	13 27.7%	8 17.0%	6 12.8%	2 4.3%	8 17.0%	16 34.0%	4 8.5%	4 8.5%	2 4.3%	1 2.1%	3 6.4%

問 47

現在利用しているコミュニケーション支援や情報を得るための支援はありますか。【複数回答可】

「特に利用していない」が75.2%と最も高くなっていますが、利用しているコミュニケーション支援や情報を得るための支援で見ると、「手話通訳」が1.1%と最も高く、次いで、「代読・代筆サービス」・「音声化ソフト・アプリ」(0.8%で同率)、「声の広報」(0.7%)の順となっています。



主なその他意見

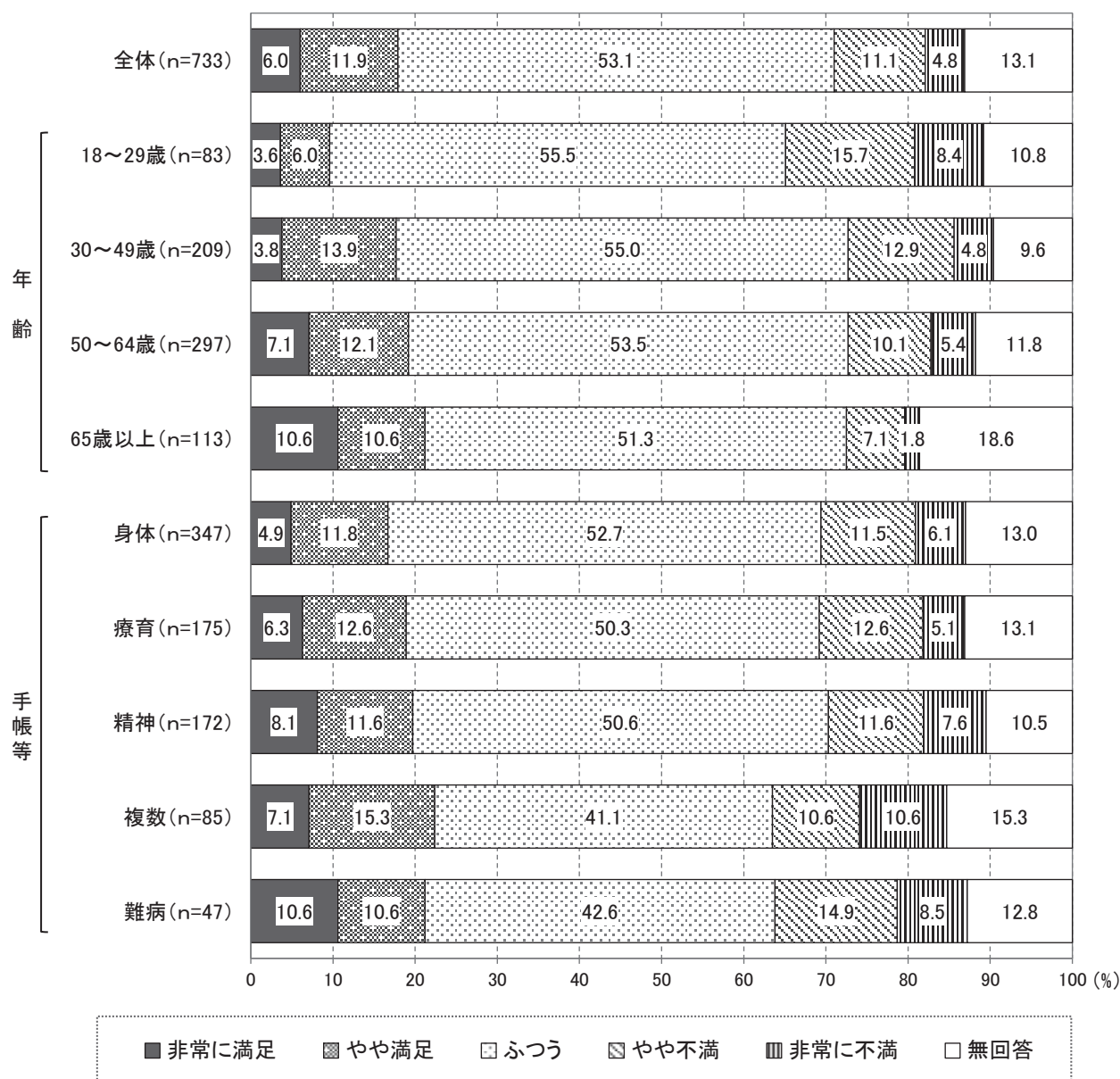
- ・ 絵カード。
- ・ iPad で音声によるネット契約。
- ・ 白杖。
- ・ デイケア。

		手話通訳	要約筆記	電話リレーサービス	代読・代筆サービス	点訳	声の広報	音声コード Uni-Voice	拡大読書器	意思伝達装置	文字盤	人工喉頭	点字図書	音声図書	音声化ソフト・アプリ	その他	特に利用していない
	(n=)																
全体	733	8 1.1%	4 0.5%	4 0.5%	6 0.8%	2 0.3%	5 0.7%	3 0.4%	4 0.5%	1 0.1%	1 0.1%	2 0.3%	4 0.5%	3 0.4%	6 0.8%	9 1.2%	551 75.2%
身体	347	8 2.3%	3 0.9%	3 0.9%	4 1.2%	2 0.6%	5 1.4%	2 0.6%	4 1.2%	1 0.3%	1 0.3%	2 0.6%	4 1.2%	3 0.9%	6 1.7%	5 1.4%	252 72.6%
療育	175	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	4 2.3%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.3%	130 74.3%
精神	172	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.2%	130 75.6%
複数	85	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	53 62.4%
難病	47	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	2 4.3%	37 78.7%

14. 本市の施策について

問 48 本市の障がい福祉の取り組みについてどれくらい満足していますか。

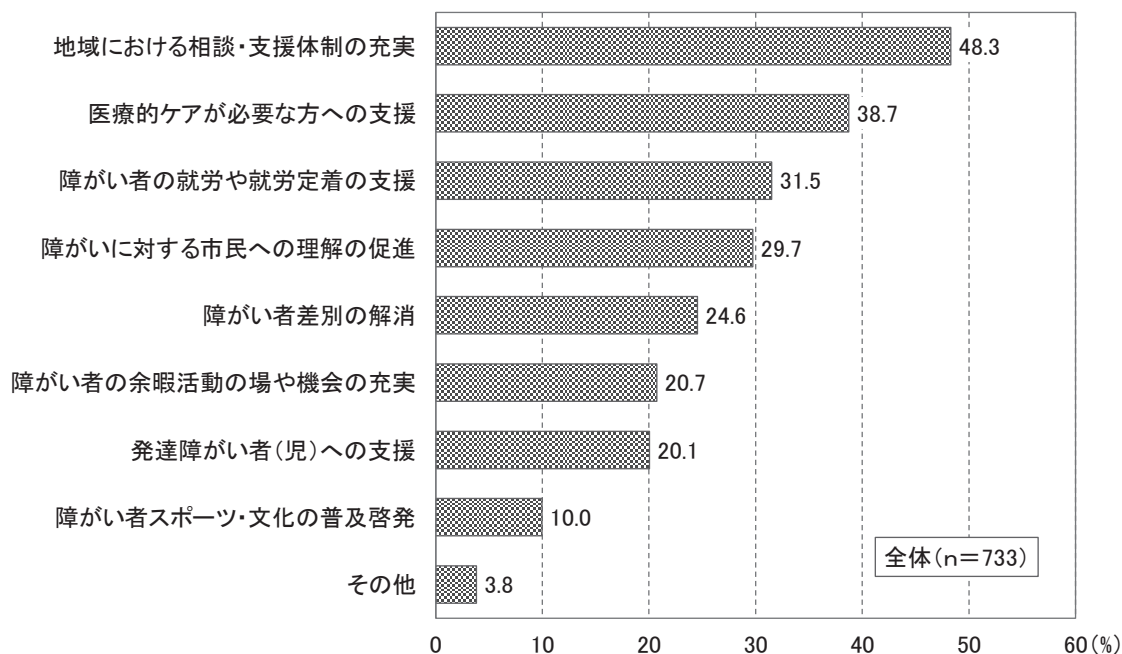
全体では、「ふつう」が53.1%と最も高く、次いで、「やや満足」(11.9%)、「やや不満」(11.1%)の順となっています。



問 49

障がいのある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。【複数回答可】

「地域における相談・支援体制の充実」が48.3%と最も高く、次いで、「医療的ケアが必要な方への支援」(38.7%)、「障がい者の就労や就労定着の支援」(31.5%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 当事者会を作ってほしい。
- ・ 金銭面の援助。
- ・ 移動手段の確保。
- ・ 将来の不安解消。
- ・ 8050 問題。
- ・ 定期的な通院に対する支援（交通費、リモートでの受診）。
- ・ 自宅周辺の道路舗装。散歩道の凸凹が多い。
- ・ ヘルパー・介護士の職業に従事する人を増やしてほしい。
- ・ イタリアのように精神病院をなくし、地域で受け入れてほしい。
- ・ 受け皿ができてても障がい者が利用できることを知らないことがある。
- ・ 安全なまちづくり。
- ・ バリアフリー。
- ・ 自助具。福祉用品の補助。
- ・ 地域の人々の障がい者に対する理解。
- ・ 食（栄養）の学習。買い物支援。

◆ポイント

市の施策の満足度について、“非常に満足＋やや満足”は17.9%、“やや不満＋非常に不満”は15.9%となっています。また、優先すべき施策では、地域における相談・支援体制や医療的ケアに関する支援、就労に関する支援を求める声が多いことから、これらの点に着目して、障がい福祉施策の満足度の向上に努める必要があります。

		地域における相談・支援体制の充実	医療的ケアが必要な方への支援	障がい者の就労や就労定着の支援	障がい者の余暇活動の充実や機会	障がいに対する市民への理解促進	障がい者差別の解消	発達障がい者（児）への支援	障がい者スポーツ・文化の普及啓発	その他
	(n=)									
全体	733	354 48.3%	284 38.7%	231 31.5%	152 20.7%	218 29.7%	180 24.6%	147 20.1%	73 10.0%	28 3.8%
身体	347	175 50.4%	161 46.4%	105 30.3%	64 18.4%	96 27.7%	76 21.9%	58 16.7%	40 11.5%	17 4.9%
療育	175	91 52.0%	44 25.1%	57 32.6%	59 33.7%	63 36.0%	52 29.7%	52 29.7%	23 13.1%	7 4.0%
精神	172	85 49.4%	59 34.3%	60 34.9%	40 23.3%	61 35.5%	56 32.6%	31 18.0%	18 10.5%	9 5.2%
複数	85	44 51.8%	31 36.5%	27 31.8%	26 30.6%	31 36.5%	27 31.8%	20 23.5%	13 15.3%	6 7.1%
難病	47	20 42.6%	23 48.9%	11 23.4%	6 12.8%	13 27.7%	11 23.4%	7 14.9%	3 6.4%	2 4.3%

問 50 市の障がい者（児）福祉施策へのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

主な自由記述

- ・ 成年後見人制度は必ず利用が必要なのか。法律に詳しくなければお金を管理することができないというのはおかしな話。もう少し利用者の立場になって考えを変えないといけないと思う。（18～29 歳 療育）
- ・ 市の発達相談から療育を紹介してもらい利用していた。小学校低学年までの利用で、高学年からの相談は利用していたデイサービスで聞いてもらっていた。中学生になった途端、相談する場がなくなり困った。学校にはカウンセラーもいたが、生まれてから現在の様子など、説明することに疲れてしまい利用しなかった。グレーゾーンの子どもの学校での起こり得ることなど、情報がなく困った。（18～29 歳 療育）
- ・ 新しく市役所ができるので、障がいのある人への啓発活動、スペース（一般の方もよく目にできる場所）があるとよいと思う。（18～29 歳 療育）
- ・ 相談をしたら、相談者の立場に立って何かしらのアドバイスをしてほしい。マニュアルに沿った答えのみで、できないと言われて終わるのはつらい思いをするだけ。同じ目線になって一緒に考えてほしい。（18～29 歳 精神）他
- ・ 線維筋痛症など心因性で強く体が痛む病気についてはほぼ何も支援がない状態。ADHD がグレーゾーンで苦しい。仕事と先の確保がほしい。（18～29 歳 精神）
- ・ 入所施設で暮らしているが、コロナ禍でも自宅で暮らしていけるような福祉サービス（在宅サービスと同程度）を受けたい。（18～29 歳 複数）
- ・ 障がい者手帳の HP を見ても、とても簡素にしか書かれていない。もっと具体的に手続きや機関を載せていただきたい。（30～49 歳 身体）
- ・ 目に見えない障がい者にも優しい制度がほしい。収入があってもカットされない制度がほしい。（30～49 歳 身体）
- ・ 災害が来ても、常に必要な薬が手に入るよう何か対策をしてほしい。3日間服用しないと血液が巡らない。（30～49 歳 身体）
- ・ 1 ページ目のあいさつ文の冒頭 3 行がよくわからない。「令和 6 年度を初年度」とすると、令和 4・5 年はどうなるのか。また、第 7 期・第 3 期と進んでいるようだが、どんなことがどのように進められたのかが見えない。「策定」という言葉もあやふやで長きに渡り要望を聞いていただいているように思うが、方針が未定であることに不安を覚える。わかりやすく示していただくようお願いしたい。（30～49 歳 療育）
- ・ 将来、知的障がい者の住むグループホームなどができればよい。親が高齢になる前に障がい者が移住できることを切に願っている。（30～49 歳 療育）
- ・ 今までアンケートや計画のための聞き取り調査などに参加したが、アンケートの結果などがどう反映されたのか目にしたことがほとんどない。集計結果が知りたい。（30～49 歳 療育）
- ・ 病院の他に相談できるところがほしい。病院に入院しても落ち着いてきたら相談できるところがほしい。（30～49 歳 療育）
- ・ 利用できるサービスの積極的情報提供。（30～49 歳 精神）他
- ・ 精神障がい者手帳を取得することのメリットがもっとあればよいと思う。（30～49 歳 精神）

- ・ 鳴門市は他の地域より福祉が充実していると思う。障がい者雇用がもう少し充実していればよいと思う。（30～49 歳 精神）
- ・ 各種手続きの簡素化。（30～49 歳 複数）他
- ・ 病気で車の運転ができないため、公共の移動機関かタクシー、徒歩（遠くまでは行けない）が主な移動手段だが、バスなどはほとんどなく、タクシーは高く頻繁に利用できない。タクシー代が安くなるような支援をしてほしい。（30～49 歳 ）他
- ・ 大変よいと思う。（30～49 歳 ）
- ・ 労働基準監督署と連携して違法な事業所の指導の徹底。（30～49 歳 ）
- ・ 専門性のある支援員雇用サポート。お金のことや日常生活・性についての授業が小さな頃からあればとてもよいと感じる。（30～49 歳 ）
- ・ 5,000 円の商品券による経済支援はありがたかった。（50～64 歳 身体）
- ・ 先天性の心臓疾患で 4 級。走ったり激しい行動はできないのに 4 級のため、年金などの補助金は一切ない。差別ではと感じる。（50～64 歳 身体）
- ・ 困ったことがあれば相談支援事業所の方がすぐに来てくれるので助かっている。（50～64 歳 身体）
- ・ 早く障がい者という言葉がなくなればよい。（50～64 歳 身体）
- ・ セルフレジが普及して買い物がしづらくなった。（50～64 歳 身体）
- ・ 障がい者スポーツに参加したくても鳴門ではできるところがない。車いすでもできるスポーツを取り入れてほしい。歩道の整備。（50～64 歳 身体）
- ・ 税制優遇措置を希望する。（50～64 歳 身体）
- ・ 鳴門市に障がい者施設がほしい。（50～64 歳 身体）
- ・ 古い役所の 1 階のトイレ（手洗い・ストマの処理）について、不潔になっているように思うと伝えたところ、改善も回答もなかった。（50～64 歳 身体）
- ・ 聴覚障がい 4 級で、音は聞こえるが声・言語が聞き取れない。補聴器の音は特に聞こえにくい。福祉課に相談したが 4 級のままで何も変わらない。（50～64 歳 身体）
- ・ サービス事業所の人もしっかり連絡がないので、たまには連絡をいただきたい。（50～64 歳 身体）
- ・ 病気で障がい者になった場合、総合的に相談できる場所がない。（50～64 歳 身体）
- ・ 子ども支援も大切だが、高齢の障がい者にも少しでも暮らしがよくなるように支援をしてほしい。（50～64 歳 身体）
- ・ メールや LINE で相談したい。（50～64 歳 身体）
- ・ 障がい者本人は相談に行けないのに、本人が助けがいないと言わないと相談にのってくれないので、他人が行っても相談にのってもらいたい。（50～64 歳 療育）
- ・ プッシュ型情報サービス。（50～64 歳 精神）
- ・ バス無料券をもらっているが本数も少なく利用できない。また、働けるところも鳴門は少ない。どこに行くにも交通手段が少ない。（50～64 歳 精神）
- ・ 収入が少ないので金銭的支援。（50～64 歳 複数）他
- ・ どんな子どもにも自由を。（50～64 歳 複数）
- ・ 障がいの級をあげてほしい。（50～64 歳 複数）
- ・ お金儲け主義になってほしくない。結婚したい異性と付き合いたいのでその相談援助。（50～64 歳 複数）
- ・ 薬を飲み続けると正常だが、それを見守れる人がいなくなる怖さがある。（50～64 歳 ）
- ・ うつ病などの支援。（50～64 歳 ）
- ・ 障がい者が自由に集まる会場がほしい。（65 歳以上 身体）

- ・ 家族の支援。（65 歳以上 身体）
- ・ 運転免許の更新が不安。（65 歳以上 身体）
- ・ いつも温かく支援していただき感謝している。孤独化の恐れがある人が多いと思う。スマホが使える人にはそれに代わる連絡ができる機器の配布があればよいと思う。（65 歳以上 精神）

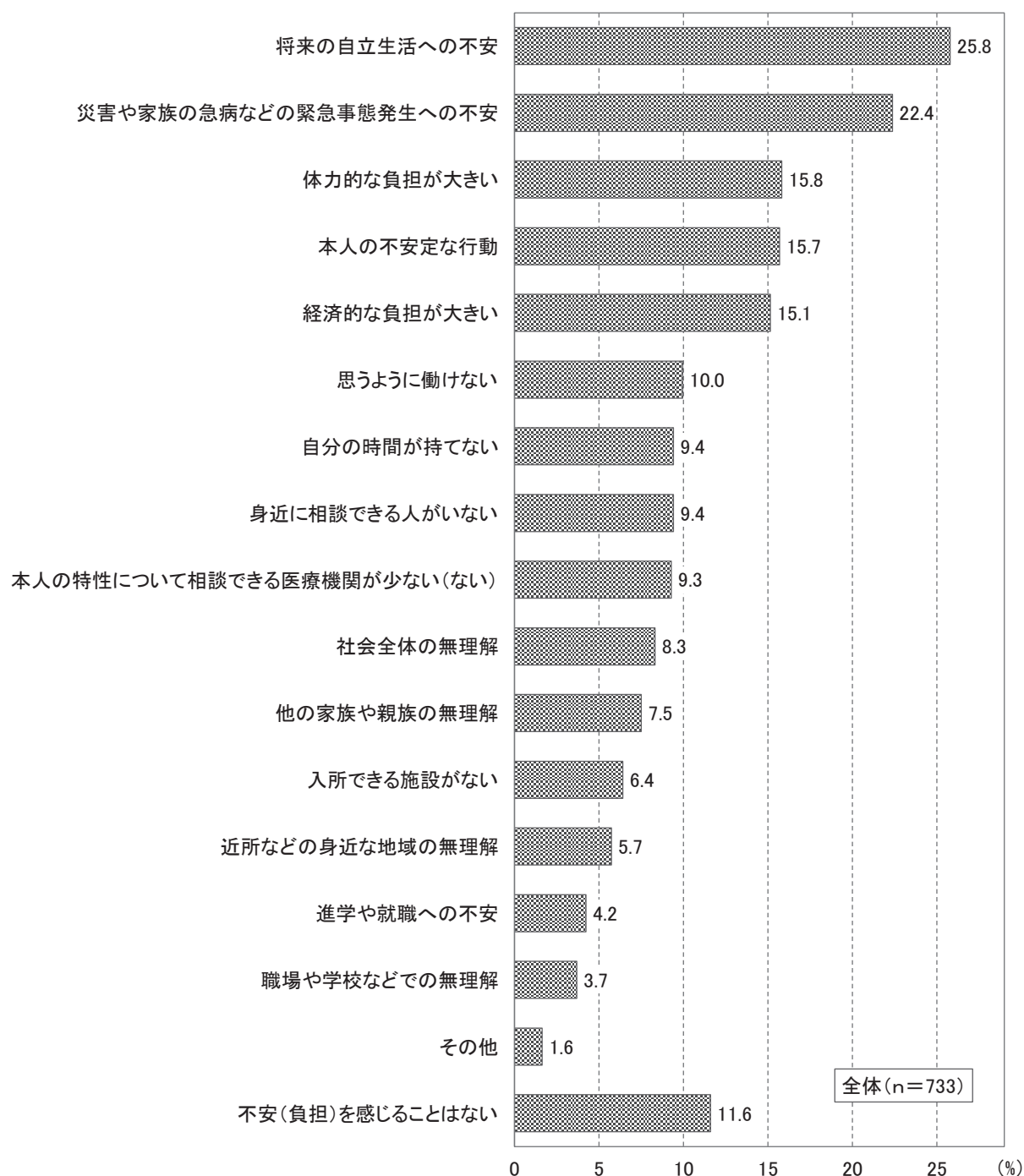
15. ご本人の介護（支援）について

問 51

◆主にご本人の介護（支援）を行っている方。

封筒の宛名のご本人を介護（支援）していることで、現在、不安（または負担）に感じていることはありますか。【複数回答可】

「将来の自立生活への不安」が 25.8%と最も高く、次いで、「災害や家族の急病などの緊急事態発生への不安」（22.4%）、「体力的な負担が大きい」（15.8%）の順となっています。



主なその他意見

- ・ 将来への不安。
- ・ 結婚できるか不安。出産育児など。
- ・ 支援や医療に消極的。
- ・ 介護者の精神的負担。
- ・ 老後の生活。参加するコミュニティがない。
- ・ 周囲の利用者さんとの人間関係、ADL の維持。
- ・ 将来の家族での生活。介護ができなくなったときに入所できる施設があるかどうか。
- ・ 病気の進行。
- ・ 鳴門にグループホームが少ない。
- ・ 他施設に移行できるか。

	(n=)	他の家族や親族の無理解	近所などの身近な地域の無理解	職場や学校などでの無理解	社会全体の無理解	自分の時間が持てない	思うように働けない	身近に相談できる人がいない	経済的な負担が大きい	本人の特性について相談できる医療機関が少ない(ない)	災害や家族の急病などの緊急事態発生への不安	本人の不安定な行動	体力的な負担が大きい	進学や就職への不安	将来の自立生活への不安	入所できる施設がない	その他	不安(負担)を感じることはない
全体	733	55 7.5%	42 5.7%	27 3.7%	61 8.3%	69 9.4%	73 10.0%	69 9.4%	111 15.1%	68 9.3%	164 22.4%	115 15.7%	116 15.8%	31 4.2%	189 25.8%	47 6.4%	12 1.6%	85 11.6%
身体	347	18 5.2%	19 5.5%	8 2.3%	18 5.2%	32 9.2%	31 8.9%	28 8.1%	49 14.1%	32 9.2%	81 23.3%	32 9.2%	61 17.6%	7 2.0%	62 17.9%	19 5.5%	3 0.9%	40 11.5%
療育	175	18 10.3%	11 6.3%	5 2.9%	26 14.9%	29 16.6%	30 17.1%	20 11.4%	27 15.4%	23 13.1%	66 37.7%	47 26.9%	34 19.4%	10 5.7%	76 43.4%	21 12.0%	9 5.1%	16 9.1%
精神	172	25 14.5%	20 11.6%	13 7.6%	24 14.0%	16 9.3%	21 12.2%	27 15.7%	36 20.9%	26 15.1%	40 23.3%	40 23.3%	32 18.6%	14 8.1%	66 38.4%	12 7.0%	3 1.7%	13 7.6%
複数	85	11 12.9%	8 9.4%	2 2.4%	10 11.8%	12 14.1%	14 16.5%	15 17.6%	15 17.6%	15 17.6%	30 35.3%	19 22.4%	19 22.4%	6 7.1%	33 38.8%	8 9.4%	2 2.4%	2 2.4%
難病	47	2 4.3%	5 10.6%	0 0.0%	4 8.5%	7 14.9%	7 14.9%	3 6.4%	11 23.4%	6 12.8%	19 40.4%	8 17.0%	13 27.7%	1 2.1%	12 25.5%	5 10.6%	1 2.1%	7 14.9%

主な自由記述

- ・ 本人が自由に外出できるような移動手段の確保。今の支援では通学通勤に使えない。（18～29 歳 身体）他
- ・ 高齢の親と障がいのある子どもと一緒に暮らせる施設。（18～29 歳 身体）
- ・ 自立した生活をさせたいが、安心して預けられる施設（グループホームを希望）がなく、進められていない。子どもの年齢が上がる度に不安に思う。（18～29 歳 療育）他
- ・ 親が死んでも確実にフォローしてくれる支援。（18～29 歳 療育）他
- ・ 支援ができなくなったとき、本人が不安やつらい思いをしないような支援が受けられる施設やスタッフの充実を願ってる。（18～29 歳 療育）他
- ・ 通所（生活介護）でも委託作業を取り入れ臨時収入を得る。マイナンバーカードの申請、ポイント申請時の代理人の負担軽減など。（18～29 歳 療育）
- ・ コロナ禍で思うように活動（外出）できずつらい。情報提供していただきたい。（18～29 歳 療育）
- ・ 福祉施策は、老人福祉の面は充実していてケアも行き届いているのに対し、発達障がい児などの知的障がい者には老人よりも絶対数が少ないからなのか不十分である。災害時の避難場所もパニックを起こしたり大声をあげたり動き回ったりと、それぞれ行動があり、健常者と同じところには無理がある。障がいを持つ子を育てる親同士は理解があるので一般の方とは別に避難所の用意を考えてもらいたい。（18～29 歳 療育）
- ・ 本人の身体には障がいはないが、他者とのコミュニケーションが全くできない。目に見える障がいではないため、支援が受けづらい。自立についての相談も本人の意思がないと無理と言われる。（18～29 歳 療育）
- ・ 重度障がい者でも利用できるグループホームの整備。介護できる親族がいなくても在宅で生活できる包括的な支援制度。（18～29 歳 療育）
- ・ 医療機関以外でカウンセリングを受けられる場所があればよいと思う。家族以外の人に発達障がい者の特徴や接し方を知ってもらいたい。（18～29 歳 精神）
- ・ 緊急時の一時預かりや送迎などがもっと簡単にできればよい。申請や更新に時間がかかり、現在どこも契約できていない。（18～29 歳 複数）
- ・ 介護タクシーがもっと自由に安く使えるようになるとよい。ヘルパーさんが銀行や市役所、病院、買い物に同行してくれたらとても助かる。（30～49 歳 身体）
- ・ 施設の人に話は聞いてもらえるが、助言をなかなか言ってもらえない。こちらが決めて言うしかないため、専門の先生などに言ってもらいたいときがある。（30～49 歳 療育）他
- ・ 50 歳近いが、結婚できず困っている。ぜひ支援サービスで結婚相手を探してほしい。（30～49 歳 療育）
- ・ 常に薬のことを相談する人がほしい。（30～49 歳 療育）
- ・ ショートステイはいつも予約で埋まっていて、緊急時などに利用できるとは思えない。入所待ちの人がショートステイを独占的に使っているのではないかと考えることがある。（30～49 歳 療育）
- ・ より一層の障がいに対する社会全体に向けての理解に対する啓発活動。（30～49 歳 精神）他
- ・ 訪問看護を利用できる。デイケアも不定期であるが利用できる。（30～49 歳 精神）

- ・ 老後の経済的支援や差別なく参加できるコミュニティの増加。福祉的就労をしている利用者へ職員から嫌がらせを受けていないかの聞き取りや退所理由の聞き取り。通報しなかった者への責任の軽減。当事者が他の人に迷惑がかかると思い相談できない。(30～49 歳 精神)
- ・ 知的障がい者が認知症になり、支援度が上がった。どの施設が本人に適しているかわからない。放尿、失便、徘徊、脱衣、転倒、会話不可、これらが毎日ある。知的障がい者で認知症になっている方の支援は難しい。大きく取り上げ、対策をお願いしたい。(30～49 歳 複数)
- ・ 介護される権利＝介護する権利とはよく言われるが、介護する側にとってはヤングもシニアもない。24 時間 365 日すべての時間が介護に費やされる。優しい気持ちや温かな心で笑顔を持って臨みたいとの思いとはうらはらに、つい大声を出しヒステリックになる。介護する者にとって、心身ともに休める時間ができるような施策がほしい。アンケートに感謝する。(50～64 歳 身体) 他
- ・ 就職しなくては食べていけないので、比較的軽い労働を求めているが、該当する職場が少なく、また給料が安すぎる。情報提供してほしい。(50～64 歳 身体) 他
- ・ 障がい年金だけでは生活できない。医療費支払いの最低金額を下げしてほしい。医療機関ではなく月の総支払の上限を下げしてほしい。(50～64 歳 身体)
- ・ 定期的に LINE などの SNS で生活環境及び健康状態を把握していただけるネットワークを確立してほしい。相互コミュニケーションを取ってほしい。(50～64 歳 身体)
- ・ 災害時、避難場所に高いところがない。黒崎地区は、小学校や公民館などは土砂災害・浸水時は使用不可で避難場所がない。宇佐神社の坂道はきつくて登れない。消防署のようなものが黒崎地区には必要。黒崎の多くの方は鳴門病院に避難すると思う。(50～64 歳 身体)
- ・ 高齢で介護認定を受けているのでこの先が不安。(50～64 歳 身体)
- ・ リハビリテーションを受けているので負担になるようなことはなく自分の時間もあるので、今は何の心配もない。(50～64 歳 身体)
- ・ 公共的な障がい者施設をもっと増やしてほしい。(50～64 歳 療育)
- ・ 防災行政無線の設置によるフェイズフリーのプッシュ型サービス。(50～64 歳 精神)
- ・ 利用者の意思がもう少しわかれば違う支援もできるのではないと思う。(50～64 歳 複数) 他
- ・ 全ての違いの尊重。生きとし生けるものへの感情と祈りを捧げる場と空間。(50～64 歳 複数)
- ・ 両親が 80 代になり、兄弟もいなく 1 人になるので不安である。成年後見制度などの研修会があれば助かる。本人の特性について相談できる医療機関が知りたい。(50～64 歳 複数)
- ・ パソコン、スマホの使い方がわからない。SNS 時代の流れに遅れないようにしたい。交通事故、詐欺に騙されないようにしたい。(50～64 歳 複数)
- ・ 経済保障してほしい。(50～64 歳) 他
- ・ 要介護 1 の夫だが、今は自分で運転ができ徳島大学へ通院治療をしている。運転ができなくなったとき、介護タクシーは本人しか乗車できないとされている。1 人では動けないので、要介護 1 のしくみに納得できない。付き添いも同乗できるようにしてほしい。(65 歳以上 身体)
- ・ ストマ用品が値上がりしていて自己負担が多くなり不安である。(65 歳以上 身体)
- ・ 民生委員が誰なのかを全く知らない。いざという時に相談ができない。(65 歳以上 身体)
- ・ 本人(親)が在宅を望み、介護者は私(娘) 1 人の現状である。私に頼りきりで離さない本人を私以外の支援者やサービスにも頼ることをうまく説得してくれる人がほしい。(65 歳以上 身体)
- ・ 現在、月 1 回 PT リハビリを受けているが、できれば回数を増やして現状を少しでも長く続けるようにしたい。(65 歳以上 療育)
- ・ 何とか年金で生活できているが今後の物価高が心配だ。(65 歳以上)
- ・ 書くと不安ばかりになってしまう。誰かとならばそうでもないかもしれないが相談相手がおらずなかなか口にすることが難しい。(－)

けいかくさくてい
計画策定のためのアンケート
きょうりよく ねが
ご協力のお願い

ひごろ ほんし ふくしきょうせい りかい きょうりよく
日頃から、本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ほんし げんざい れいわ ねんど しよねんど なるとししやう しゃけいかく だい き なるとししやう ふくし
本市では現在、令和6年度を初年度とする鳴門市障がい者計画、第7期鳴門市障がい福祉
けいかくおよ だい き なるとししやう じ ふくしけいかく さくてい む と く すす
計画及び第3期鳴門市障がい児福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、
しみん みな ふくし りようじつたい ふくし かん いしき いこう はあく けいかくさくてい
市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や
し さくすいしん やくだ じっし
施策推進に役立てるためのアンケートを実施することになりました。

ちやうさ れいわ ねん がつげんざい しんたいしやう しゃてちやう りやういくてちやう せいしんしやう しゃほけんふくしてちやう
この調査は、令和4年10月現在、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、
せいしんじりつし えんいりやうじゆきゆうしゃしやう も かた たいしやう むきめい かいとう かいとう
精神自立支援医療受給者証をお持ちの方を対象としています。無記名でご回答いただき、回答
かた とくてい こじん かいとうないやう あき
された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、ご
かいとう ないやう けいかくさくてい し さくすいしん き そしりやう しょう た もくてき つか
回答の内容は、計画策定および施策推進の基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われる
いっさい ちやうさ しゆし りかい きょうりよく ねが
ことは一切ありません。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いいたします。

れいわ ねん がつ なるとし
令和4年12月 鳴門市

きにゆう ねが
■ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名のご本人のことについてご回答ください。ご本人が直接回答することが
むずか ばあい かぞく かいじよしゃ かた ほんにん いこう そんちやう きにゆう
難しい場合は、家族や介助者の方などがご本人の意向を尊重してご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。質問への回答方法は、それぞれ質問
かいとう ばんごう まる かこ しつもん かいとうほうほう しつもん
文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 3 質問によっては、特定の方だけに答えていただくものがあります。答えたくない質問
しつもん とくてい かた こた こた しつもん
などに対しては、無理にお答えいただかなくても結構です。
- 4 記入が終わりましたら、12月27日（火）までに、同封の返信用封筒を使って
むきめい どうかん きって ふよう
無記名でご投函ください。切手は不要です。

と あ さき
◆アンケートについての問い合わせ先◆

なるとし けんこうふくし ぶ しゃかいふくしか
鳴門市 健康福祉部 社会福祉課

でんわ ファックス
電話：088-684-1145 FAX：088-684-1337

問1 ^{きにゅう}ご記入いただくのは、どなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|---|---|--|
| 1. ^{ほんにん} ご本人（ ^{ふうとう} 封筒の ^{あてな} 宛名の ^{かた} 方） | 2. ^{ほんにん} ご本人の ^{かぞく} 家族 | 3. ^{かぞくいがい} 家族以外の ^{かいじょしゃ} 介助者 |
|---|---|--|

◆^{ねんれい}年齢・^{せいべつ}性別などについて

問2 ^{ねんれい}年齢をお答えください。（^{すうじ}数字を^{きにゅう}記入）

^{まん}満 ^{さい}歳（^{れいわ}令和4年^{ねん}11月^{がつ}1日^{にち}時^{てん}点）

問3 ^{せいべつ}性別をお答えください。※^{だんじょ}男女の2^{たく}択では^{えら}選べない場合は3に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| 1. ^{だんせい} 男性 | 2. ^{じょせい} 女性 | 3. ^た その他 |
|-----------------------|-----------------------|---------------------|

問4 ^すお住まいの^{ちく}地区（^{ちょう}町）をお答えください。（○は1つ）

- | | | | |
|--|--|--|-------------------------------------|
| 1. ^む 撫養 ^{ちょう} 町 | 2. ^{さとうら} 里浦 ^{ちょう} 町 | 3. ^{なると} 鳴門 ^{ちょう} 町 | 4. ^せ 瀬戸 ^{ちょう} 町 |
| 5. ^{きたなだ} 北灘 ^{ちょう} 町 | 6. ^{おおつ} 大津 ^{ちょう} 町 | 7. ^{おおあさ} 大麻 ^{ちょう} 町 | |

◆^{しょう}障がいの^{じょうきょう}状況について

問5 ^{しんたいしょう}身体障がい者^{しやてちょう}手帳^もをお持ちですか。（○は1つ）

- | | | | |
|----------------------|----------------------|------------------------|----------------------|
| 1. ^{きゅう} 1級 | 2. ^{きゅう} 2級 | 3. ^{きゅう} 3級 | 4. ^{きゅう} 4級 |
| 5. ^{きゅう} 5級 | 6. ^{きゅう} 6級 | 7. ^も 持っていない | |

問6 ^{しんたいしょう}身体障がい者^{しやてちょう}手帳^もをお持ちの場合、^{ばあい}主な^{おも}障がい^{しょう}をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|---|---|
| 1. ^{しかくしょう} 視覚障がい | 2. ^{ちょうかくしょう} 聴覚障がい・ ^{へいこうきのうしょう} 平衡機能障がい |
| 3. ^{おんせい} 音声・ ^{げんご} 言語・ ^{きのうしょう} そしゃく機能障がい | 4. ^{したいふじゆう} 肢体不自由（ ^{じょうし} 上肢） |
| 5. ^{したいふじゆう} 肢体不自由（ ^{かし} 下肢） | 6. ^{したいふじゆう} 肢体不自由（ ^{じょうしか} 上肢 ^{しりょうほう} 下肢 ^{たいかんふく} 両方・ ^{たいかんふく} 体幹含む） |
| 7. ^{ないぶしょう} 内部障がい（ ^{いがい} 1～6以外） | |

とい
問7 療育手帳をお持ちですか。(○は1つ)

1. A 1 2. A 2 3. B 1 4. B 2 5. 持っていない

とい
問8 精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

1. 1 級 2. 2 級 3. 3 級 4. 持っていない

とい
問9 難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

とい
問10 発達障がい※として診断されたことがありますか。(○は1つ)

※「発達障がい」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、
注意欠陥多動性障がいなどの脳機能障がいで、通常低年齢でその症状が発現するものです。

1. ある 2. ない

とい
問11 自立支援医療受給者証(精神通院)をお持ちですか。(○は1つ)

1. 持っている 2. 持っていない

とい
問12 現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 気管切開 | 2. 人工呼吸器(レスピレーター) |
| 3. 吸入 | 4. 吸引(たん吸引) |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 6. 鼻腔経管栄養 |
| 7. 中心静脈栄養(IVH) | 8. 透析(人工透析・腹膜透析) |
| 9. カテーテル留置 | 10. ストマ(人工肛門・人工膀胱) |
| 11. 服薬管理 | 12. その他() |
| 13. 医療的ケアは受けていない | |

◆暮らしについて

問13 現在どのように暮らしていますか。また、今後、5年以内で暮らしたいと思う場所はどれですか。（「現在」と「5年以内」のそれぞれ1つに○）

※入院・入所中の方は退院・退所した後のことをお答えください。

	げんざい 現在	ねんい ない 5年以内
1. ひとりで暮らしている（暮らしたい）	1	1
2. かぞく しんぞく と暮らしている（暮らしたい）	2	2
3. グループホーム・ケアホームで暮らしている（暮らしたい）	3	3
4. にゅうしょし せつ しょう しゃし えんし せつ で暮らしている（暮らしたい）	4	4
5. にゅうしょし せつ こうれい しゃし せつ で暮らしている（暮らしたい）	5	5
6. びやういん にゅういん 入院している	6	
7. その他（ ）	7	7

問14 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。（それぞれ1つに○）

こう もく 項 目	ひとりでできる	いち ぶかいじょ ひつよう 一部介助が必要	ぜん ぶかいじょ ひつよう 全部介助が必要
① しょくじ にゅうよく にちじょう どうさ 食事・入浴・トイレなどの日常動作	1	2	3
② りょうり そうじ せんたく などの か じ 料理・掃除・洗濯などの家事	1	2	3
③ くすり かんり 薬の管理	1	2	3
④ つうきん つうがく つういん か もの がいしゅつ 通勤・通学・通院・買い物などの外出	1	2	3
⑤ かぞくいがい ひと い し そつう 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑥ かね かんり お金の管理	1	2	3
⑦ きんきゅうじ ひなん れんらく 緊急時の避難・連絡	1	2	3



問15へ

【問15は、問14で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方】

問15 介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 2. 配偶者（夫または妻） |
| 3. 子ども・孫（その夫または妻を含む）など | 4. 近所の方や友人・知人 |
| 5. ホームヘルパーや施設の職員 | 6. ボランティア |
| 7. 手話通訳者や要約筆記者 | 8. その他（ ） |
| 9. 特にいない | |

【問16は、問15で「1. ～3. 」を選んだ方】

問16 介助してくれる家族で、中心となっている方についてお答えください。

(1) 年齢（数字を記入） 満 さい 歳（令和4年11月1日時点）

(2) 就労状況（○は1つ）

1. 働いている	2. 働いていない
----------	-----------

(3) 健康状態（○は1つ）

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

問17 今後、地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること | |
| 2. 障がいのある人が共同生活を行うグループホームなどの確保 | |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | |
| 4. 生活訓練などの充実 | 5. 経済的な負担の軽減 |
| 6. 相談対応などの充実 | 7. 地域住民などの理解 |
| 8. 福祉用具の給付の充実 | 9. 障がい者雇用の充実 |
| 10. 社会参加や余暇活動の充実 | 11. 移動手段の充実 |
| 12. コミュニケーションについての支援 | |
| 13. その他（ ） | |

◆日中活動について

問18 1週間にどの程度外出しますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 毎日外出する | 2. 1週間に数回外出する |
| 3. めったに外出しない | 4. まったく外出しない ⇒問22へ |

【問19から問21は、問18で「1. ～3. 」を選んだ方】

問19 どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 2. 訓練やリハビリテーションに行く |
| 3. 医療機関への受診 | 4. 買い物に行く |
| 5. 友人・知人に会う | 6. 趣味やスポーツをする |
| 7. グループ活動に参加する | 8. 散歩に行く |
| 9. その他 () | |

問20 主な移動手段はどのようなものですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 自分で運転する自動車 | 2. 家族などが運転する自動車 |
| 3. 自転車、オートバイ | 4. 車いす、電動車いす |
| 5. 汽車・電車 | 6. 路線バス |
| 7. 施設などの送迎バス | 8. タクシー、福祉タクシー |
| 9. 徒歩 | 10. その他 () |

問21 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない(ない) | 2. 列車やバスの乗り降りが困難 |
| 3. 道路や駅に階段や段差が多い | 4. 外出先の建物の設備が不便 |
| 5. 周囲の自動車や自転車などの運転に配慮がない | |
| 6. 音声式信号機や誘導ブロックなどの設備が少ない | |
| 7. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい | 8. 介助者が確保できない |
| 9. 困った時にどうすればいいのか心配 | 10. 外出にお金がかかる |
| 11. 発作など突然の心身の変化が心配 | 12. 周囲の目が気になる |
| 13. その他 () | 14. 困ることはない |

しゅうろう ◆就 労 について

問22 平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

1. 収入を得る仕事をしている(正規雇用)
2. 収入を得る仕事をしている(パート・アルバイトなどの非正規雇用)
3. 収入を得る仕事をしている(福祉作業所など)
4. 収入を得る仕事をしている(自営業、農林水産業など) ※上記1～3以外
5. ボランティアなど、収入を得ない活動をしている
6. 専業主婦(主夫)をしている
7. 福祉施設などに通っている
8. 病院などのデイケアに通っている
9. リハビリテーションを受けている
10. 自宅で過ごしている
11. 入所施設や病院などで過ごしている
12. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
13. その他()

問27へ

【問23～26は、問22で「1.～4.」を選んだ方】

問23 働いて得られる収入は月にいくらぐらいですか。(○は1つ)

1. 5万円未満
2. 5万円～10万円未満
3. 10万円～20万円未満
4. 20万円以上

問24 現在、働いて得られる収入について、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 多い
2. 少ない
3. ちょうどいい

問25 現在の勤務時間について、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 長い
2. 短い
3. ちょうどいい

問26 現在の職場環境について、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 良い
2. 悪い
3. ちょうどいい

【問27は、問22で「5. ～13. 」を選んだ方】

問27 今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（最も近い番号1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 収入を得る仕事をしたい | 2. 収入を得る仕事をしたくない |
| 3. 仕事ができない | 4. わからない |

【問28は、問27で「1. ～3. 」を選んだ方】

問28 現在収入を得る仕事をしていない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 障がいや病気などのため | 2. 家事や育児がある |
| 3. 労働環境が合うところがない | 4. 労働条件（賃金）が合うところがない |
| 5. 通勤が困難 | 6. 働きたいが雇用されない |
| 7. 仕事をする必要がない | 8. 高齢のため |
| 9. まだ学生であるため | 10. その他（ ） |

※問29は全員の方がお答えください。

問29 障がいがある方の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 通勤手段の確保 | 2. 勤務先のバリアフリーなどの配慮 |
| 3. 短時間勤務や勤務日数などの配慮 | 4. 在宅勤務の拡充 |
| 5. 職場の上司や同僚の障がいへの理解 | 6. 職場での介助や援助 |
| 7. 就労後の支援など職場と支援機関の連携 | 8. 企業ニーズに合った就労訓練 |
| 9. 就職や就労定着のための援助や相談 | 10. 賃金の保障 |
| 11. その他（ ） | |

問30 障がいがある方の就労支援として、次の機関や事業・サービスがあることを知っていますか。（知っている番号すべてに○）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. ハローワーク | 2. 徳島県障害者職業センター |
| 3. 障害者就業・生活支援センターわーくわく | 4. トライアル雇用 |
| 5. ジョブコーチ | 6. 就労移行支援 |
| 7. 就労継続支援 | |
| 8. 就労定着支援 | 9. ふれあい就職面接会 |
| | 10. 鳴門市就職セミナー |

◆ 権利擁護について

問3 1 障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

↓
問3 2へ

【問3 2は、問3 1で「1. 」または「2. 」（ある）を選んだ方】

問3 2 どの場面や場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 学校などの通学・通園先 | 2. 市役所などの行政窓口 |
| 3. 余暇を楽しむとき | 4. 就業時や就業先 |
| 5. 近所付き合いや地域活動のとき | 6. 公共交通機関を利用するとき |
| 7. 買い物・食事のとき | 8. 家族・親戚付き合いのとき |
| 9. 公共施設（公民館や図書館など）の利用のとき | |
| 10. 恋愛・結婚 | 11. その他（ ） |

問3 3 成年後見制度※についてご存じですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない | |

※「成年後見制度」とは、認知症の高齢者や、知的障がい、精神障がいがあるなどの理由で、ご自分で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

【問3 4は、問3 3で「1. 」を選んだ方】

問3 4 成年後見制度を利用しやすくするために、何が必要と考えられますか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 情報提供・普及啓発の充実 | 2. 身近で相談できる場所や窓口 |
| 3. プライバシー保護の徹底 | 4. 手続きへのサポート |
| 5. 費用負担への支援 | 6. 後見人などの要件の緩和 |
| 7. 後見人などの不正防止の徹底 | 8. その他（ ） |

問35 周囲の人や職場の人などから、嫌だったり怖かったりする行為をされたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 平手打ち、叩く、蹴るなどの暴力 | 2. 一方的に怒鳴られたり、馬鹿にされたりした |
| 3. 年金など自身のお金の流用 | 4. 介護・介助の拒否（ネグレクト） |
| 5. わいせつな言葉を言われたり、性行為を迫られたりした | |
| 6. その他（ ） | 7. されたことはない |

【問36は、問35で「1. ～6.」（されたことがある）を選んだ方】

問36 そのことを信用できる人や機関に相談しましたか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 相談して解決した | 2. 相談したが解決していない |
| 3. 相談しなかったが解決した | 4. 相談しなかったし解決もしていない |
| 5. 相談できる人や機関がなかった | |

◆身近な介助者の亡き後について

※問37～38は、現在、家族などの身近な介助者がおられる方のみお答えください。

問37 家族などの身近な介助者がお亡くなりになるなどの理由により、いなくなった場合のことを考えたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 考えたことがある | 2. 考えたことはない |
|-------------|-------------|

問38へ

【問38は、問37で「1.」（考えたことがある）を選んだ方】

問38 家族などの身近な介助者がいなくなった場合、どのようなことが不安ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|------------------------|------------|
| 1. 住まいのこと | 2. 金銭や財産の管理 | 3. 家事や日常生活 |
| 4. 障がいによる行動のしづらさ | 5. 何でも話したり相談できる人がいなくなる | |
| 6. 不安に思うが、何が不安かわからない | | |
| 7. 不安に思っているので、そのときに備えて準備をしている | | |
| 8. その他（ ） | | |

◆さいがいじ ひなん 災害時の避難について

問39 さいがいじ だいじしん だいこうずい さいがいじ そな ふだん じゅんび 大地震や大洪水などの災害時に備えて、普段から準備していることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. ひなんばしょ はあく 避難場所の把握 | 2. ひなんばしょ かくにん けんがく 避難場所の確認 (見学など) |
| 3. ひなんけいろ かくにん 避難経路の確認 | 4. ひなんじ しえん ひと かくほ 避難時に支援してくれる人の確保 |
| 5. じもと ひなんくんれん さんか 地元の避難訓練への参加 | 6. みず びちくしよくりょう じゅんび 水や備蓄食料の準備 |
| 7. よび ふくしやうぐ じゅんび 予備の福祉用具などの準備 | 8. かぐ かでん てんとうぼうしさく 家具・家電などの転倒防止策 |
| 9. こべつ ひなんけいかく し じぎょう さくせい 個別避難計画 (市の事業) の作成 | 10. その他 () |
| 11. とく じゅんび 特に準備していない | |

問40 さいがいじ こま なん ばんごう 災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. とうやく ちりやう う 投薬や治療が受けられない | 2. ふくしやうぐ しょう こんなん 福祉用具の使用が困難になる |
| 3. ふくしやうぐ にゆうしゆ こま 福祉用具の入手に困る | 4. きゆうじよ もと 救助を求めることができない |
| 5. あんぜん ばしょ ひなん 安全な場所までスムーズに避難できない | 6. ひがい ひなんばしょ じやうほう にゆうしゆ こま 被害や避難場所の情報への入手に困る |
| 7. しゆうい 周囲とコミュニケーションがとれない | 8. ひなんばしょ せつび せいかつかんきやう ふあん 避難場所の設備や生活環境への不安 |
| 9. かぞくいがい しえん ひなん 家族以外の支援がないと避難できない | 10. きんじよ ひなん たす ひと 近所に避難を助けてくれる人がいない |
| 11. ひなん ひつやう はんだん 避難が必要かどうか判断できない | 12. しょう ぼんにん ひなん きよひ 障がいのある本人が避難を拒否する |
| 13. ひなん たいちやう じやうちよ ふあんてい 避難による体調や情緒の不安定 | |
| 14. ひなん そな なに じゅんび 避難に備えて何を準備していいのかわからない | |
| 15. その他 () | |
| 16. とく 特にない | |

問41 ひなんばしょ おも せつび びひん じゆうきじゆつ 避難場所にあったらいいと思う設備や備品などがありますか。(自由記述)

◆ 障がい福祉サービスなどの利用について

問42 障がい支援区分の認定は何ですか。(○は1つ)

※ 障がい福祉サービス受給者証の(二)の「障がい支援区分」欄と同じものに○。

1. 区分1	2. 区分2	3. 区分3	4. 区分4
5. 区分5	6. 区分6	7. 受けていない	

※ 地域生活支援事業受給者証のみの場合は「7. 受けていない」に○をしてください。

問43 介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問44 次の障がい福祉サービスについて、「現在の利用状況」と「今後の利用意向」の両方をお答えください。(それぞれ1つに○)

障がい福祉サービス	現在の利用状況		今後の利用意向	
	利用中	利用なし	利用したい	利用しない
① 居宅介護(ホームヘルプ) 自宅での入浴や食事、通院などを介助する。	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅での介助や外出時の移動を補助する。	1	2	1	2
③ 同行援護 視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報提供や移動援護を行う。	1	2	1	2
④ 行動援護 知的障がいや精神障がいにより常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動を補助する。	1	2	1	2
⑤ 生活介護 常に介護が必要な方に、施設での介護や創作的活動などの機会を提供する。	1	2	1	2

しょう ぶくし 障がい福祉サービス	げんざい りようじょうきよう 現在の利用状況		こんご りよういこう 今後の利用意向	
	りようちゅう 利用中	りようなし 利用なし	りよう 利用したい	りよう 利用しない
⑥ 自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、 一定の期間における身体機能や生活能力向上 のために必要な訓練を行う。	1	2	1	2
⑦ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、 就労に必要な知識及び能力の向上のための 訓練を行う。	1	2	1	2
⑧ 就労継続支援（A型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の 機会や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や 能力の向上の訓練を行う。（雇用型）	1	2	1	2
⑨ 就労継続支援（B型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の 機会や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や 能力の向上の訓練を行う。（非雇用型）	1	2	1	2
⑩ 就労定着支援 就労支援を受けて通常の事業所に新たに雇用 された障がい者に、3年間、就労の継続に必要な 相談、指導などの支援を行う。	1	2	1	2
⑪ 療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、 主に昼間に病院などにおいて機能訓練、 療養上の管理、看護などを提供する。	1	2	1	2
⑫ 短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者の介護者が病気の場合などに 障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せ つ、食事の介護などを行う。	1	2	1	2
⑬ 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や 日常生活上の援助を行う。	1	2	1	2

しょう ぶくし 障がい福祉サービス	げんざい りようじょうきよう 現在の利用状況		こんご りよういこう 今後の利用意向	
	りようちゆう 利用中	りようなし 利用なし	りようしたい 利用したい	りようしない 利用しない
⑭ 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者に、 入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行う。	1	2	1	2
⑮ 計画相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要 な情報の提供や助言などを行う。	1	2	1	2

◆相談相手や情報源について

問45 普段、悩みや困ったことを誰（どこ）に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家族や親せき	2. 友人・知人	3. 近所の人
4. 職場の上司や同僚	5. 施設の職員など	
6. 障がい者に関する団体や家族会	7. 基幹相談支援センター	
8. かかりつけの医師や看護師	9. 社会福祉協議会	
10. 病院のケースワーカー、介護保険のケアマネジャー、ソーシャルワーカー		
11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	12. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	
13. 民生委員・児童委員	14. 市の相談窓口	15. 県や国の相談窓口
16. その他（ ）	17. どこへ相談したら良いかわからない	

問46 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 本や新聞、テレビ、ラジオ	2. インターネットやSNS
3. 市の広報紙	4. 家族や親せき、友人・知人
5. 障がい者に関する団体や家族会	6. サービス事業所の人や施設職員
7. 病院などの医療機関	8. 相談支援事業所
9. 市の相談窓口	10. 基幹相談支援センター
11. その他（ ）	12. どこで情報を入手したらいいかわからない

問47 現在利用しているコミュニケーション支援や情報を得るための支援はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------------------|----------------|---------------|
| 1. 手話通訳 | 2. 要約筆記 | 3. 電話リレーサービス |
| 4. 代読・代筆サービス | 5. 点訳 | 6. 声の広報 |
| 7. 音声コードUni-Voice | 8. 拡大読書器 | 9. 意思伝達装置 |
| 10. 文字盤 | 11. 人工喉頭 | 12. 点字図書 |
| 13. 音声図書 | 14. 音声化ソフト・アプリ | |
| 15. その他 () | | 16. 特に利用していない |

◆本市の施策について

問48 本市の障がい福祉の取り組みについてどれくらい満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 非常に満足 | 2. やや満足 | 3. ふつう |
| 4. やや不満 | 5. 非常に不満 | |

問49 障がいのある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域における相談・支援体制の充実 | 2. 医療的ケアが必要な方への支援 |
| 3. 障がい者の就労や就労定着の支援 | 4. 障がい者の余暇活動の場や機会の充実 |
| 5. 障がいに対する市民への理解の促進 | 6. 障がい者差別の解消 |
| 7. 発達障がい者(児)への支援 | 8. 障がい者スポーツ・文化の普及啓発 |
| 9. その他 () | |

問50 市の障がい者(児)福祉施策へのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

※封筒の宛名のご本人に関する質問は以上で終了です。

※以下の質問については、主にご本人の介護（支援）を行っている方がご回答ください。

問5 1 封筒の宛名のご本人を介護（支援）していることで、現在、不安（または負担）に感じていることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 他の家族や親族の無理解 | 2. 近所などの身近な地域の無理解 |
| 3. 職場や学校などでの無理解 | 4. 社会全体の無理解 |
| 5. 自分の時間が持てない | 6. 思うように働けない |
| 7. 身近に相談できる人がいない | 8. 経済的な負担が大きい |
| 9. 本人の特性について相談できる医療機関が少ない（ない） | |
| 10. 災害や家族の急病などの緊急事態発生への不安 | |
| 11. 本人の不安定な行動 | 12. 体力的な負担が大きい |
| 13. 進学や就職への不安 | 14. 将来の自立生活への不安 |
| 15. 入所できる施設がない | |
| 16. その他（ ） | |
| 17. 不安（負担）を感じることはない | |

問5 2 現在、感じている不安（または負担）を解消するために、必要と考える支援策やサービスはありますか。（自由記述）

本調査へのご協力ありがとうございました。

調査票を返信用封筒に入れてポストに投函してください。（切手は不要です）

「障がい者計画」・「障がい福祉計画」・
「障がい児福祉計画」策定のための
アンケート結果報告書【18歳以上】

令和5年2月

企画・編集 鳴門市 健康福祉部 社会福祉課